

OWNER'S MANUAL 2021

SVARTPILEN 125

ART. NO. 3402478ja



HUSQVARNA のモーターサイクルをお買い上げ頂いた皆様に

このたびは Husqvarna のモーターサイクルをお買い上げ頂き、ありがとうございます。最新のスポーツモーターサイクルを手に入れたお客様に、これを十分満喫頂くため、適切なメンテナンスと手入れを行う事をお願いしています。

安全で楽しい走行をお楽しみ下さい。

お持ちのモーターサイクルのシリアルナンバーを以下に記して下さい。

車両識別番号 (📖 頁 24)	正規ディーラー店スタンプ
エンジンナンバー (📖 頁 25)	
キーナンバー (📖 頁 25)	

本オーナーズマニュアルは、公開時点現在、当該モデルシリーズの最新仕様に基づいて作成されています。しかし、車両の更なる改良により、製品と若干の差異が生じる可能性があります。

ここに記載された内容について、当社は何ら義務を負わないものと致します。Husqvarna Motorcycles GmbH は、記載された技術内容、価格、色、形、部品、サービス内容、構造、装備などにつき予告および理由の開示なく変更、代替品なく抹消、地域の状況に合わせ変更、並びに特定モデルの生産を予告なく停止する権利を有するものとします。商品入手の可否、写真・イラスト並びに記載内容との差異、印刷ミス並びに誤記に対し、Husqvarna Motorcycles は一切の責任を負いかねます。写真に使用されているモデルには、一部量産製品にはない特殊装備が施されています。



3402478ja

2021 年 01 月

HUSQVARNA のモーターサイクルをお買い上げ頂いた皆様に

© 2021 Husqvarna Motorcycles GmbH, Mattighofen オーストリア

無断複写・転載を禁じます。

一部または全部並びにその種類を問わず、複製・複写には必ず著作者の書面による許可を要します。



REG.NO. 12 100 6061

ISO 9001(12 100 6061)

国際品質管理規格 ISO 9001 に基づき、Husqvarna Motorcycles では、到達しうる最高の製品品質を実現するための品質保証プロセスを導入しています。

発行: TÜV-Management Service

Husqvarna Motorcycles GmbH

Stallhofnerstraße 3

5230 Mattighofen, オーストリア

以下のモデルがこの書類の内容に該当します。:

SVARTPILEN 125 EU (F1003U5)

SVARTPILEN 125 B.D. EU (F1003U6)

1	表示方法	9	4	各部の名称	20
1.1	本書の表示マークについて	9	4.1	各部の名称 左前方 (代表写真)	20
1.2	使用文字種について	10	4.2	各部の名称 右後方 (代表写真)	22
2	安全の手引き	11	5	シリアルナンバー	24
2.1	使用目的に応じた使用環境	11	5.1	車両識別番号	24
2.2	誤使用	11	5.2	タイプラベル	24
2.3	安全の手引き	11	5.3	キーナンバー	25
2.4	危険度と表示マーク	12	5.4	エンジンナンバー	25
2.5	改造に関する警告	13	5.5	フロントフォークタイプナンバー	26
2.6	使用時の安全性	13	5.6	ショックアブソーバータイプナンバー	26
2.7	保護服	15			
2.8	作業上の決まり	15	6	操作各部	27
2.9	環境	16	6.1	クラッチレバー	27
2.10	オーナーズマニュアル	16	6.2	ブレーキレバー	27
3	重要な注意事項	18	6.3	スロットルグリップ	28
3.1	メーカー保証、法定保証	18	6.4	左ハンドルバーのスイッチ	28
3.2	油脂類、ケミカル類	18	6.4.1	バッシングライトスイッチ	28
3.3	交換部品、Husqvarna Motorcycles 技術アクセサリ	18	6.4.2	ライトスイッチ	29
3.4	サービス	19	6.4.3	ターンシグナルスイッチ	29
3.5	写真	19	6.4.4	ホーンスイッチ	30
3.6	カスタマーサービス	19	6.5	右ハンドルバーのスイッチ	31
			6.5.1	エマージェンシーOFFスイッチ	31

6.5.2	スタートキー	32	7.9	機能ボタン	57
6.6	イグニッション / ハンドルロック	32	7.10	ABS 表示	58
6.7	ハンドル操作をロックする	33	7.11	Info 表示	58
6.8	ハンドル操作のロックを解除する	34	7.12	ODO 表示	59
6.9	フィルターキャップを開ける	34	7.12.1	Fuel Range	60
6.10	フィルターキャップを閉める	36	7.12.2	Service	61
6.11	シートロック	37	7.13	TRIP 1 表示	62
6.12	キャリア	37	7.13.1	Time Trip 1	62
6.13	車載工具	38	7.13.2	Average Speed Trip1	63
6.14	サイドグリップ	38	7.13.3	Avg F.C. Trip 1	64
6.15	同乗者用フットレスト	39	7.14	TRIP 2 表示	65
6.16	シフトレバー	39	7.14.1	Time Trip 2	65
6.17	ブレーキペダル	40	7.14.2	Average Speed Trip2	66
6.18	サイドスタンド	41	7.14.3	Avg F.C. Trip 2	67
7	コンビネーションインスツルメント	42	7.15	ABS モードを調整する	67
7.1	コンビネーションインスツルメン ト	42	7.16	単位を設定する	68
7.2	起動とテスト	43	7.17	時刻を設定する	70
7.3	警告	44	7.18	シフト回転数RPM1 を設定する	71
7.4	インジケーターランプ	49	7.19	シフト回転数RPM2 を設定する	72
7.5	シフトランプ	51	8	運転操作の前に	74
7.6	ディスプレイ	53	8.1	初めて運転操作を行う際の注意	74
7.7	燃料レベル表示	54	8.2	慣らし運転をする	76
7.8	クーラント温度の表示	55	8.3	車両に荷物を積む	76

9	運転上の注意事項.....	79	12.3	フロントスタンドで車両を持ち上げる.....	111
9.1	運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業.....	79	12.4	フロントスタンドから車両を降ろす.....	112
9.2	エンジン始動.....	80	12.5	フォークレッグのダストシールを清掃する.....	114
9.3	発進.....	82	12.6	シートを取り外す.....	115
9.4	シフト操作と走行.....	83	12.7	シートを取り付ける.....	116
9.5	ブレーキをかける.....	88	12.8	キャリアを取り外す.....	117
9.6	停止と駐車.....	91	12.9	キャリアを取り付ける.....	117
9.7	輸送.....	93	12.10	左のサイドカバーを取り外す ㊦.....	118
9.8	燃料を給油する.....	94	12.11	左のサイドカバーを取り付ける ㊦.....	119
10	サービスプラン.....	97	12.12	右のサイドカバーを取り外す ㊦.....	121
10.1	補足情報.....	97	12.13	右のサイドカバーを取り付ける ㊦.....	122
10.2	必須作業.....	97	12.14	ナンバープレートブラケットを取り外す.....	124
10.3	推奨作業.....	100	12.15	ナンバープレートブラケットの取り付け.....	127
11	シャーシを調整する.....	101	12.16	フロントスポイラーを取り外す.....	133
11.1	ショックアブソーバーのスプリングプリロードを調節する ㊦.....	101	12.17	フロントスポイラーを取り付ける.....	134
11.2	ハンドルバーの位置.....	102	12.18	チェーンの汚れを点検する.....	135
11.3	ハンドルバーの位置を調節する ㊦.....	103	12.19	チェーンを清掃する.....	135
12	サービス作業シャーシ.....	107	12.20	チェーンの遊びを点検する.....	137
12.1	車両をリアスタンドで持ち上げる.....	107	12.21	チェーンの遊びを調節する.....	138
12.2	リアスタンドから車両を降ろす.....	109			

12.22	チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケットを点検する	140	14	車輪、タイヤ	162
12.23	クラッチレバーの基本位置を調整する	143	14.1	前輪を取り外す ㇿ	162
13	ブレーキシステム	144	14.2	前輪を取り付ける ㇿ	163
13.1	アンチロック・ブレーキシテム (ABS)	144	14.3	後輪を取り外す ㇿ	166
13.2	ブレーキレバーの基本位置を調整する	146	14.4	後輪を取り付ける ㇿ	168
13.3	ブレーキディスクを点検する	147	14.5	後輪のハブダンパーを点検する ㇿ	171
13.4	前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する	148	14.6	タイヤの状態を点検する	172
13.5	前輪ブレーキのブレーキフルードを補給する ㇿ	149	14.7	タイヤ空気圧を点検する	175
13.6	前輪ブレーキのブレーキパッドを点検する	152	14.8	スポークの張りを点検する	176
13.7	後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する	153	14.9	パンク修理剤の使用法	177
13.8	後輪ブレーキのブレーキフルードを補給する ㇿ	154	15	電装系	178
13.9	後輪ブレーキのブレーキパッドを点検する	158	15.1	12V バッテリーを取り外す ㇿ	178
13.10	ブレーキペダルの遊びを点検する	159	15.2	12V バッテリーを取り付ける ㇿ	181
13.11	ブレーキペダルの遊びを調節する ㇿ	160	15.3	12V バッテリーを充電する ㇿ	183
			15.4	メインヒューズを交換する	186
			15.5	ABS のヒューズを交換する	188
			15.6	各電装系部品のヒューズを交換する	191
			15.7	ヘッドライトの設定を点検する	194
			15.8	ヘッドライトの照明距離を調節する	195
			15.9	診断プラグ	196
			15.10	ACC1 および ACC2 前方	197
			15.11	ACC2 後方	197

16	冷却システム	198	18.3	エンジンオイルを補給する	222
16.1	冷却システム	198	19	清掃、手入れ	224
16.2	不凍液とクーラントのレベルを点検する	199	19.1	洗車をする	224
16.3	クーラントのレベルを点検する	202	19.2	冬季運転における点検・メンテナンス作業	227
16.4	クーラントを排出する ㊟	204	20	保管	229
16.5	冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをする ㊟	206	20.1	保管	229
16.6	クーラントを交換する ㊟	209	20.2	保管後、運転操作の前に	231
17	エンジンを調整する	213	21	トラブルシューティング	232
17.1	クラッチレバーの遊びを点検する	213	22	仕様一覧	236
17.2	クラッチレバーの遊びを調節する ㊟	214	22.1	エンジン	236
17.3	シフトレバーの基本位置を点検する	215	22.2	締付けトルク、エンジン	237
17.4	シフトレバーの基本位置を調整する	215	22.3	容量	241
18	エンジンで行うサービス作業	217	22.3.1	エンジンオイル	241
18.1	エンジンオイルのレベルを点検する	217	22.3.2	クーラント	241
18.2	エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃する ㊟	218	22.3.3	燃料	242
			22.4	シャーシ	242
			22.5	電装系	244
			22.6	タイヤ	245
			22.7	フロントフォーク	245
			22.8	ショックアブソーバー	246
			22.9	締付けトルク、シャーシ	246

23	油脂類.....	255
24	ケミカル類	258
25	規格	260
26	用語索引	261
27	表示マーク索引	262
	27.1 黄色とオレンジ色のマーク	262
	27.2 緑と青のマーク	262
	索引	263

1.1 本書の表示マークについて

以下、使用されている表示マークについて説明します。



予想される正常な反応を示します。例: 特定の作業ステップや機能実行の結果。



想定外の異常な反応を示します。例: 特定の作業ステップや機能実行の結果。



このマークが付いている作業は全て専門知識や技術的知識を必要とします。ご自身の安全のため、これら作業は Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーで実施するようにして下さい！特別な訓練を受けた専門技術者が必要な専用ツールを使って、お客様のモーターサイクルを最適な状態にメンテナンス致します。



参照頁を示します (詳細については記載の頁を参照して下さい)。



補足情報や役に立つ情報を示します。



確認ステップの結果を示します。

1 表示方法

V

電圧の測定を示します。

A

電流の測定を示します。



必要に応じた再加工を含む作業の終わりについて示します。

1.2 使用文字種について

以下、使用されている文字種について説明します。

固有名詞

固有名詞を示します。

名前®

登録商標を示します。

マーク™

トレードマークを示します。

下線を引いた用語

車両の技術的詳細を参照または用語解説にある専門用語を示します。

2.1 使用目的に応じた使用環境

この車両は、通常の道路走行で想定される使用環境に耐えられるような設計・構造となっています。
この車両は、サーキットやアスファルト舗装されていない場所での走行は想定されていません。



参考

本車両は承認を受けたモデルのみ公共道路での走行が許可されています。

2.2 誤使用

車両は使用目的に従った方法でのみ使用してください。
使用目的に従わない場合、人、車両、そして環境への危険の原因となります。
使用目的に従った使用、また定義されている使用環境の範囲外で車両を使用した場合、それは誤使用とみなされます。
油脂類およびケミカル類がそれぞれの使用に適した仕様条件を満たしていない場合も誤使用とみなされます。

2.3 安全の手引き

記載された製品の安全な環境のために安全の手引きに留意して下さい。そのためにも本説明書および同梱されたその他すべての説明書をよくお読み下さい。この安全の手引きは文章が見やすく記載され、重要箇所はリンクが添付されています。

2 安全の手引き



参考

記載された製品をよく見える箇所に注意・警告表示が貼付されています。注意または警告表示をはがさないで下さい。これら表示がないと危険が認識できず、お客様ご自身並びに周囲の方々が怪我をされる恐れがあります。

2.4 危険度と表示マーク



危険

適切に対応しないと直接および確実に死亡や後遺症を残す重傷につながる危険を示します。



警告

適切に対応しないと死亡や後遺症を残す重傷につながる恐れのある危険を示します。



注意

適切に対応しないと場合によっては軽傷につながる恐れのある危険を示します。

情報

適切に対応しないと車両または部品に重大な損傷をもたらす危険を示します。



情報

適切に対応しないと環境汚染につながる危険を示します。

2.5 改造に関する警告

ノイズダンパー部品の改造を行うことは禁じられています。以下の処置および該当する状態の製造は法的に禁じられています:

- 1 防音のために取り付けられている装備や部品のいずれかを、新車がエンドユーザーに販売または引き渡される前に取り外したり、機能しないように変更したりする事。あるいは車両の使用期間中にメンテナンス、修理、交換以外の目的で取り外したり、機能しないように変更したりする事。
- 2 そのように設置したり部品を取り外す、もしくは機能しないようにした車両の使用。

違法改造の例:

- 1 メインサイレンサー、バッフルプレート、マニホールド、その他排気系統の部品の取り外しもしくは穿孔。
- 2 インテークシステム部品の取り外しまたは穿孔。
- 3 非合法的なメンテナンス状態での使用。
- 4 車両の可動部品、あるいは排気装置またはインテークシステムの部品を製造者が承認していない部品と交換する事。

2.6 使用時の安全性



危険

事故の危険性 運転能力および判断力が十分でない運転者は、自身および他の方への危険となります。

- アルコール、薬物、薬品などにより運転能力が低下している場合、車両の運転をしないでください。
- 肉体的、精神的に運転能力が低下している場合も、車両の運転をしないでください。

2 安全の手引き



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼動する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼動状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。



警告

火傷の危険性 一部の部品は運転中非常に熱くなります。

- 車両部品が冷めるまで排気装置、ラジエーター、エンジン、ダンパー、ブレーキシステムなどの部品には触らないでください。
- 車両部品を十分に冷ましてから作業を実行してください。

車両が完璧に整備された状態である事を必ず確認し、法規定に則った安全で環境に優しい運転を心がけて下さい。

公道では適切な運転許可証が必要となります。

安全性を損なうような不具合がある場合は、すぐに Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーで処置を受けて下さい。

車両に貼付されている注意・警告表示に従って下さい。

2.7 保護服



警告

怪我の危険性 不足および欠陥のある保護服の着用は安全面での危険性を高めます。

- 走行時は必ずヘルメット、ブーツ、手袋、プロテクターが取り付けられたズボンやジャケットなどの保護服を着用してください。
- 損傷等がなく、かつ法規制に従った保護服を常に着用して下さい。

お客様ご自身の安全のため、Husqvarna Motorcycles では運転の際には必ず適切な保護服を着用する事をお勧めしています。

2.8 作業上の決まり

特に断りのない限り、作業ごとにイグニッションをオフにするか (イグニッションスイッチまたはリモートキーが装備されているモデル)、エンジンを停止する (イグニッションスイッチまたはリモートキーが装備されていないモデル) 必要があります。

作業の中には専用ツールを必要とするものがあります。専用ツールは車両の付属品ではありませんが、() に記載されている番号を指定して注文することができます。例：ベアリングブロー (15112017000)

組み立ての際再利用できない部品 (緩み止めスクリューとナット、拡張ネジ、ガスケット、Oリング、割りピン、リテーナープレートなど) は新しい部品と交換します。

スクリュー脱落にはゆるみ止め材 (例、Loctite®) が必要になることがあります。使用の際にはメーカーの特別な注意事項を参照して下さい。

新しい部品にゆるみ止め剤 (Precote® など) が塗布されている場合、追加的にゆるみ止め剤を重ねて塗布する必要はありません。

分解後も再度使用する部品は清掃し、磨耗や損傷がないかを点検します。摩耗・損傷した部品は交換します。

修理およびサービス終了後は、車両が安全に使用できる状態である事を確認して下さい。

2 安全の手引き

2.9 環境

責任感をもってモーターサイクルと接する事で問題や対立の発生を避ける事ができます。モーターサイクルの明るい未来のためにも、法律で定められた範囲でモーターサイクルを使用し、環境意識を持ち、他人の権利を尊重する事を常に心がけて下さい。

古い燃料、その他燃料およびケミカル類、古くなった部品や車両の廃棄は各国で適用される法律および規則を遵守して下さい。

2.10 オーナーズマニュアル

初めてツーリングに出る前に、必ずこのオーナーズマニュアルを全頁注意して読んで下さい。車両の操作や取り扱い、メンテナンスのために有用なヒントや情報が盛り込まれています。車両を自分に合った最適な状態に調整し、ご自身を怪我から守る対処法を知るにはこれ以外の方法はありません。



ヒント

必要な時にいつでも確認できるよう、オーナーズマニュアルは端末などに保存しておいて下さい。

車両について、ここに記載されていない情報をお求めの場合やご不明な点がございましたら、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。

オーナーズマニュアルはモーターサイクルの重要な部品の一部です。転売する際、オーナーズマニュアルは新しい所有者が新たにダウンロードしなければなりません。

オーナーズマニュアルは、QR コードまたは納車証明書に記載されているリンクから何度もダウンロードすることができます。

オーナーズマニュアルは Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーで、または Husqvarna Motorcycles ホームページからダウンロードすることができます。印刷されたオーナーズマニュアルは、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーから注文することもできます。

Husqvarna Motorcycles インターナショナルサイト: www.husqvarna-motorcycles.com

3 重要な注意事項

3.1 メーカー保証、法定保証

サービスプランに規定された作業は必ず Husqvarna Motorcycles の正規ディーラーで実施し、**Husqvarna Motorcycles Dealer.net**で証明を受けて下さい。この証明がないとメーカー保証に対する一切の請求が無効となります。また、車両の変更・改造に起因する直接・間接の損害はメーカー保証の対象外です。

3.2 油脂類、ケミカル類



情報

環境汚染 燃料の不適切な取り扱いは、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。

オーナーズマニュアルおよび仕様に応じた油脂類とケミカル類を使用して下さい。

3.3 交換部品、Husqvarna Motorcycles 技術アクセサリー

ご自身の安全のため、Husqvarna Motorcycles により承認または推奨されたスベアパーツ並びにアクセサリーのみを使用し、これら部品の取り付けは、Husqvarna Motorcycles の正規ディーラーで行って下さい。それ以外の製品およびその使用に起因する損害について、Husqvarna Motorcycles は一切その責任を負い兼ねます。関連する説明文で ()内に記載されているスベアパーツやアクセサリーもあります。お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

最新の Husqvarna Motorcycles 技術アクセサリーについては、Husqvarna Motorcycles のホームページをご覧ください。

Husqvarna Motorcycles インターナショナルサイト: www.husqvarna-motorcycles.com

3.4 サービス

故障を避け、早期摩耗を防ぐには、オーナーズマニュアルの記載に従ってエンジンとシャーシのサービス、手入れ、調整作業を行う必要があります。シャーシの調整を間違えると、シャーシ部品の損傷や破損を引き起こす恐れがあります。

ほこりの多い環境や強い雨、厳しい暑さ、あるいは重い荷物を積むなど、過酷な条件で車両を使用すると、エアフィルター、駆動装置、ブレーキシステム、サスペンションなどで部品の磨耗を大幅に早める原因となります。その結果、次回サービス実施時期に達する前に点検や部品の交換が必要になる事があります。規定の慣らし運転時間とサービス時期を必ず守って下さい。これは、車両の寿命を長くするために非常に重要な事です。

走行距離と時間間隔は最初のインターバルで決定します。

3.5 写真

注意事項に記載された写真には一部特別装備が施されています。

より分かりやすく表示および説明するために一部部品を取り外したり、記載していない場合があります。これらの記述に関する取り外しは必ずしも必要ではありません。記載内容に留意して下さい。

3.6 カスタマーサービス

お手持ちの製品や Husqvarna Motorcycles に関するご質問については、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーの一覧は、Husqvarna Motorcycles のホームページに掲載されています。
Husqvarna Motorcycles インターナショナルサイト: www.husqvarna-motorcycles.com

4 各部の名称

4.1 各部の名称 左前方 (代表写真)



- ① コンビネーションインスツルメント (📖 頁 42)
- ② パッシングライトスイッチ (📖 頁 28)
- ② ライトスイッチ (📖 頁 29)
- ② ターンシグナルスイッチ (📖 頁 29)
- ② ホーンスイッチ (📖 頁 30)
- ③ クラッチレバー (📖 頁 27)
- ④ シート
- ⑤ 同乗者用フットレスト (📖 頁 39)
- ⑥ シフトレバー (📖 頁 39)
- ⑦ エンジンナンバー (📖 頁 25)
- ⑧ シートロック (📖 頁 37)

4 各部の名称

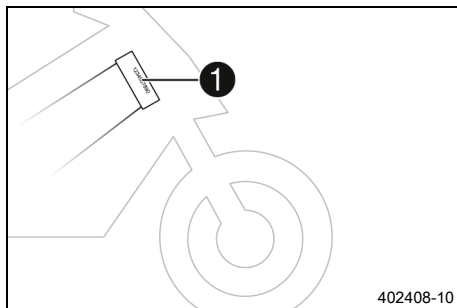
4.2 各部の名称 右後方 (代表写真)



- ① 車載工具 (📖 頁 38)
- ② イグニッション / ハンドルロック (📖 頁 32)
- ③ エマージェンシーOFFスイッチ (📖 頁 31)
- ③ スタートキー (📖 頁 32)
- ④ スロットルグリップ (📖 頁 28)
- ⑤ ブレーキレバー (📖 頁 27)
- ⑥ エンジンオイル点検窓
- ⑦ ブレーキペダル (📖 頁 40)
- ⑧ ブレーキフルードリザーバー

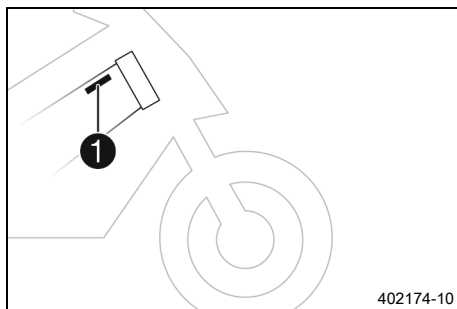
5 シリアルナンバー

5.1 車両識別番号



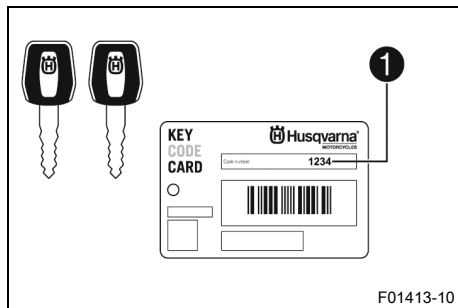
シャリヨウシキベツバンゴウ①はステアリングヘッドの右に刻印されています。

5.2 タイブラベル



タイブラベル①はステアリングヘッド右後方のフレームに貼付されています。

5.3 キーナンバー



キーナンバー①はKEYCODECARDに記載されています。



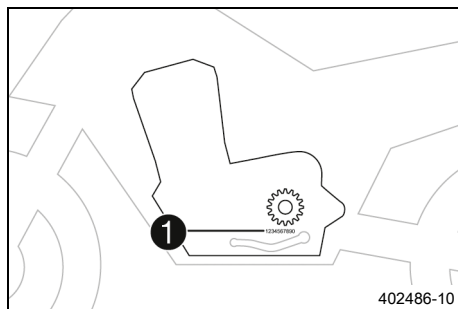
参考

スペアキーを注文するには、キーナンバーが必要です。

KEYCODECARDは安全な場所に保管して下さい。

イグニッションキーが一つでもあれば、予備のキーを注文することができます。イグニッションキーが一つもない場合は、ロック機構全体を交換しなければなりません。

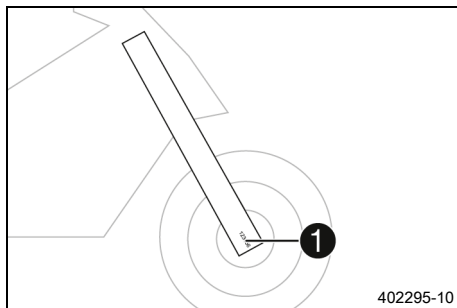
5.4 エンジンナンバー



エンジンナンバー①はエンジンの左側、フロントスプロケットの下に刻印されています。

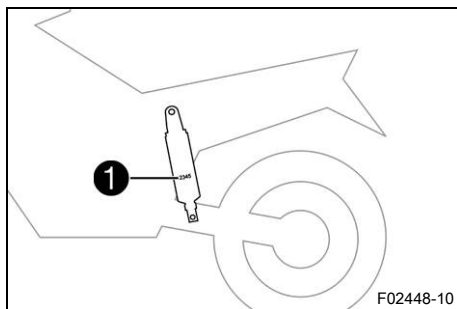
5 シリアルナンバー

5.5 フロントフォークタイプナンバー



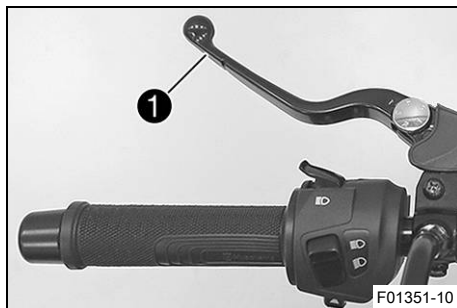
フロントフォークタイプナンバー①はフォークレグにあるア
クスル用の穴の内側に刻印されています。

5.6 ショックアブソーバータイプナンバー



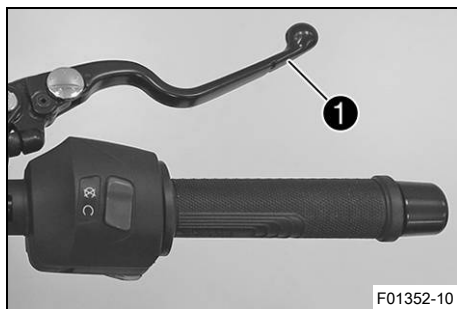
ショックアブソーバータイプナンバー①はショックアブソー
バーの左側に表示されています。

6.1 クラッチレバー



クラッチレバー①は左のハンドルバーに設置されています。

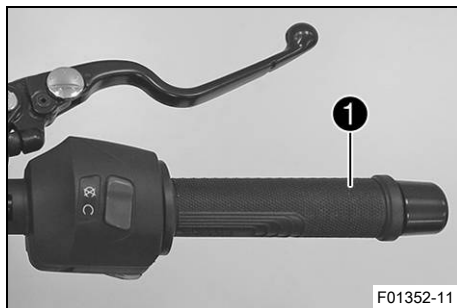
6.2 ブレーキレバー



ブレーキレバー①は右のハンドルバーに設置されています。
ブレーキレバーで前輪ブレーキを作動します。

6 操作各部

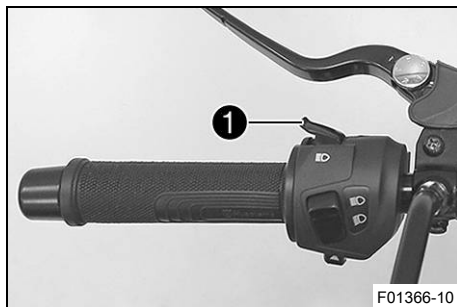
6.3 スロットルグリップ



スロットルグリップ①は右のハンドルバーに設置されています。

6.4 左ハンドルバーのスイッチ

6.4.1 パッシングライトスイッチ

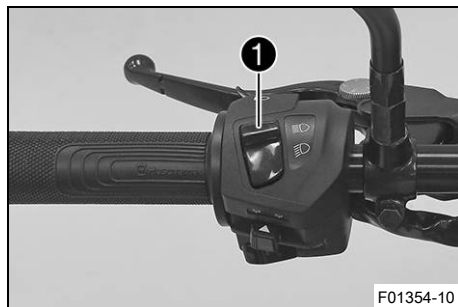


パッシングライトスイッチ①は左のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

- ・ パッシングライトスイッチが基本位置にある
- ・ パッシングライトスイッチが押されている- この位置でパッシングライト (ハイビーム)が作動します。

6.4.2 ライトスイッチ



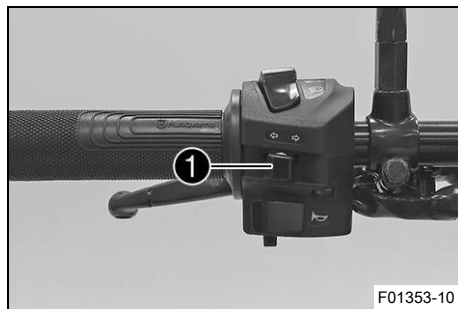
F01354-10

ライトスイッチ①は左のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

	ヘッドライト (ロービーム) 点灯-ライトスイッチの下側が押されています。この位置でヘッドライト (ロービーム) とテールライトが点灯しています。
	ヘッドライト (ハイビーム) 点灯-ライトスイッチの上を押します。この位置でヘッドライトのロービーム、ハイビーム、テールライトが点灯します。

6.4.3 ターンシグナルスイッチ



F01353-10

ターンシグナルスイッチ①は左のハンドルバーに設置されています。

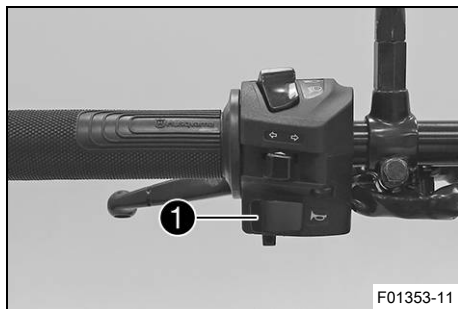
確認すべき状態

	ターンシグナルを停止
	左のターンシグナルが作動- ターンシグナルスイッチを左に押します。ターンシグナルが作動し、スイッチは中央位置に戻ります。
	右のターンシグナルが作動- ターンシグナルスイッチを右に押します。ターンシグナルが作動し、スイッチは中央位置に戻ります。

6 操作各部

ターンシグナルを停止するには、ターンシグナルスイッチをスイッチボックスに向かって押します。

6.4.4 ホーンスイッチ



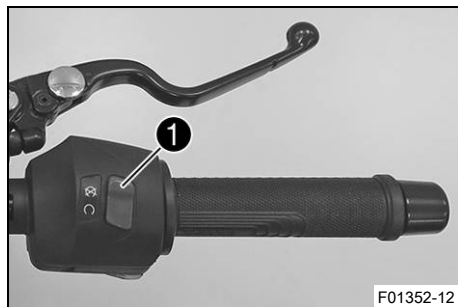
ホーンスイッチ①は左のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

- ホーンスイッチが基本位置にある
- ホーンスイッチが押されている- この位置でホーンが鳴ります。

6.5 右ハンドルバーのスイッチ

6.5.1 エマージェンシーOFFスイッチ



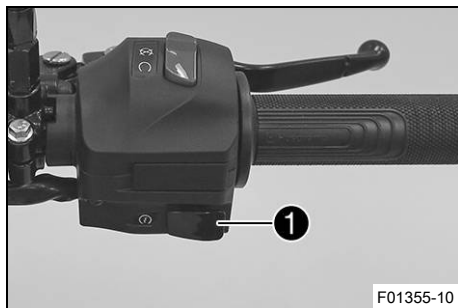
エマージェンシーOFFスイッチ①は右のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

	エマージェンシーOFFスイッチがオフ-この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、エンジン作動中はこれを停止し、エンジンをかける事ができません。
	エマージェンシーOFFスイッチがオン-運転する際はこの位置に設定します。イグニッション回路が接続されています。

6 操作各部

6.5.2 スタートキー

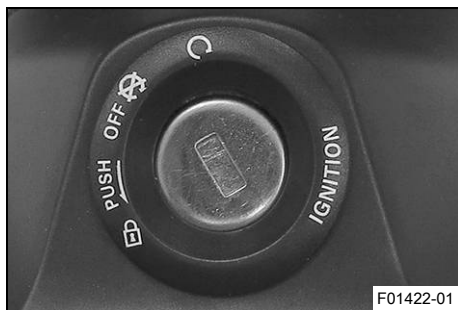


スタートキー①は右のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

- ・ スタートキー③が基本位置にある
- ・ スタートキー③が押されている- この位置でセルフスターターモーターを作動します。

6.6 イグニッション / ハンドルロック



イグニッション / ハンドルロックはアッパートリブルクランプの手前に設置されています。

確認すべき状態

	イグニッションがオフ OFF - この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、エンジン作動中はこれを停止し、停止中の場合はエンジンをかける事ができません。イグニッションキーを抜く事ができます。
	イグニッションがオン - この位置ではイグニッション回路が接続されており、エンジンをかける事ができます。



ハンドルのロック- この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、ハンドルはロックされています。イグニッションキーを抜く事ができます。

6.7 ハンドル操作をロックする

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。

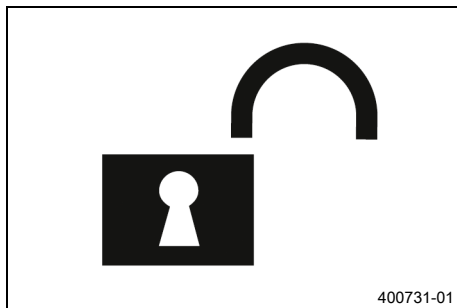


400732-01

- 車両を停めます。
- ハンドルバーを左に回し切ります。
- イグニッション / ハンドルロックにイグニッションキーを差し込み、中に押し込んでから左に回します。イグニッションキーを抜きます。
- ✓ これで、もうハンドルバーを動かすことはできません。



6.8 ハンドル操作のロックを解除する



- イグニッション / ハンドルロックにイグニッションキーを差し込み、中に押し込んでから右に回します。イグニッションキーを抜きます。
- ✓ これでまたハンドルバーを動かす事ができます。

6.9 フィラーキャップを開ける



危険

火事の危険 燃料は可燃性です。

フューエルタンク内の燃料は熱により膨張し、溢れ出てしまうことがあります。

- 炎や火のついたタバコの近くで車両に給油しないでください。
- 給油の際にはエンジンを停止してください。
- 特に車両部品に燃料がこぼれることがないように注意してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 給油の際には燃料給油に関する注意事項を参照してください。



警告

中毒の危険性 燃料は毒性で、健康に害を及ぼします。

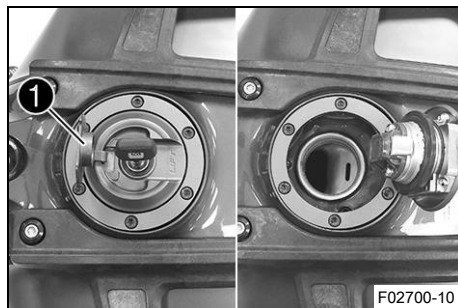
- 燃料が皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- 燃料を飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 気化した燃料を吸い込まないでください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- 燃料が目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。
- 燃料は適切なキャニスターに入れ、子供の手の届かない場所に保管して下さい。



情報

環境汚染 燃料の不適切な取り扱いは、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。



- フィラーキャップのカバー①を上を開き、イグニッションキーを鍵穴に差し込みます。

注意

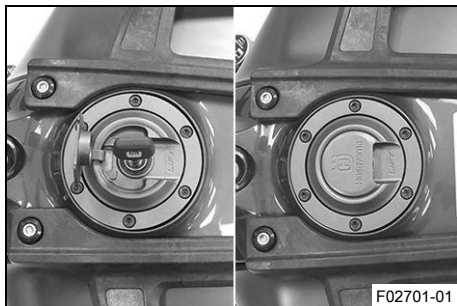
損傷の危険性 イグニッションキーに過負荷が掛かると折れてしまうことがあります。

イグニッションキーが破損した場合は交換して下さい。

- イグニッションキーの負荷を取り除くためにフィラーキャップを押してください。
- イグニッションキーを時計回りに 90 度回します。

- フィラーキャップを上を開きます。

6.10 フィラーキャップを閉める

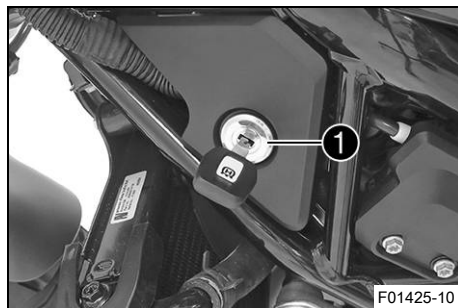


警告

火事の危険 燃料は発火性が高く、毒性で、健康に害を及ぼします。

- フィラーキャップを閉めた後には正しくロックされているか点検してください。
 - 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。
 - 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
-
- フィラーキャップを閉めます。
 - イグニッションキーを時計回りに 90 度回します。
 - フィラーキャップを下に押し、タンクキャップロックがかかるまで時計と反対回りにイグニッションキーを回します。
 - イグニッションキーを抜き、カバーを閉じます。

6.11 シートロック



シートロック①はフューエルタンクの下、左前方にあります。
イグニッションキーでシートロックを解除できます。

6.12 キャリア

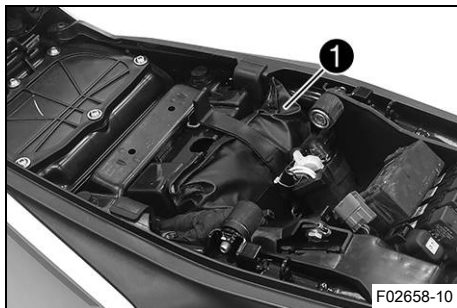


キャリア①はフューエルタンクの上に設置されています。
キャリアに規定の最大重量を超える荷重をかけないで下さい。

キャリアの許容最大 負荷	5 kg
-----------------	------

6 操作各部

6.13 車載工具



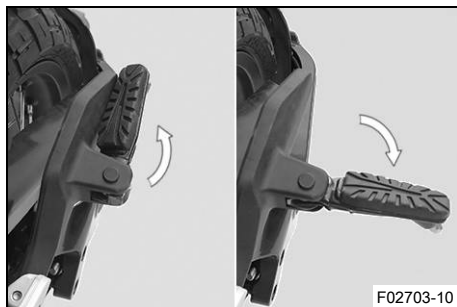
車載工具①はフロントシートの下に設置されています。

6.14 サイドグリップ



サイドグリップ①は車両を移動する際に使用します。
同乗者を乗せている場合、同乗者はサイドグリップをつかんで身体を支える事ができます。

6.15 同乗者用フットレスト

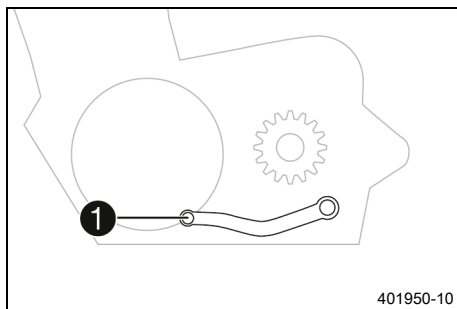


同乗者用フットレストは開閉式になっています。

確認すべき状態

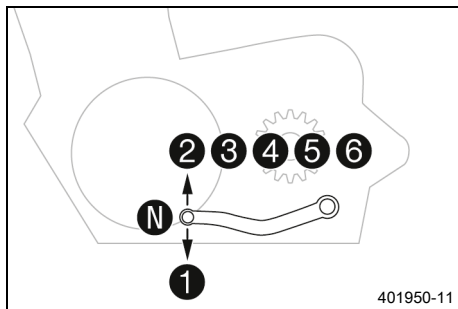
- 同乗者用フットレストが収納された状態- 同乗者がいない場合。
- 同乗者用フットレストが展開された状態- 同乗者がいる場合。

6.16 シフトレバー



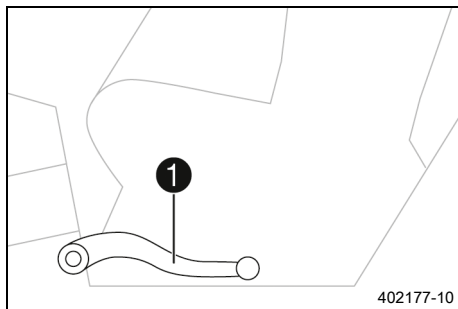
シフトレバー①はエンジンの左側に設置されています。

6 操作各部



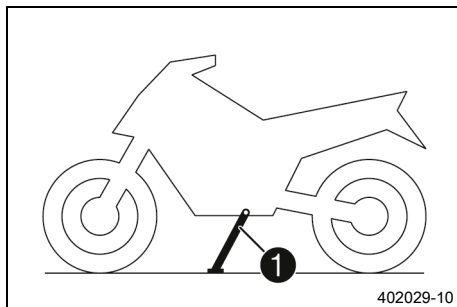
各ギアのポジションは図の通りです。
ニュートラル/アイドリングは 1 速と 2 速の間にあります。

6.17 ブレーキペダル



ブレーキペダル①は右のフットレストの前方に設置されています。
ブレーキペダルで後輪ブレーキを作動します。

6.18 サイドスタンド



サイドスタンド①は車両の左側に設置されています。
サイドスタンドは車両を立てるのに使用します。

**参考**

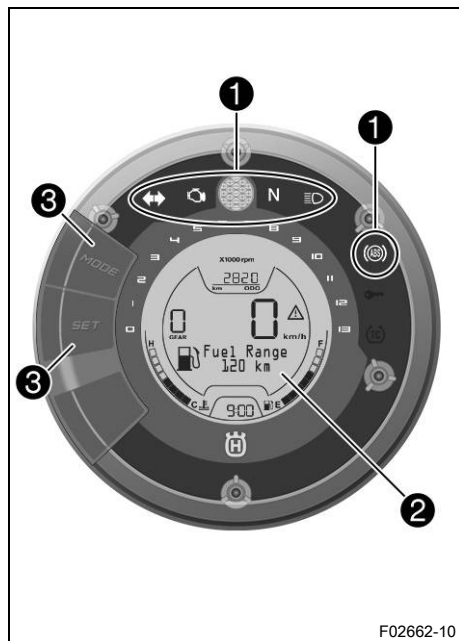
走行中はサイドスタンドを上には収納して下さい。
サイドスタンドは安全スタートシステムと連結しています。
運転上の注意事項の説明に従って下さい。

確認すべき状態

- サイドスタンドが開かれている-サイドスタンドで車両を立てることができます。安全スタートシステムが作動していません。
- サイドスタンドが収納されている-走行中は必ずこの位置にして下さい。安全スタートシステムは作動していません。

7 コンビネーションインスツルメント

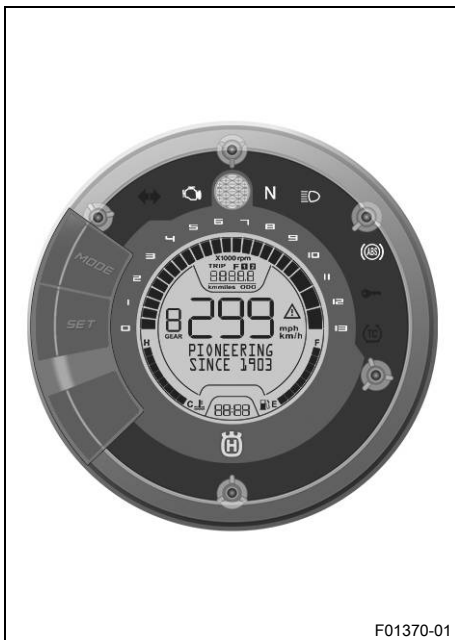
7.1 コンビネーションインスツルメント



コンビネーションインスツルメントはハンドルバーの前方に設置されています。

- ① インジケータランプ (📖 頁 49)
- ② ディスプレイ (📖 頁 53)
- ③ 機能ボタン (📖 頁 57)

7.2 起動とテスト



起動

イグニッションをオンにすると、コンビネーションインスツルメントが起動します。



参考

ディスプレイの明るさは、コンビネーションインスツルメントに装備された車両周辺の明るさを感知するセンサーにより調整されます。

テスト

イグニッションをオンにすると、ターンシグナルインジケータランプ以外の全てのインジケータランプが点灯します。

タコメーターのセグメントとギア表示が順番に点灯し、再び消えます。

速度表示が 0 から 299 までカウントし、また 0 に戻ります。

ディスプレイ上にある、それ以外の表示セグメントが短く点灯します。

ディスプレイに **PIONEERING SINCE 1903** の文字列が表示されます。

その後、選択した ABS モードが 4 秒間表示されます。

その後、最後に選択したモードが表示されます。

7 コンビネーションインスツルメント



参考

エンジンが稼動していないと、不具合インジケータースランプは常に点灯しています。エンジンが稼動している状態で、不具合インジケータースランプが点灯した場合、交通規制に従った方法で速やかに停車し、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。

ABS 警告ランプは速度約 6 km/h (約 4 mph) に達するまで点灯しています。

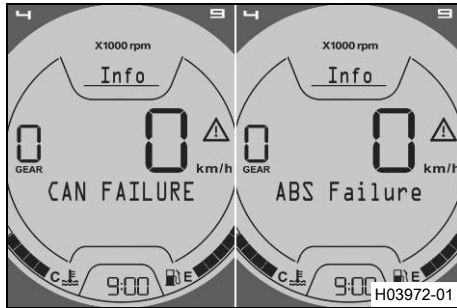
7.3 警告



参考

現行の警告はそれが解除されるまで**Info**に表示されます。不具合が発生すると各インジケータースランプが点灯し、使用上の安全性に関する注意 / 警告事項が検出されたことを知らせます。

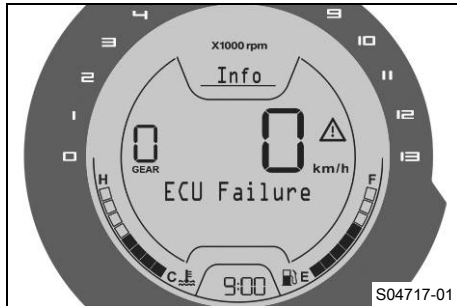
複数の警告事項が検出された場合、追加的にディスプレイ上に一般警告シンボルが点滅します。



CAN-Bus にエラーが発生した場合、異なる警告がディスプレイに表示されることがあります：

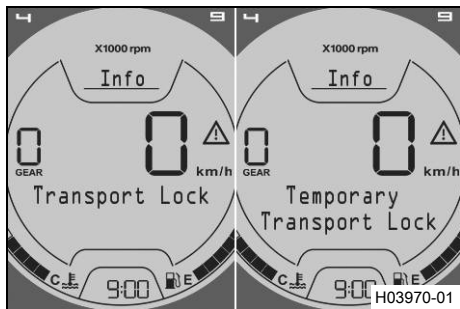
CAN FAILURE、**CAN ABS FAILURE**、**CAN EMS FAILURE**が発生することがあります。

ABSが無効化された場合、**ABS Failure**がディスプレイに表示されます。

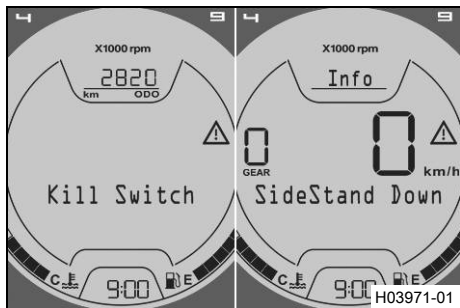


ECU Failureが、エンジン制御ユニットがエラーを報告したときにディスプレイに表示されます。

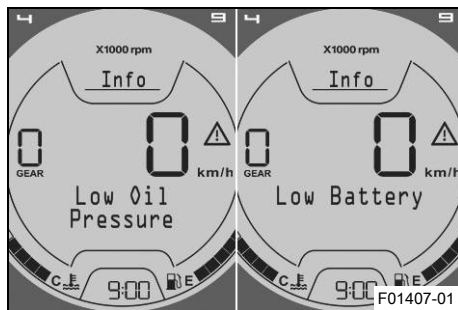
7 コンビネーションインストルメント



輸送モードがオンの場合、**Transport Lock**がディスプレイに表示されます。
一次的な輸送モードがオンの場合、**Temporary Transport Lock**がディスプレイに表示されます。



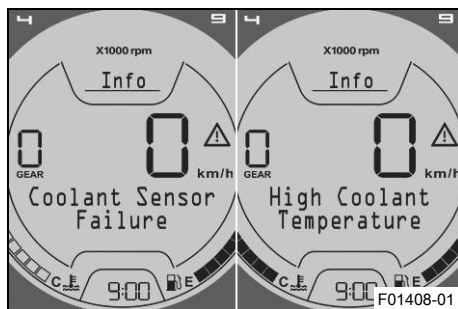
エマージェンシーOFFスイッチがオンになると**Kill Switch**がディスプレイに表示されます。
サイドスタンドが出ていると、ディスプレイに**SideStand Down**が表示されます。



油圧が低過ぎると、ディスプレイに**Low Oil Pressure**が表示されます。

バッテリー電圧が規定値を下回ると、ディスプレイに**Low Battery**が表示されます。

バッテリー電圧	$\leq 10.5 \text{ V}$
---------	-----------------------

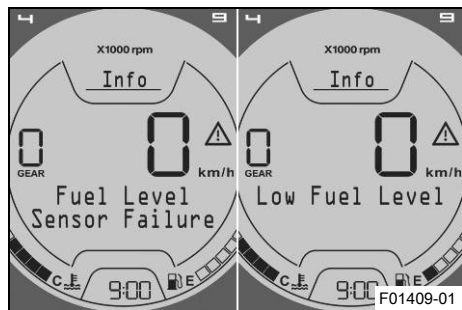


クーラント温度センサーに不具合があると、ディスプレイに**Coolant Sensor Failure**が表示されます。

クーラントの温度が規定値を上回ると、ディスプレイに**High Coolant Temperature**が表示されます。

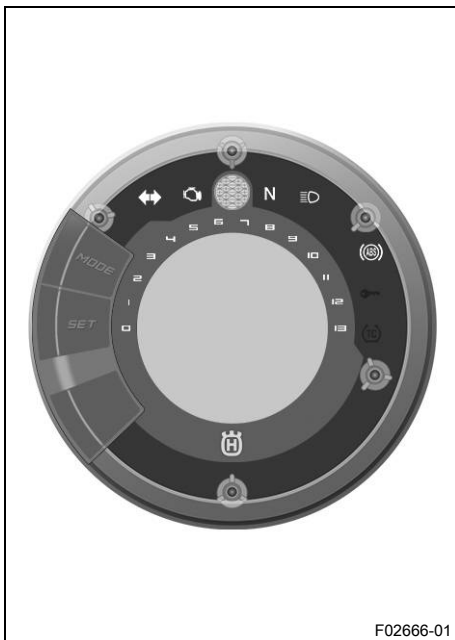
クーラントの温度	$> 110 \text{ }^{\circ}\text{C}$
----------	----------------------------------

7 コンビネーションインスツルメント



燃料レベルセンサーに不具合があると、ディスプレイに**Fuel Level Sensor Failure**が表示されます。燃料レベルがリザーブマークに達すると、ディスプレイに**Low Fuel Level**が表示されます。

7.4 インジケータランプ



インジケータランプは車両の作動状態に関する補足情報を示します。

イグニッションをオンにすると、ターンシグナルインジケータランプ以外の全てのインジケータランプが点灯します。

複数の警告事項が検出された場合、追加的にディスプレイ上に一般警告シンボルが点滅します。

参考

エンジンが稼動していないと、不具合インジケータランプは常に点灯しています。エンジンが稼動している状態で、不具合インジケータランプが点灯した場合、交通規制に従った方法で速やかに停車し、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。

ABS 警告ランプは速度約 6 km/h (約 4 mph) に達するまで点灯しています。

確認すべき状態



ターンシグナルインジケータランプがターンシグナルのリズムで緑に点滅- ターンシグナルが作動しています。

7 コンビネーションインストルメント

	不具合インジケータランプが黄色に点灯 – OBD(オンボード・ ダイアグノーシス)が車両の電気系統で不具合を検出しました。交通規制に従った方法で速やかに停車し、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。
	シフトランプが赤く点灯 / 点滅 – 設定されたシフト回転数RPM1に達するとシフトランプが赤く点滅します。設定されたシフト回転数RPM2に達するとシフトランプが赤く点灯します。
	ニュートラルインジケータランプが緑に点灯 – ギアがニュートラルに入っています。
	ハイビームインジケータランプが青く点灯 – ハイビームが点灯しています。
	ABS 警告ランプが黄色に点灯 – <u>ABS</u> の状態メッセージまたはエラーメッセージ。

7.5 シフトランプ



F01411-10

シフトランプ①はディスプレイの上、中央にあります。



参考

シフトランプはTrip 1およびTrip 2上でMODEキーを押し続けて設定します。

慣らし走行期間中 (1000 km/621 マイルまで) シフトランプは常にオンになっています。慣らし走行が終了したらシフトランプをオフにすることができ、RPM1およびRPM2の数値を変更することができます。RPM1ではシフトランプが赤く点滅し、RPM2ではシフトランプが赤く点灯します。



参考

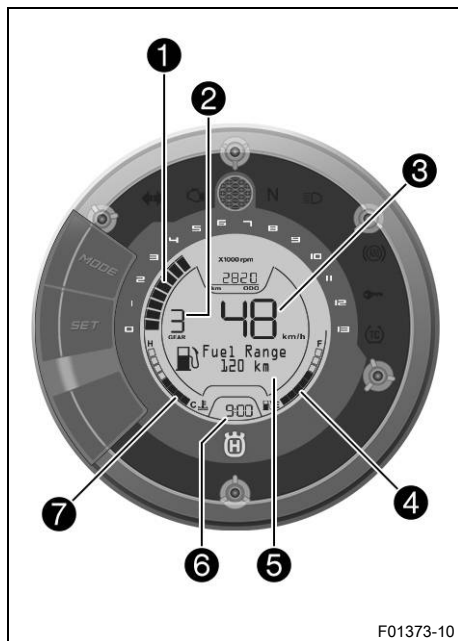
6 速ではエンジンが作動温度に達しており、初回サービス後はシフトランプはオフになっています。

クーラントの温度	≤ 35 °C
ODO	< 1,000 km
シフトランプは常に右に挙げた回転数で点灯	6,500 rpm
クーラントの温度	> 35 °C

7 コンビネーションインストルメント

ODO	> 1,000 km
RPM1シフトランプ	点滅
RPM2シフトランプ	点灯

7.6 ディスプレイ



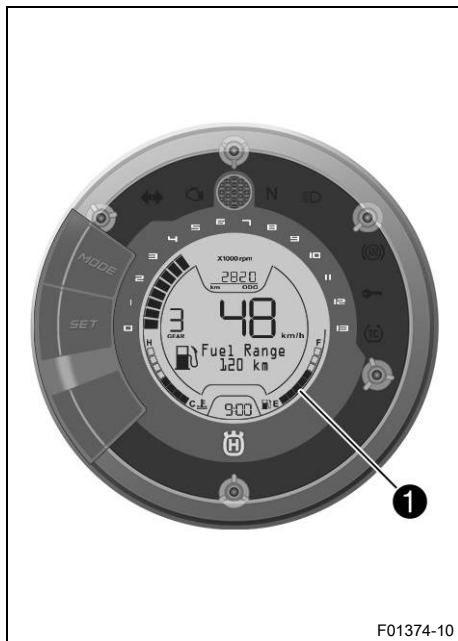
タコメーター①は分単位のエンジン回転数を示します。
 ギア表示②は現在選択されているギアを示します。
 速度③には時速がキロメートル (km/h) またはマイル (mph) で表示されます。
 燃料レベルは④に表示されます。
 ディスプレイ⑤には補足情報が表示されます。
 時計は⑥に表示されます。
 クーラントの温度は⑦に表示されます。

参考

12V バッテリーの接続を外した後やヒューズを交換した後は時計を設定して下さい。
 ディスプレイの明るさは、コンビネーションインスツルメントに装備された車両周辺の明るさを感知するセンサーにより調整されます。

7 コンビネーションインスツルメント

7.7 燃料レベル表示



フューエルタンク容量はディスプレイ上の①に表示されます。燃料レベルの表示はゲージで表示されます。点灯しているゲージが多いほど、フューエルタンクの燃料量が多い事を示します。

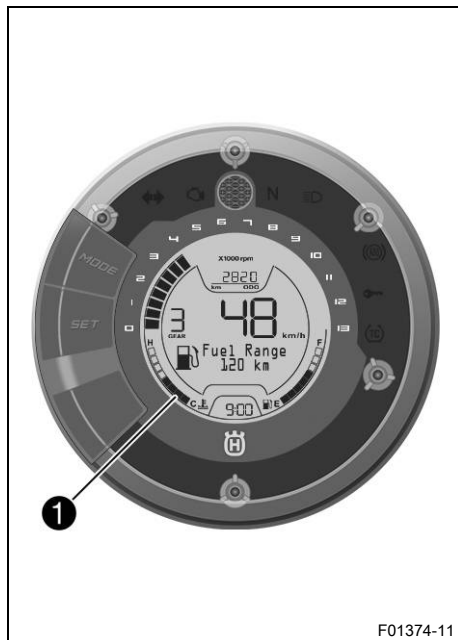


参考

燃料レベルがゼロにちかくなるとディスプレイに警告**Low Fuel Level**も表示されます。

走行中に常時、表示が変動することを避けるために、燃料レベルはほんの少し遅く表示されるようになっています。コンビネーションインスツルメントが燃料レベルセンサーから信号を受信しない場合、ゲージは表示されず、ディスプレイに警告が表示されます**Fuel Level Sensor Failure**。

7.8 クーラント温度の表示



F01374-11

クーラント温度はディスプレイ上の①に表示されます。クーラント温度の表示はゲージで表示されます。点灯しているゲージが多いほど、クーラントの温度が高い事を示します。

情報

エンジン損傷 過熱でエンジンが損傷します。

- クーラント温度の警告表示が点灯したら、すぐに他の交通の妨げにならないように停車して下さい。
- エンジンと冷却システムの温度が下がるまでお待ち下さい。
- 冷却システムの温度が下がった時に、クーラントのレベルを調節ならびに調整して下さい。



参考

全てのゲージが点灯すると、ディスプレイにという警告**High Coolant Temperature**も表示されます。冷却システムが過熱すると、エンジンの最高回転数が制限されます。

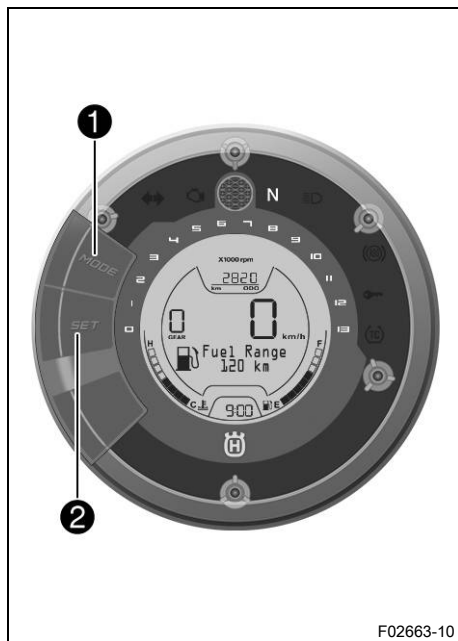
確認すべき状態

- エンジンが冷えている場合- ゲージが3つまで点灯しています。
- エンジンが作動温度に達している- 4つのゲージが点灯します。

7 コンビネーションインストルメント

- エンジンが熱くなっている-5 つから 8 つのゲージが点灯します。
- エンジンが非常に熱くなっている-8 つのゲージ全てが点滅します。

7.9 機能ボタン



F02663-10

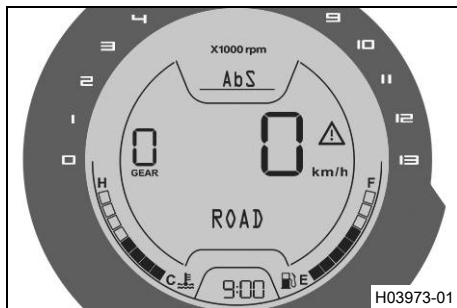
MODEキー①でモードを変更します。

選択できる表示モードは**ABS**、**Info** (警告が表示されたとき)、**総走行距離 (ODO)**、**走行距離 1 (TRIP 1)** と **走行距離 2 (TRIP 2)** です。

SETキー②でモード上のメニューを変更します。

7 コンビネーションインストルメント

7.10 ABS 表示



- MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイに**ABS**を表示させます。

ABSは選択された ABS モードを表示します。

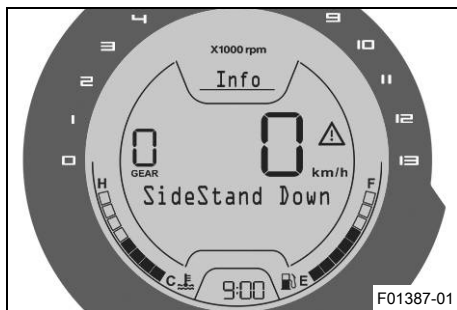


参考

ABS モードは停車状態でのみ変更できます。

MODEキーを軽く押すとディスプレイ上の次の表示モードに移動します。

7.11 Info 表示



- MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイに**Info**を表示させます。

Infoは発生した警告を表示します。



参考

Infoはメッセージまたは警告がある場合にのみ表示されます。

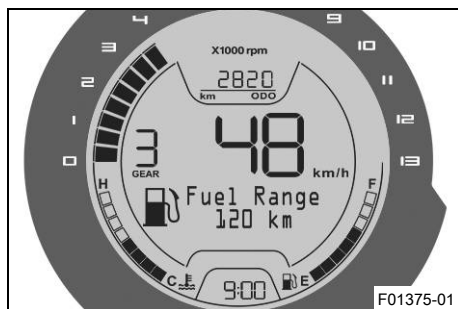
警告表示はそれが解除されるまでInfoに表示されます。

全ての警告は順次自動的にInfoに表示されます。

SETキーを軽く押すとディスプレイ上の次の警告に移動します。

MODEキーを軽く押すとディスプレイ上の次の表示モードに移動します。

7.12 ODO 表示



MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイにODOを表示させます。



参考

ODOは走行した総距離を示します。

この値は 12V バッテリーが車両から外されても、またヒューズが飛んでもそのままです。

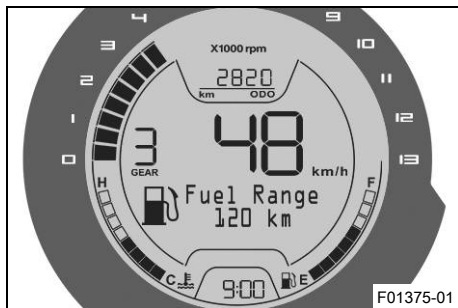
ODOは常に作動しており、99.999までカウントします。

SETキーを軽く押すとディスプレイ上の次のメニューに移動します。

MODEキーを軽く押すとディスプレイ上の次の表示モードに移動します。

7 コンビネーションインスツルメント

7.12.1 Fuel Range



- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**ODO**を表示させます。
- **SET**キーを何度か短く押して表示したいメニューを選択します。

Fuel Rangeメニューは**ODO**、**Trip 1**、**Trip 2**でも同じものです。このメニューでは航続距離が表示されます。



参考

航続距離は平均燃費とフューエルタンク内の燃料量に関係しています。

航続距離はイグニッションをオンにし、数百メートル走行した後で表示されます。

SET キーを短く押します。	ディスプレイの次のメニュー
MODE キーを短く押します。	ディスプレイが次のモードに切り替わります

7.12.2 Service



- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**ODO**を表示させます。
 - **SET**キーを何度か短く押して表示したいメニューを選択します。
- このメニューでは次回サービス実施までの距離が表示されます。

参考

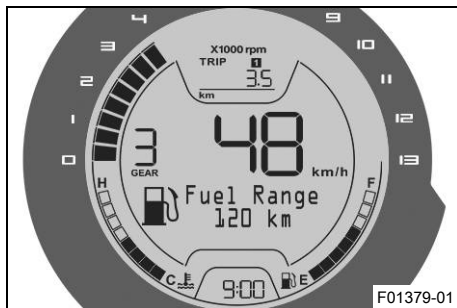
次のサービスまでの距離が 0 km の場合、ディスプレイに警告**Service Reset**が表示されます。この警告は、サービスがリセットされるまでイグニッションがオンになるたびに表示されます。

警告**Service Reset**は**Info**ディスプレイに表示されません。

SET キーを短く押します。	ディスプレイの次のメニュー
MODE キーを短く押します。	ディスプレイが次のモードに切り替わります

7 コンビネーションインストルメント

7.13 TRIP 1 表示



MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイにTRIP 1を表示させます。



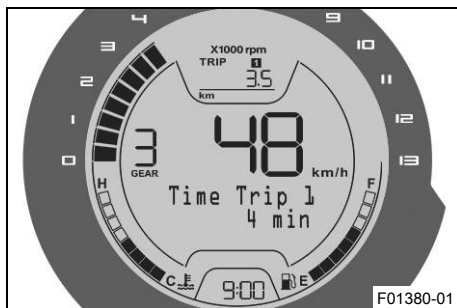
参考

TRIP 1モードでは最後のリセットからの走行距離が表示されます（例、給油間の走行距離）。TRIP 1は常に作動しており、9999.9までカウントします。

SETキーを軽く押すとディスプレイ上の次のメニューに移動します。

MODEキーを軽く押すとディスプレイ上の次の表示モードに移動します。

7.13.1 Time Trip 1



- MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイにTRIP 1を表示させます。
- SETキーを何度か短く押して表示したいメニューを選択します。

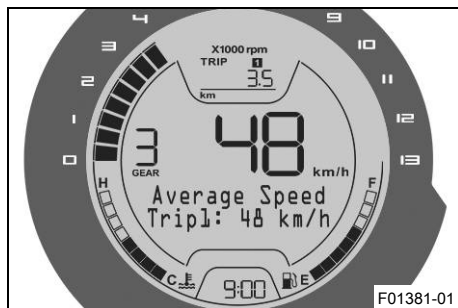
このメニューではTRIP 1に基づいた走行時間 1 が表示されます。

SETキーを短く押します。

ディスプレイの次のメニュー

SETキーを 3 秒間押し続 けます。	TRIP 1の表示をリセットします
MODEキーを 短く押しま す。	ディスプレイが次のモードに切り替わります

7.13.2 Average Speed Trip1



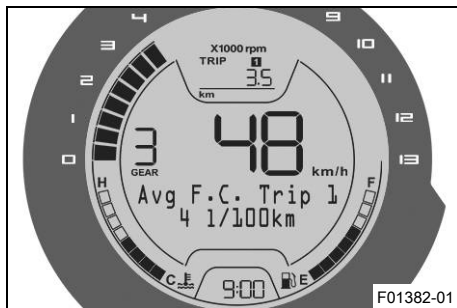
- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**TRIP 1**を表示させます。
- **SET**キーを何度か短く押して表示したいメニューを選択します。

このメニューでは**TRIP 1**に基づいた平均速度 1 が表示されます。

SETキーを短 く押します。	ディスプレイの次のメニュー
SETキーを 3 秒間押し続 けます。	TRIP 1の表示をリセットします
MODEキーを 短く押しま す。	ディスプレイが次のモードに切り替わります

7 コンビネーションインストルメント

7.13.3 Avg F.C. Trip 1

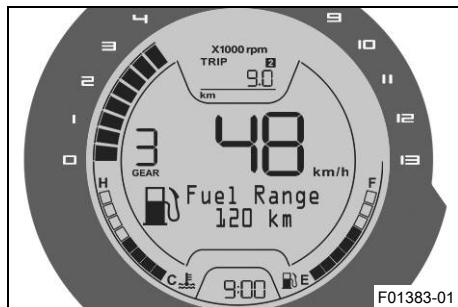


- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**TRIP 1**を表示させます。
- **SET**キーを何度か短く押して表示したいメニューを選択します。

このメニューでは**TRIP 1**に基づいた平均燃費 1 が表示されます。

SET キーを短く押します。	ディスプレイの次のメニュー
SET キーを3秒間押し続けます。	TRIP 1 の表示をリセットします
MODE キーを短く押します。	ディスプレイが次のモードに切り替わります

7.14 TRIP 2 表示



MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイに**TRIP 2**を表示させます。

i 参考

TRIP 2モードでは最後のリセットからの走行距離が表示されます（例、給油間の走行距離）。TRIP 2は常に作動しており、9999.9までカウントします。

SETキーを軽く押すと次のメニューに移動します。

MODEキーを軽く押すとディスプレイ上の次の表示モードに移動します。

7.14.1 Time Trip 2



- MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイに**TRIP 2**を表示させます。
- SETキーを何度か短く押して表示したいメニューを選択します。

このメニューでは**TRIP 2**に基づいた走行時間2が表示されます。

SETキーを短く押します。

ディスプレイの次のメニュー

SETキーを3秒間押し続けます。

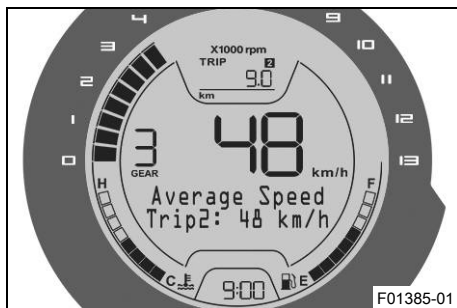
TRIP 2の表示をリセットします

7 コンビネーションインスツルメント

MODEキーを
短く押しま
す。

ディスプレイが次のモードに切り替わります

7.14.2 Average Speed Trip2



- MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイにTRIP 2を表示させます。
- SETキーを何度か短く押して表示したいメニューを選択します。

このメニューではTRIP 2に基づいた平均速度2が表示されます。

SETキーを短
く押します。

ディスプレイの次のメニュー

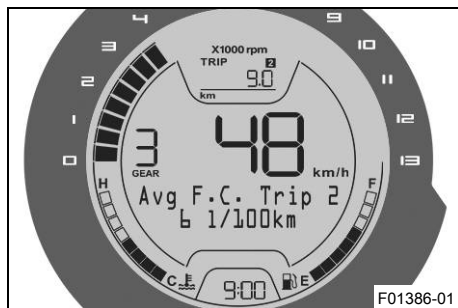
SETキーを
3 秒間押し続
けます。

TRIP 2の表示をリセットします

MODEキーを
短く押しま
す。

ディスプレイが次のモードに切り替わります

7.14.3 Avg F.C. Trip 2



- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**TRIP 2**を表示させます。
- **SET**キーを何度か短く押して表示したいメニューを選択します。

このメニューでは**TRIP 2**に基づいた平均燃費2が表示されます。

SET キーを短く押します。	ディスプレイの次のメニュー
SET キーを3秒間押し続けます。	TRIP 2 の表示をリセットします
MODE キーを短く押します。	ディスプレイが次のモードに切り替わります

7.15 ABS モードを調整する

条件

車両が停止している。

7 コンビネーションインストルメント



- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**ABS**を表示させます。
- **ABS** モードを切り替えるには**SET**キーを 3 ~ 5 秒間押し続けます。

i 参考

選択中にはスロットルは開かないで下さい。

ABS の切り替えが成功しなかった場合、以前に設定された **ABS** モードがオンのままになります。

点滅する **ABS** モードは、表示されている **ABS** モードが、故障のため実際の **ABS** モードと一致しないことを示します。

ABS モード**ROAD**を選択すると、**ABS** は前輪と後輪を両方制御します。

ABS モード**SUPERMOTO**を選択すると、**ABS** は前輪のみを制御します。後輪は **ABS** に制御されず、ブレーキをかけた際にロックする恐れがあります。

7.16 単位を設定する

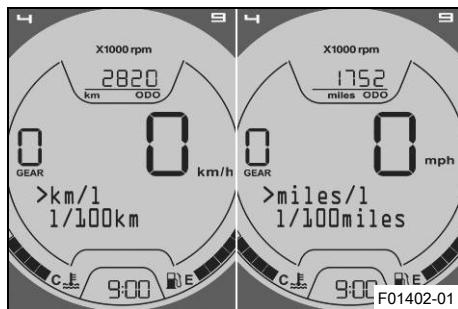
i 参考

国に応じた設定を選択して下さい。

単位を変更しても**ODO**の値は保持され、選択単位に合わせて換算されます。

条件

車両が停止している。



- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**ODO**を表示させます。
- **MODE**キーを 5 秒間押し続けます。
- ✓ 単位表示が画面に現れます。



参考

単位表示はメニューを問わず**MODE**キーを押し続けると**ODO**に表示されます。

- ご希望の単位がディスプレイに表示されるまで**SET**キーを何度か短く押します。
- **MODE**キーおよび**SET**キーのどちらも押さずに約 5 秒間待ちます。
- ✓ 単位表示が消え、一行目の選択された単位が認識され、保存されます。



参考

長さの単位は**km**または**miles**で設定します。
容量の単位は**l**、**USGa**または**UKGa**で設定します。

7 コンビネーションインスツルメント

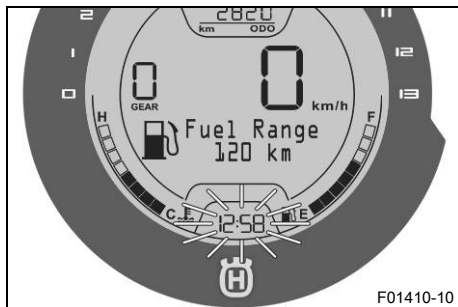
7.17 時刻を設定する



参考

時計は 24 時間制で表示されます。

12V バッテリーの接続を外した後やヒューズを交換した後は時計を設定して下さい。



条件

車両が停止している。

- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**ODO**を表示させます。
 - **MODE**キーと**SET**キーを 5 秒間同時に押し続けます。
- ✓ 時計表示が点滅し始めます。



参考

時計はメニューを問わず**ODO**で**MODE**キーおよび**SET**キーを同時に押し続け設定することができます。

- **MODE**キーで時間表示を設定します。
 - **SET**キーで分表示を設定します。
 - **MODE**キーと**SET**キーを同時に押し続けます。
- ✓ 時計の設定が認識され、保存されます。

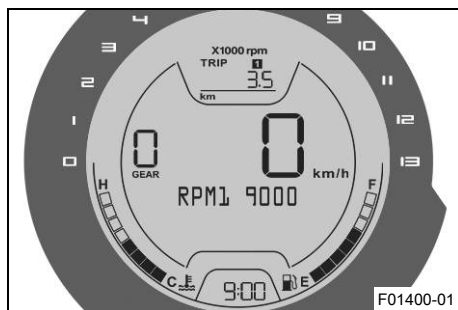
7.18 シフト回転数RPM1を設定する

条件

車両が停止している。

ODO > 1000 km (621 マイル)。

- **MODE**キーを何度か短く押して、ディスプレイに**TRIP 1**を表示させます。
- **MODE**キーを 5 秒間押し続けます。
- ✓ **RPM1**が表示されます。



参考

RPM1はメニューを問わず**MODE**キーを押し続けると**TRIP 1**に表示されます。

RPM1はシフトランプが作動・点滅を始める回転数を示します。

回転数は 50 単位で設定できます。

シフト回転数**RPM1**はシフト回転数**RPM2**以下で最大 50RPM までのみ設定することができます。

- 回転数を**MODE**キーおよび**SET**キーで設定します。



参考

MODEキーは値を増やします。

SETキーは値を減らします。

- **MODE**キーと**SET**キーを同時に押し続けます。

7 コンビネーションインストルメント

- ✓ RPM1が消え、設定されたシフト回転数RPM1が認識され保存されます。

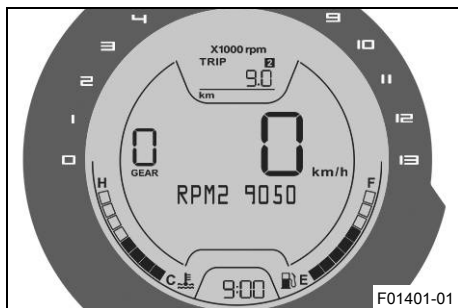
7.19 シフト回転数RPM2を設定する

条件

車両が停止している。

ODO > 1000 km (621 マイル)。

- MODEキーを何度か短く押して、ディスプレイにTRIP 2を表示させます。
- MODEキーを 5 秒間押し続けます。
- ✓ RPM2が表示されます。



参考

RPM2はメニューを問わずMODEキーを押し続けるとTRIP 2に表示されます。

RPM2はシフトランプが点灯する回転数を示します。回転数は 50 単位で設定できます。

シフト回転数RPM2はシフト回転数RPM1以上で最小 50RPM から設定することができます。

- 回転数をMODEキーおよびSETキーで設定します。



参考

MODEキーは値を増やします。

SETキーは値を減らします。

- MODEキーとSETキーを同時に押し続けます。
 - ✓ RPM2が消え、設定されたシフト回転数RPM2が認識され保存されます。



8 運転操作の前に

8.1 初めて運転操作を行う際の注意



危険

事故の危険性 運転能力および判断力が十分でない運転者は、自身および他の方への危険となります。

- アルコール、薬物、薬品などにより運転能力が低下している場合、車両の運転をしないでください。
- 肉体的、精神的に運転能力が低下している場合も、車両の運転をしないでください。



警告

怪我の危険性 不足および欠陥のある保護服の着用は安全面での危険性を高めます。

- 走行時は必ずヘルメット、ブーツ、手袋、プロテクターが取り付けられたズボンやジャケットなどの保護服を着用してください。
- 損傷等がなく、かつ法規制に従った保護服を常に着用して下さい。



警告

転倒の危険性 前輪と後輪のトレッドが異なると走行性能に影響を及ぼします。

異なるトレッドのタイヤを使用すると車両のコントロールが大幅に難しくなります。

- 前輪と後輪に同様のトレッドのタイヤが装着されていることを確認してください。



警告

事故の危険性 承認または推奨されていないタイヤならびに車輪を装着した場合、走行性能が損なわれます。

- Husqvarna モーターサイクルにより承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。



警告

事故の危険性 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。
新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。

- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。

慣らし走行期間

200 km



参考

車両運転の際は、過度の騒音で周辺の人々の迷惑にならないよう心がけましょう。

- Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーで納車前検査がきちんと行われた事を確認して下さい。
✓ 納車の際、納車証明書がお客様に手渡されます。
- 初走行の前にオーナーズマニュアルをしっかりと読んで下さい。
- 操作各部の扱いに慣れてください。
- 難しい走行に出る前に、まず適切な路面で走行性能に慣れるようにして下さい。一度、できるだけゆっくり走る練習で、車両の感覚をつかむようにして下さい。
- 走行中は両手でしっかりとハンドルバーを握り、フットレストに両足を載せて下さい。
- 自分の能力や経験の範囲を超えた走行は行わないで下さい。
- 慣らし運転をします。(📖 頁 76)



8 運転操作の前に

8.2 慣らし運転をする

- 慣らし運転の段階では、以下に挙げたエンジン回転数を超えないようにして下さい。

規定

エンジンの最高回転数	
走行開始から最初の: 1,000 km	7,500 rpm



参考

慣らし運転の段階では、シフトランプは規定の値に設定されており変更することはできません。

- フルスロットルでの運転は避けて下さい！

8.3 車両に荷物を積む



警告

事故の危険性 総重量および軸重は走行性能に影響を与えます。

総重量は運転準備が整い満タンに給油した状態の車両、保護服とヘルメットを着用したライダーと同乗者、荷物の総重量です。

- 最大許容総重量と最大許容軸重を遵守して下さい。



警告

事故の危険性 ケースまたはタンクバッグを不適切に固定すると走行性能に影響を与えます。

- ケースやバッグはメーカーの規定に従った方法で固定してください。



警告

事故の危険性 キャリアシステムの過負荷は破損の原因となります。

- ケースを取り付ける場合はメーカー規定の最大積載量を確認してください。



警告

事故の危険性 荷物のずれは視認性に影響を及ぼします。

テールライトが覆われてしまうと、暗がりでは特に後続の車両に認識されにくくなります。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。



警告

事故の危険性 積載量が増加すると走行性能に影響を及ぼし制動距離が長くなります。

- 積載量に適した速度で走行して下さい。



警告

事故の危険性 荷物のずれは走行性能に影響を及ぼします。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。

-
- 荷物を載せる場合は、できるだけ車両中心付近にしっかり固定し、前輪と後輪にかかる重さを均等に配分してください。
 - 許容最大総重量および許容最大軸重を守って下さい。
-

8 運転操作の前に

規定

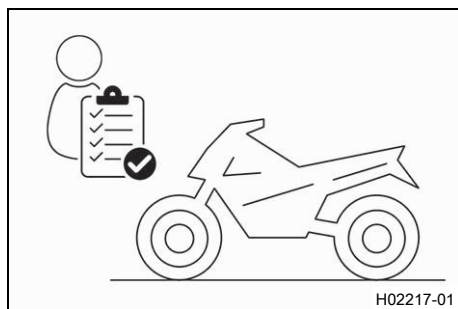
最大許容総重量	355 kg
前方許容最大軸重	135 kg
最大許容軸重 (後輪)	230 kg



9.1 運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業

i 参考

走行前には必ず車両の状態を点検し、道路交通で安全に使用できる事を確認して下さい。
運転の際は車両が技術的に完璧な状態でなければなりません。



- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 217)
- 前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 148)
- 後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 153)
- 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 152)
- 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 158)
- ブレーキシステムの機能を点検します。
- クーラントのレベルを点検します。(📖 頁 202)
- チェーンの汚れを点検します。(📖 頁 135)
- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 137)
- タイヤの状態を点検します。(📖 頁 172)
- タイヤ空気圧を点検します。(📖 頁 175)
- 操作各部が正しく調節されているか、スムーズに操作できるかを点検します。
- 電装系部品の機能を点検します。
- 荷物が正しく固定されているかを点検します。
- 車両に乗り、バックミラーの位置を確認します。

9 運転上の注意事項

- 燃料の残量を確認します。

9.2 エンジン始動



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。



注意

事故の危険性 12V バッテリーがあがった状態、または 12V バッテリー無しでは電子部品および安全関連装置を破損してしまいます。

12V バッテリーがあがっていたり、故障している場合、特にエンジン始動時に車両の電気系統の不具合が発生する可能性があります。

- 12V バッテリーがあがった状態、もしくは 12V バッテリー無しで車両を運転する事は絶対に避けて下さい。

情報

エンジン損傷 フィルターを通さずに吸い込んだ空気は、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。

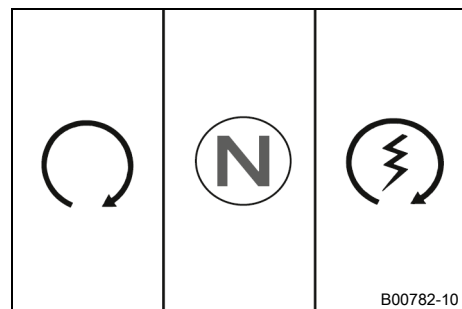
エアフィルターがないと埃や汚れがエンジンに侵入します。

- 車両はエアフィルターがある状態でのみ使用して下さい。

情報

エンジン損傷 冷えた状態でエンジンを高回転させるのは、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。

- 常に低回転数でエンジンを暖機してください。



- ハンドル操作のロックを解除します。(📖 頁 34)
- 車両に乗ってサイドスタンドに重量をかけないようにし、サイドスタンドを足で押し上げて完全に閉じます。
- エマージェンシーOFFスイッチを押して○の位置に入れます。
- イグニッションキーをの位置○に回してイグニッションをオンにします。
 - ✓ イグニッションをオンにすると、約2秒間、燃料ポンプの作動音が聞こえます。同時にコンビネーションインスツルメントの機能チェックが実行されます。
- ギアをニュートラルに入れます。
 - ✓ 緑のニュートラルインジケータランプNが点灯します。
 - ✓ ABS警告ランプが点灯し、発進するとまた消えます。
- スタートキー③を押します。

9 運転上の注意事項



参考

コンビネーションインスツルメントの機能チェックが終了するまで、スタートキーを押さないで下さい。
始動の際、スロットルは開かないで下さい。
5 秒以上連続してエンジンをかけようとししないで下さい。再度試みるまで最低 5 秒は間隔をおいて下さい。
本モデルには安全スタートシステムが装備されています。ギアがニュートラルに入っているか、またはニュートラル以外のポジションでクラッチレバーが握られている場合にのみ、エンジンの始動が可能です。
サイドスタンドが開いた状態でギアを入れ、クラッチレバーを離すとエンジンが停止します。

9.3 発進

- クラッチレバーを握り、ギアを 1 速に入れ、クラッチレバーをゆっくりと離しながら慎重にスロットルを開いていきます。



ヒント

発進の際にエンストしてしまった場合は、クラッチレバーを握ってスタータスイッチを作動するだけで大丈夫です。ギアをニュートラルに入れる必要はありません。

9.4 シフト操作と走行



警告

事故の危険性 左右の負荷バランスが突然変わると、車両は制御不可能な状態に陥ることがあります。

- 突然負荷バランスを変更したり強くブレーキを作動することは避けてください。
- 道路状態の変化に合わせた速度で走行して下さい。



警告

事故の危険性 エンジンが高回転中にシフトダウンすると後輪がロックされ、エンジンが過回転します。

- エンジン回転数が高いままシフトダウンする事は避けて下さい。



警告

事故の危険性 イグニッションキーが誤った位置にある場合、不具合の原因となります。

- 走行中にイグニッションキーの位置を変えないで下さい。



警告

事故の危険性 走行中に車両での設定作業を行うと交通状況に集中することができません。

- 全ての設定作業は車両静止状態で行ってください。

9 運転上の注意事項



警告

人体への危険 同乗者が誤った行動をとった場合、車両から落下する危険があります。

- 同乗者がリアシートに正しく乗り、足を同乗者用のフットレストに置いて、ライダーあるいはサイドグリップにしっかりつかまっていることを確認してください。
- 同乗者の最低年齢に関する国内の規則を守ってください。



警告

事故の危険性 危険な走行は大きな危険の原因となります。

- 交通規則を守り、危険をできるだけ早く認識できるよう、安全かつ予見的な運転を心がけて下さい。



警告

事故の危険性 タイヤが冷えた状態である場合グリップ力が低下します。

- タイヤが作動温度に達するまで、最初の数キロメートルは常に慎重に速度を抑えて走行して下さい。



警告

事故の危険性 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。

新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。

- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。

慣らし走行期間

200 km



警告

事故の危険性 総重量および軸重は走行性能に影響を与えます。

総重量は運転準備が整い満タンに給油した状態の車両、保護服とヘルメットを着用したライダーと同乗者、荷物の総重量です。

- 最大許容総重量と最大許容軸重を遵守して下さい。



警告

事故の危険性 荷物のずれは走行性能に影響を及ぼします。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。



警告

事故の危険性 転倒した場合、車両には一瞥で確認できる以上に大きな破損がある場合があります。

- 転倒後は初運転操作の前に実施するものと同様の点検を行って下さい。

情報

エンジン損傷 フィルターを通さずに吸い込んだ空気は、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。

エアフィルターがないと埃や汚れがエンジンに侵入します。

- 車両はエアフィルターがある状態でのみ使用して下さい。

9 運転上の注意事項

情報

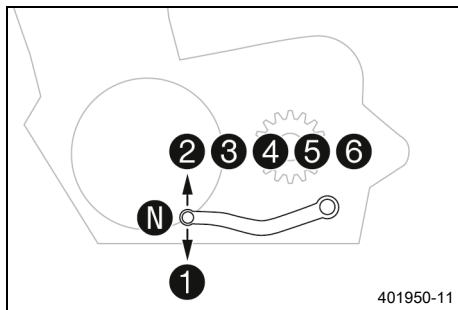
エンジン損傷 過熱でエンジンが損傷します。

- クーラント温度の警告表示が点灯したら、すぐに他の交通の妨げにならないように停車して下さい。
- エンジンと冷却システムの温度が下がるまでお待ち下さい。
- 冷却システムの温度が下がった時に、クーラントのレベルを調節ならびに調整して下さい。



参考

運転中に異常な音がする場合には交通規制に従った方法で速やかに停止し、エンジンを切り、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。



- 状況 (勾配や走行状況など)に応じてシフトアップできます。
- スロットルを閉じ、同時にクラッチレバーを握り、次のギアに入れ、クラッチレバーを離してスロットルを開きます。



参考

6つの前進ギアのポジションは図の通りです。ニュートラルは1速と2速の間にあります。1速は発進または登り坂で使用するギアです。

- シフトダウンするには、必要に応じてブレーキをかけながらスロットルを閉じます。
- クラッチレバーを握り、低いギアに入れ、クラッチレバーをゆっくりと離しながらスロットルを開くか、再度ギアチェンジします。

- しばらくアイドリングや停止状態が続く場合は、エンジンを停止します。
- スロットルグリップを全開にして最高速度に達したら、スロットルを $\frac{3}{4}$ まで戻します。ほとんど減速する事なく燃費を大幅に抑える事ができます。
- 常に車道や天候状態に合わせてスロットルを開くようにして下さい。特にカーブではシフトチェンジをせず、細心の注意を払ってスロットルを開くようにして下さい。
- 例えば交差点でエンストしてしまった場合は、クラッチレバーを握り、スタートキーを作動するだけで大丈夫です。ギアをニュートラルに入れる必要はありません。
- 運転中に不具合インジケータランプ  が点灯し始めたら、交通規制に従った方法で速やかに停車しエンジンを切り、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。
- 走行中に一般警告シンボルがディスプレイで点滅を始めた場合、複数の警告が検出されています。



参考

発生した警告事項はそれが解除されるまでInfoに表示され、保存されます。



9 運転上の注意事項

9.5 ブレーキをかける



警告

事故の危険性 水分や汚れはブレーキシステムに影響を及ぼします。

- ブレーキパッドとブレーキディスクを乾燥させ汚れを落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。



警告

事故の危険性 前輪または後輪ブレーキで圧点が安定していない場合、ブレーキ性能が低下します。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

事故の危険性 ブレーキシステムは過熱状態では稼働しません。

ブレーキペダルに足をかけたままにすると、ブレーキパッドが常にこすられる状態になります。

- ブレーキを作動しないときはブレーキペダルに足をかけないで下さい。



警告

事故の危険性 総重量が高くなると制動距離が長くなります。

- 同乗者や荷物を乗せている場合は、制動距離が長くなる事にご注意下さい。



警告

事故の危険性 路上の撒き塩はブレーキシステムに影響を与えます。

- ブレーキパッドとブレーキディスクから撒き塩を落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。



警告

事故の危険性 ABS は特定の状況によって制動距離を伸ばすことがあります。

- 走行状態や路面状況に応じて適切にブレーキをかけてください。



警告

事故の危険性 ブレーキを強くかけすぎると車輪がロックします。

ABS はスイッチが入れられてはじめてその効果を発揮することができます。

- この安全機能を利用するために、ABS はオンの状態を維持してください。

- ブレーキをかけるにはスロットルを閉じ、前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に作動します。



参考

ABSにより、フルブレーキングではもちろん、砂地、雨で濡れた地面やスリップしやすい場所でグリップ力が低下している場合にも、車輪のロックを心配する事なく制動力をフルに活用できます。

9 運転上の注意事項



警告

事故の危険性 後輪はエンジンブレーキでロックされることがあります。

- 緊急ブレーキやフルブレーキをかける場合、または地面が滑りやすい場所でブレーキをかける場合はクラッチを引いてください。



警告

事故の危険性 斜面や横方向に地面が傾斜している場合、可能な減速力を最大限に発揮することはできません。

- 可能な場合、カーブ開始前にブレーキングを終了してください。

- ブレーキをかけるプロセスは必ずカーブが始まる前までに終了させます。その際、速度に合わせてシフトダウンして下さい。
- 長い下り坂ではエンジンブレーキを利用して下さい。エンジンブレーキを利用するには、エンジンが過回転しないよう注意しながら 1 段か 2 段シフトダウンします。これによりブレーキをかける回数をはるかに減り、ブレーキシステムが過熱するのを防ぐ事ができます。



9.6 停止と駐車



警告

人体への危険 常識のない行動をとる人物は自身および他の方への危険となります。

- エンジン稼働中には決して車両から目を離さないでください。
- 権限のない人物が車両に近づかないよう注意してください。
- 車両を放置する場合はハンドルをロックし、イグニッションキーを抜いてください。



警告

火傷の危険性 一部の部品は運転中非常に熱くなります。

- 車両部品が冷めるまで排気装置、ラジエーター、エンジン、ダンパー、ブレーキシステムなどの部品には触らないでください。
- 車両部品を十分に冷ましてから作業を実行してください。

情報

部品の損傷 誤った方法で駐車を行った場合、車両が破損する恐れがあります。

車両が動いたり倒れたりした場合、大きな破損につながる恐れがあります。

車両を立てる部品はその車両重量のみを考慮して設計されています。

- 車両は安定した平らな地面の上に立ってます。
- 車両がスタンド一本で駐車されている場合、車両に誰も乗っていないことを確かめて下さい。

9 運転上の注意事項

情報

火事の危険 高温になった車両部品は火傷や爆発の危険となります。

- 可燃性がある、または爆発の危険がある物付近に車両を設置しないでください。
- 車両を十分に冷ましてから、車両にカバーをかけてください。

-
- 車両にブレーキをかけます。
 - ギアをニュートラルに入れます。
 - イグニッションキーをの位置  に回してイグニッションをオフにします。



参考

エンジンをエマージェンシーOFFスイッチで停止し、イグニッションがまだ作動している状態では、電装系部品の大部分にまだ電気が供給されており、これにより 12V バッテリーが消費されます。エンジンは必ずイグニッションで停止し、エマージェンシーOFFスイッチは非常の場合にのみ使用するようにして下さい。

-
- 車両を安定した地面の上に駐車します。
 - 足でサイドスタンドを前に押して完全に開き、車両の重量をかけます。
 - ハンドル操作をロックします。( 頁 33)

9.7 輸送

情報

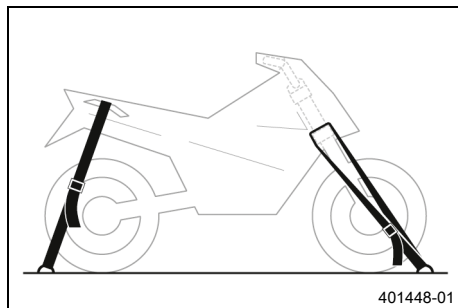
損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立ってます。

情報

火事の危険 高温になった車両部品は火傷や爆発の危険となります。

- 可燃性がある、または爆発の危険がある物付近に車両を設置しないでください。
- 車両を十分に冷ましてから、車両にカバーをかけてください。



- エンジンを停止し、イグニッションキーを抜きます。
- ラッシングベルトが適切な固定器具で、車両が倒れたり動いたりしないよう固定します。

9 運転上の注意事項

9.8 燃料を給油する



危険

火事の危険 燃料は可燃性です。

フューエルタンク内の燃料は熱により膨張し、溢れ出てしまうことがあります。

- 炎や火のついたタバコの近くで車両に給油しないでください。
- 給油の際にはエンジンを停止してください。
- 特に車両部品に燃料がこぼれることがないように注意してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 給油の際には燃料給油に関する注意事項を参照してください。



警告

中毒の危険性 燃料は毒性で、健康に害を及ぼします。

- 燃料が皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- 燃料を飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 気化した燃料を吸い込まないでください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- 燃料が目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

情報

部品の損傷 低品質の燃料を使用すると燃料フィルターが早期に詰まってしまいます。

国や地域によっては入手可能な燃料の品質が不十分であったり、また多くの不純物が混入していることがあります。その結果燃料システムで問題を引き起こす事があります。

- 指定された規格に適合し不純物の少ない燃料のみを使用してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

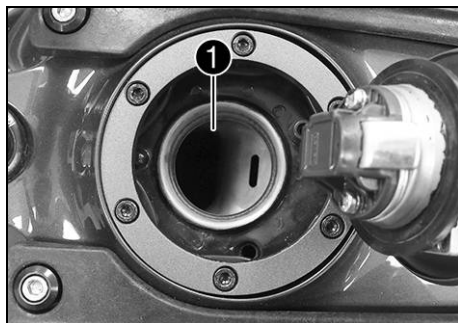


情報

環境汚染 燃料の不適切な取り扱いは、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。

9 運転上の注意事項



- エンジンを停止します。
- フィラーキャップを開けます。(📖 頁 34)
- 注入口の下端❶を超えないように注意しながらフューエルタンクに燃料を注ぎます。

フューエルタンク総容量 (約)	9.5 L	無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95) (📖 頁 257)
-----------------	-------	----------------------------------

- フィラーキャップを閉めます。(📖 頁 36)



F02704-10

10.1 補足情報

必須項目や推奨項目の作業実施により発生した、これら項目以外の作業については、別途注文・請求となります。
 現地における使用環境によってはサービス頻度が異なってくる場合もあります。
 技術改良が行われていく中で、個々のサービス頻度および範囲が変わってることがあります。最終的なサービスプランは Husqvarna Motorcycles Dealer.net に表示されています。お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

10.2 必須作業

	24	カ	月	毎
	12	カ	月	毎
走行ごと 15,000 km				
走行ごと 7,500 km				
走行後 1,000 km				
Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧	○	●	●	●
電装系部品の機能を点検します。🔧	○	●	●	●
エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。🔧 (📖 頁 218)	○	●	●	●
ブレーキディスクを点検します。(📖 頁 147)	○	●	●	●
前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 152)	○	●	●	●
後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 158)	○	●	●	●
ブレーキホースに損傷や漏れがないかを点検します。🔧	○	●	●	●

10 サービスプラン

	24	カ	月	毎
	12	カ	月	毎
走行ごと 15,000 km				
走行ごと 7,500 km				
走行後 1,000 km				
前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 148)	○	●	●	●
後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 153)	○	●	●	●
タイヤの状態を点検します。(📖 頁 172)	○	●	●	●
タイヤ空気圧を点検します。(📖 頁 175)	○	●	●	●
スポークを締め直します。🔧	○			
スポークの張りを点検します。(📖 頁 176)		●	●	●
リムの歪みを点検します。🔧	○	●	●	●
ショックアブソーバーとフロントフォークに漏れがないか点検します。🔧	○	●	●	●
フォークレグのダストシールを清掃します。(📖 頁 114)		●	●	
チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケットを点検します。(📖 頁 140)		●	●	●
チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 137)	○	●	●	●
クーラントのレベルを点検します。(📖 頁 202)	○	●	●	●
冷却ファンの機能を点検します。🔧	○	●	●	●
エアフィルターを交換し、エアフィルターケースを清掃します。🔧		●	●	
ワイヤーが損傷していないか、折れがなく配線・調節されているかを点検します。🔧	○	●	●	●
ケーブルに損傷がないか、折れがない配線になっているかを点検します。🔧	○	●	●	●

	24	カ	月	毎
	12	カ	月	毎
走行ごと 15,000 km				
走行ごと 7,500 km				
走行後 1,000 km				
バルブの遊びを点検し、スパークプラグを交換します。🔧			●	
前輪ブレーキのブレーキフルードを交換します。🔧				●
後輪ブレーキのブレーキフルードを交換します。🔧				●
ステアリングヘッドベアリングの遊びを点検します。🔧	○	●	●	●
ヘッドライトの設定を点検します。(📖 頁 194)	○	●	●	
最終確認: 車両が道路交通で安全に使用できる状態である事を確認し、試験走行を行います。🔧	○	●	●	●
試験走行後に Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧	○	●	●	●
サービス時期の表示を設定します。🔧	○	●	●	●
Husqvarna Motorcycles Dealer.netでサービス登録を行います。🔧	○	●	●	●

- 一度限りの実施時期
- 定期的な実施時期

10.3 推奨作業

	48	カ	月	毎
	12	カ	月	毎
走行ごと	30,000 km			
走行ごと	7,500 km			
走行後	1,000 km			
フレームを点検します。🔧			●	
スイングアームを点検します。🔧			●	
スイングアームのベアリングのガタを点検します。🔧		●	●	
ホイールベアリングのガタを点検します。🔧		●	●	
不凍液を点検します。🔧	○	●	●	●
クーラントを交換します。🔧 (📖 頁 209)				●
排水ホースを空にします。🔧	○	●	●	●
ホース類 (燃料、クーラント、エア抜き、排水などの各ホース)とワイヤーブーツの全てで、ひびや漏れがないか、正しく取り回されているかを点検します。🔧	○	●	●	●
全ての可動部品 (サイドスタンド、ハンドレバー、チェーンなど)をグリースアップし、これら部品がスムーズに動くかを点検します。🔧	○	●	●	●
簡単に確認することができ、安全上重要なスクリューとナットがきちんと締められているかを点検します。🔧	○	●	●	●

- 一度限りの実施時期
- 定期的な実施時期

11.1 ショックアブソーバーのスプリングプリロードを調節する



警告

事故の危険性 シャーシ設定を変更すると、走行挙動に大きく影響します。

- 調整後は、まずゆっくりと走行し、走行挙動を確認してください。



参考

スプリングプリロードはショックアブソーバーが伸び縮みする際の基本状態を決定します。スプリングプリロードを最適に調節する事により、運転者の体重 (場合によってさらに荷物と同乗者) に合わせて操作性と安定性のバランスを取る事ができます。



F02667-10

- 車載工具に入っているフックレンチと延長部を使って調節リング①を回し、スプリングプリロードを調節します。

規定

スプリングプリロード	
標準	2 クリック

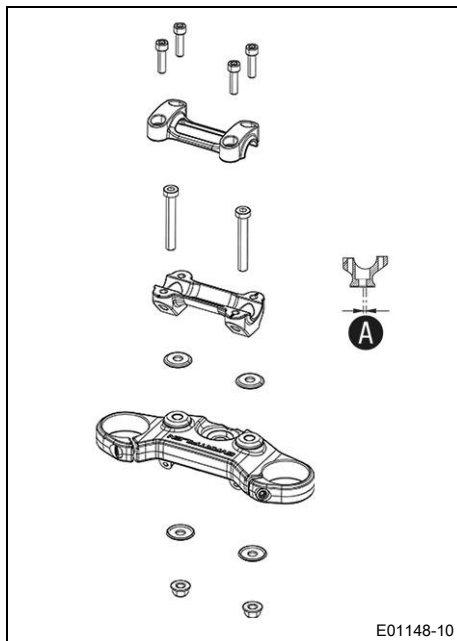


参考

スプリングプリロードは 10 の異なったポジションに調節する事ができます。

11 シャーシを調整する

11.2 ハンドルバーの位置



ハンドルアダプターの穴は中心から **A** の距離に配置されています。

穴間の距離 A	5 mm
----------------	------

ハンドルバーは2つの異なるポジショニングで取り付けられます。これにより、運転者に最適なポジショニングを選ぶことができます。

11.3 ハンドルバーの位置を調節する ㇿ



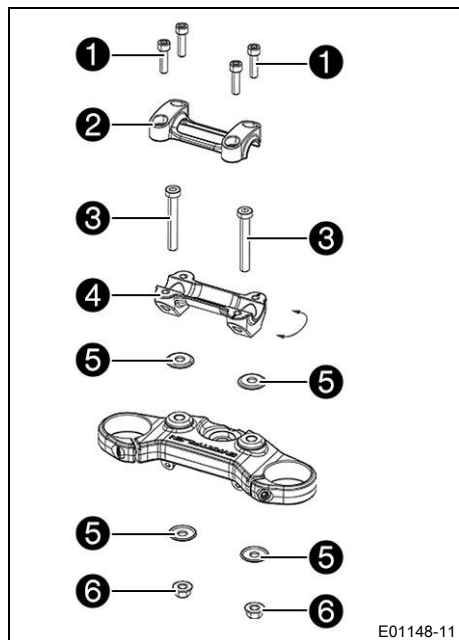
警告

事故の危険性 修正されたハンドルバーは安全面での危険を提示するものです。

ハンドルバーが曲げられたり、伸ばされたりすると素材が老化します。その結果ハンドルバーが折れてしまうこともあります。

- ハンドルバーが破損または曲がってしまった場合、ハンドルバーを交換してください。

11 シャーシを調整する



- スクリュー①を外します。
- ハンドルバーのクランプ②を取り外します。ハンドルバーを外し、脇に置き固定します。

参考

部品を損傷させないよう、カバーをかけて保護します。ケーブル、ホース、ワイヤー類は折り曲げないで下さい。

- スクリュー③をナット⑥と共に外します。ハンドルアダプター④を取り外します。
- ワッシャー⑤を配置します。
- ハンドルアダプター④の位置を好みに応じて変更します。

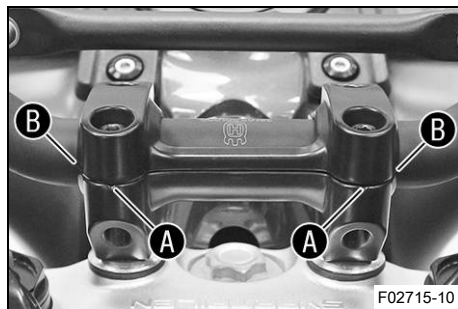
参考

ハンドルアダプターは片側が長く、高くなっています。こちら側はAでマーキングされています。

- スクリュー③とナット⑥を一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

ハンドルアダプター 用スクリュー	M10	21 Nm
---------------------	-----	-------



- ハンドルバーの位置を調整します。



参考

ケーブル、ホース、ワイヤー類が正しく取り回されているか注意して下さい。

- ハンドルクランプ②の位置を調整します。
- スクリュー①を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

ハンドルバー クランプ用ス クリュー	M8	20 Nm Loctite®243™
--------------------------	----	---------------------------

- ✓ ハンドルバーのマーキング **B** は、ハンドルアダプターとハンドルバークランプの中心にあります。
- ハンドルクランプをハンドルアダプター④の長く高くなっている側からブロックにスクリュー①で固定します。



参考

ハンドルアダプター④の長く高くなっている側は **A** でマーキングされています。

- スクリュー①を均等にしっかりと締めます。

11 シャーシを調整する

規定

ハンドルパーク ランプ用スク リュー	M8	20 Nm Loctite®243™
--------------------------	----	------------------------------



12.1 車両をリアスタンドで持ち上げる

情報

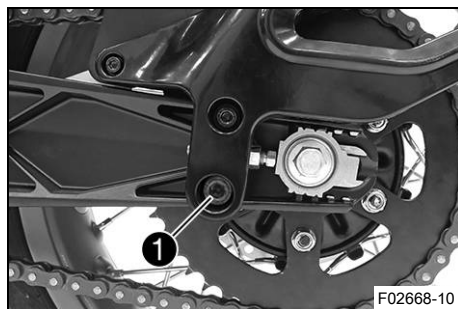
損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。

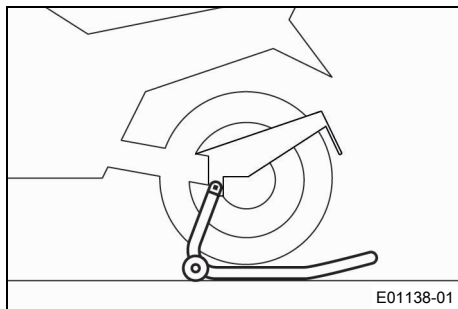
条件

後輪が取り付けられたままの状態。

- スクリュー①を外します。



12 サービス作業シャーシ



- スタンド用のサポートを取り付けます。

規定

左側スクリュー : M10x70

- アダプターをリアスタンドに差し込みます。

固定アダプター (61029955244)

後輪のメンテナンススタンド (6932995500033)

- 車両を垂直に立て、スタンドをスイングアームとアダプターに合わせて車両を持ち上げます。

条件

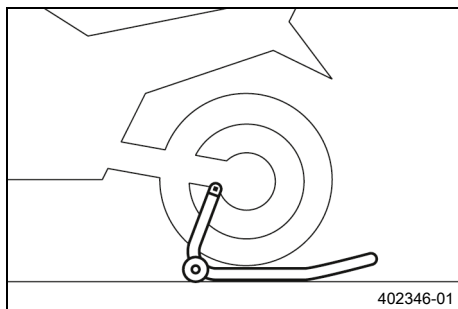
後輪が取り外された状態。

- ナンバープレートブラケットを取り外します。(📖 頁 124)
- スタンド用のサポートを取り付けます。
- アダプターをリアスタンドに差し込みます。

固定アダプター (61029955244)

後輪のメンテナンススタンド (6932995500033)

- 車両を垂直に立て、スタンドをスイングアームとアダプターに合わせて車両を持ち上げます。

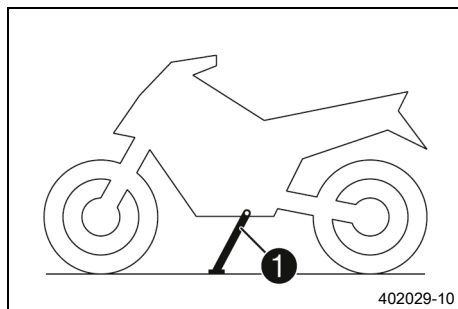


12.2 リアスタンドから車両を降ろす

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



条件

後輪が取り付けられたままです。

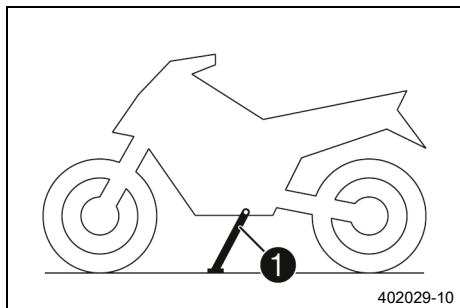
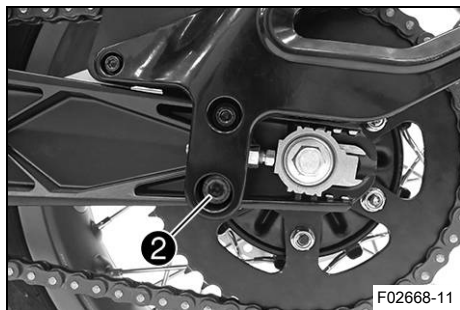
- 車両が倒れないように支えます。
- リアスタンドを外し、車両をサイドスタンド①で立てます。
- ブッシングキットを外します。



参考

ブッシングがメインサイレンサーにぶつかることがありますので、ブッシングを取り付けた状態で走行しないで下さい。

12 サービス作業シャーシ



- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

ナンバープレートホルダー用スクリュー	M10x30	30 Nm Loctite®243™
--------------------	--------	-----------------------

条件

後輪が取り外されています。

- 車両が倒れないように支えます。
- リアスタンドを外し、車両をサイドスタンド①で立てます。
- ブッシングキットを外します。



参考

ブッシングがメインサイレンサーにぶつかることがありますので、ブッシングを取り付けた状態で走行しないで下さい。

- ナンバープレートブラケットを取り付けます。(📖 頁 127)

12.3 フロントスタンドで車両を持ち上げる

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

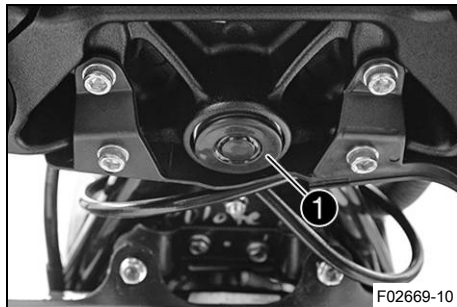
- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。

準備作業

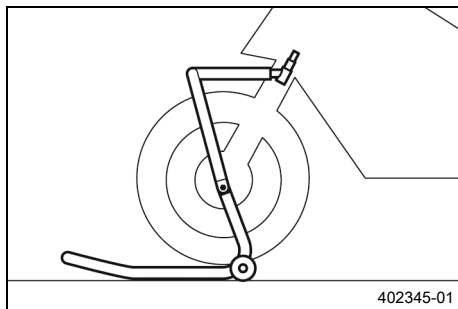
- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)

主な作業

- 保護キャップ①を外します。



12 サービス作業シャーシ



- ハンドルバーを直進の状態にします。スタンドの位置を調整します。

ロケーションボルト (69329965030)

前輪のメンテナンススタンド大 (6932996510033)



参考

車両は必ず後方から先に持ち上げて下さい。

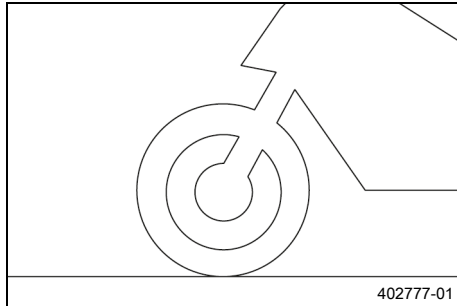
- 車両を持ち上げます。

12.4 フロントスタンドから車両を降ろす

情報

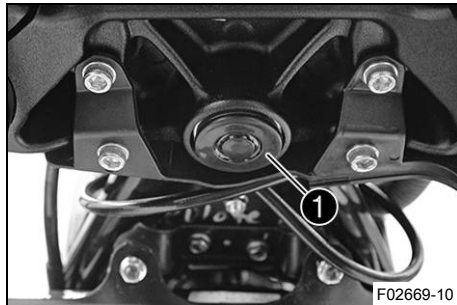
損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



主な作業

- 車両が倒れないように支えます。
- フロントスタンドを取り外します。



- 保護キャップ①を取り付けます。

その後の作業

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)



12 サービス作業シャーシ

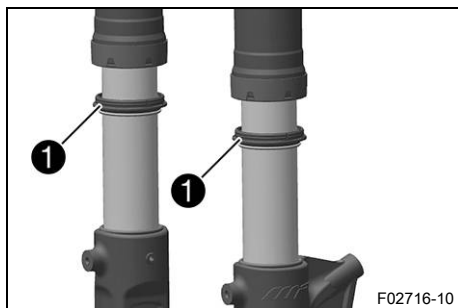
12.5 フォークレッグのダストシールを清掃する

準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)
- フロントスタンドで車両を持ち上げます。(📖 頁 111)

主な作業

- 両側のフォークレッグで、ダストシール①を下にずらします。



参考

ダストシールはフォークインナーパイプのほこりや汚れをこすり落とします。時間が経つにつれ、汚れがダストシールの裏に入り込むことがあります。この汚れを取り除かないと、その後ろにあるオイルシールリングに漏れが生じる恐れがあります。



警告

事故の危険性 オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。

- 両側のフォークレッグのダストシールとインナーチューブを清掃し、オイルを差します。

汎用オイルスプレー (📖 頁 259)

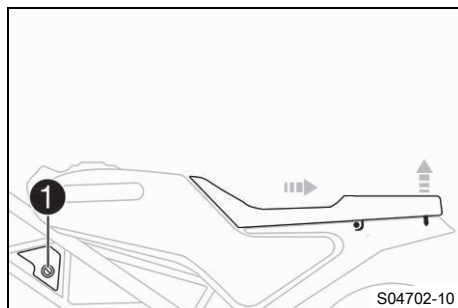
- ダストシールを取付け位置に押し戻します。
- 余分なオイルを取り除きます。

その後の作業

- フロントスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 112)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)



12.6 シートを取り外す

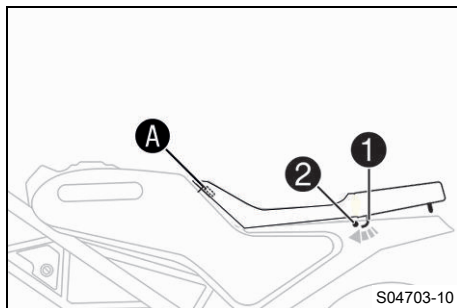


- イグニッションキーをシートロック①に差し込み、時計回りに回します。
- シートの後ろを持ち上げ、後部に向かって押し上げて上方向に取り外します。
- イグニッションキーをシートロックから抜きます。



12 サービス作業シャーシ

12.7 シートを取り付ける



- シートを **A** の部分に掛け後部を下ろします。
- シートのフック **1** をサブフレームにあるリアシートの取り付け部 **2** に掛け、後方を下げながら前に押します。
- シートがロックするまでシートを下に押します。



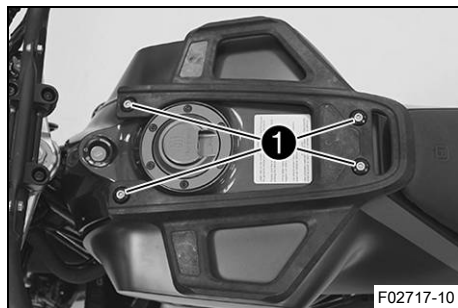
警告

事故の危険性 シートが正しく取り付けられていないと、固定部から飛び出す恐れがあります。

- シート取り付け作業後にはシートが正しくロックされており、上に引き上げることができない状態であることを確認してください。

- 最後にシートが正しく取り付けられているか点検します。

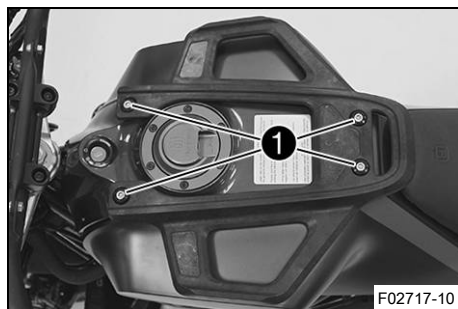
12.8 キャリアを取り外す



- スクリュー①をブッシングと一緒に外します。
- キャリアを外します。



12.9 キャリアを取り付ける



- キャリアの位置を調整します。
- スクリュー①をブッシングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

キャリア用スクリュー	M6x45	10 Nm
------------	-------	-------



12 サービス作業シャーシ

12.10 左のサイドカバーを取り外す

準備作業

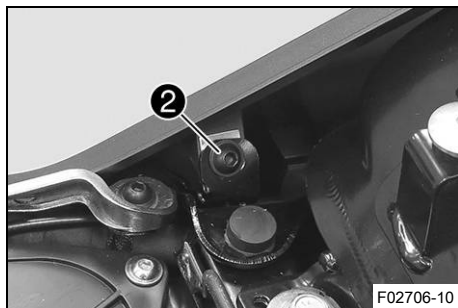
- キャリアを取り外します。(📖 頁 117)
- シートを取り外します。(📖 頁 115)

主な作業

- スクリュー①を外します。



- スクリュー②を外します。

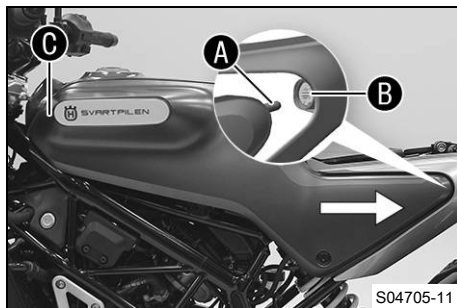




- ①Aの部分にある突起部を抜きます。
- サイドカバーを前に向かって取り出します。



12.11 左のサイドカバーを取り付ける



主な作業

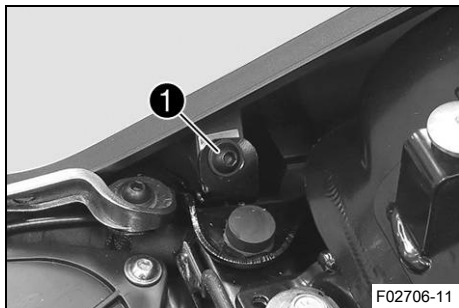
- サイドカバーの位置を調整します。

規定

突起部とゴムブッシングをグリースアップします。

- ✓ 突起部①Aがゴムブッシング①Bにはまっています。
- サイドカバーを①Cにはめます。

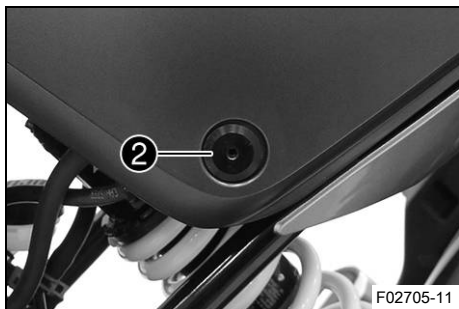
12 サービス作業シャーシ



- スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

フューエルタンクブラ リッジ用スクリュー	M6	5 Nm
-------------------------	----	------



- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

前方サイドカバー用 スクリュー	M6x15	3.8 Nm
--------------------	-------	--------

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 116)
- キャリアを取り付けます。(📖 頁 117)

12.12 右のサイドカバーを取り外す

準備作業

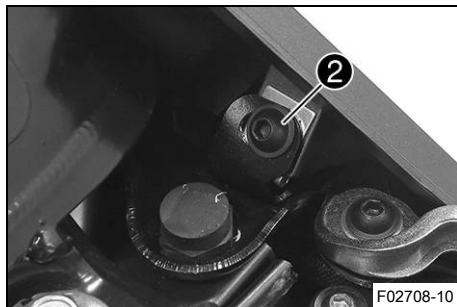
- キャリアを取り外します。(📖 頁 117)
- シートを取り外します。(📖 頁 115)

主な作業

- スクリュー①を外します。



- スクリュー②を外します。

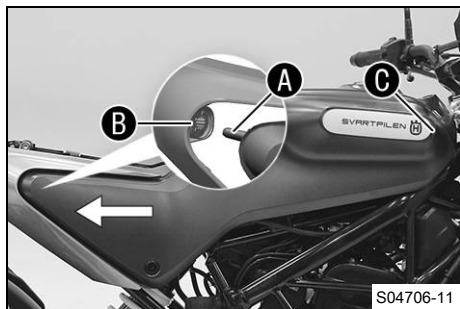


12 サービス作業シャーシ



- ①の部分にある突起部を抜きます。
- サイドカバーを前に向かって取り出します。

12.13 右のサイドカバーを取り付ける



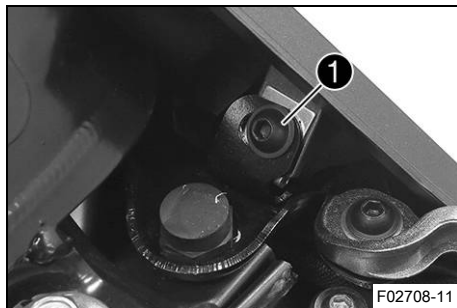
主な作業

- サイドカバーの位置を調整します。

規定

突起部とゴムブッシングをグリースアップします。

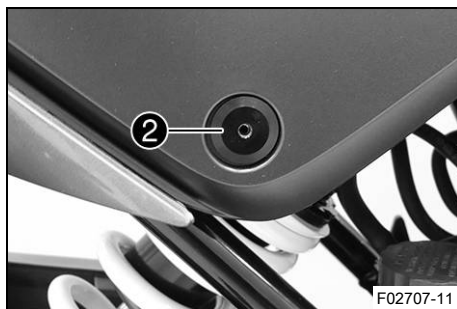
- ✓ 突起部①がゴムブッシング②にはまっています。
- サイドカバーを③にはめます。



- スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

フューエルタンクブリッジ用スクリュー	M6	5 Nm
--------------------	----	------



- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

前方サイドカバー用スクリュー	M6x15	3.8 Nm
----------------	-------	--------

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 116)
- キャリアを取り付けます。(📖 頁 117)



12 サービス作業シャーシ

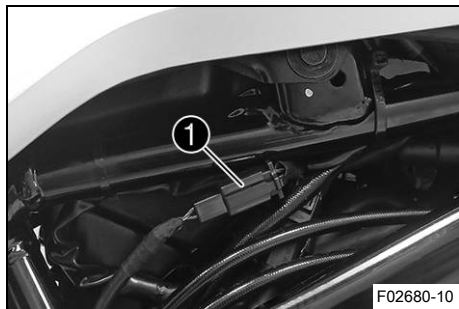
12.14 ナンバープレートブラケットを取り外す



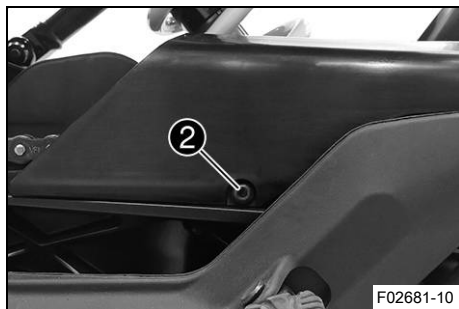
- ケーブルをホルダーから取り外します。



- ケーブル留めを外します。

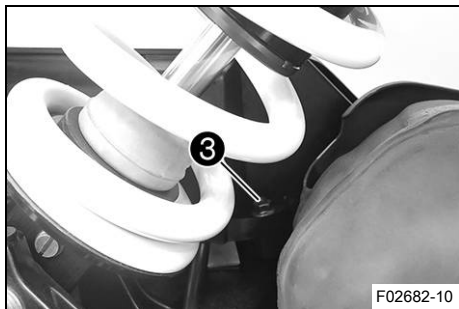


- コネクター①を外します。
- ケーブルを固定箇所から外します。

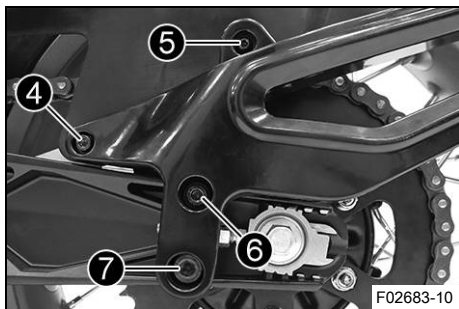


- スクリュー②を外します。

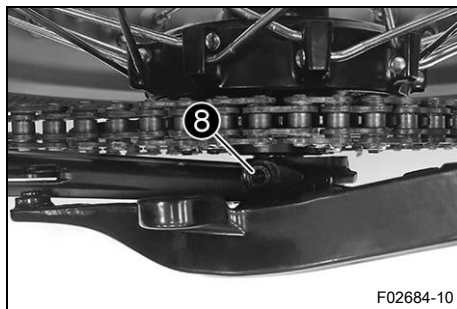
12 サービス作業シャーシ



- ナット③を外します。



- スクリュー④、⑤、⑥、⑦を外します。



F02684-10

- スクリュー⑧を外し、ナンバープレートブラケットをチェーンガードと一緒に取り外します。

規定

ケーブルに注意して下さい。

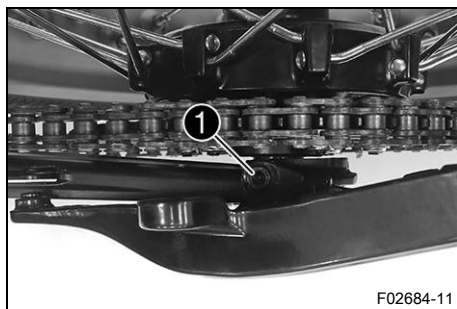


ヒント

チェーンガードを横方向に押し、スクリューに届きやすくします。



12.15 ナンバープレートブラケットの取り付け



F02684-11

- ナンバープレートブラケットをチェーンガードと共に配置します。

規定

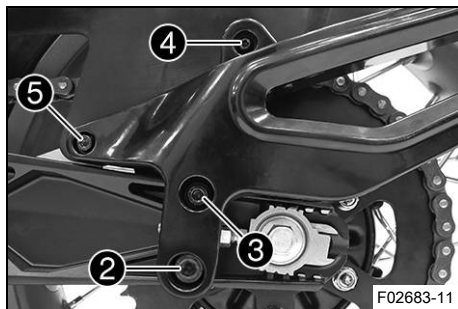
ケーブルに注意して下さい。

- スクリュー①を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

ナンバープレートホルダー用スクリュー	M8x18	19 Nm	Loctite®243™
--------------------	-------	-------	--------------

12 サービス作業シャーシ



- スクリュー②を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

ナンバープレートホルダー用スクリュー	M10x30	30 Nm Loctite®243™
--------------------	--------	-----------------------

- スクリュー③を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

ナンバープレートホルダー用スクリュー	M8x35	19 Nm Loctite®243™
--------------------	-------	-----------------------

- スクリュー④を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

ナンバープレートホルダー用スクリュー	M6x16	9 Nm
--------------------	-------	------

- スクリュー⑤を取り付け、締めないままにしておきます。

規定

ナンバープレートホルダー用スクリュー	M6x25	7 Nm Loctite®243™
--------------------	-------	----------------------

- スクリュー①をしっかりと締めます。

規定

ナンバープレートホルダー用スクリュー	M8x18	19 Nm Loctite®243™
--------------------	-------	-----------------------

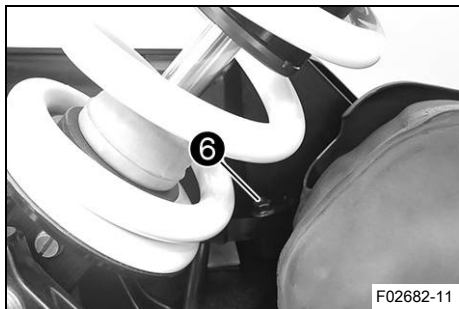
チェーンガードを横方向に押し、スクリューに届きやすくします。

- スクリュー②、③、④、⑤をしっかりと締めます。

規定

ナンバープレートホルダー用スクリュー	M10x30	30 Nm Loctite®243™
ナンバープレートホルダー用スクリュー	M8x35	19 Nm Loctite®243™
ナンバープレートホルダー用スクリュー	M6x16	9 Nm
ナンバープレートホルダー用スクリュー	M6x25	7 Nm Loctite®243™

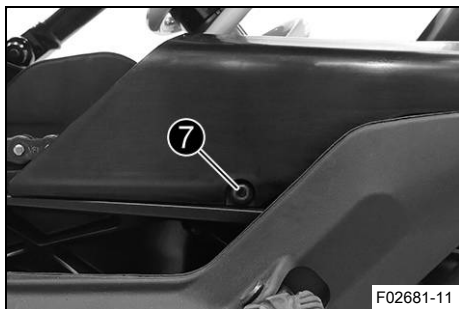
12 サービス作業シャーシ



- ナット**⑥**を取り付け、しっかりと締めます。

規定

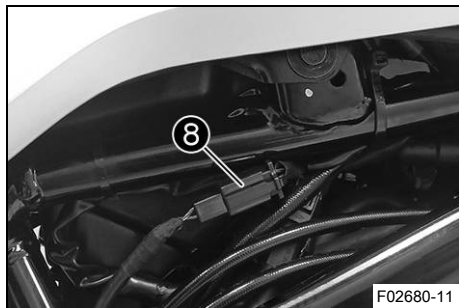
チェーンガード用 ナット	M5	7 Nm
-----------------	----	------



- スクリュー**⑦**を取り付け、しっかりと締めます。

規定

チェーンスライダー ガード用スクリュー	M6	9 Nm
------------------------	----	------



- ケーブルが引っ張られないようにケーブルを取り回します。
- コネクター⑧を接続します。



- ケーブル留めを取り付けます。

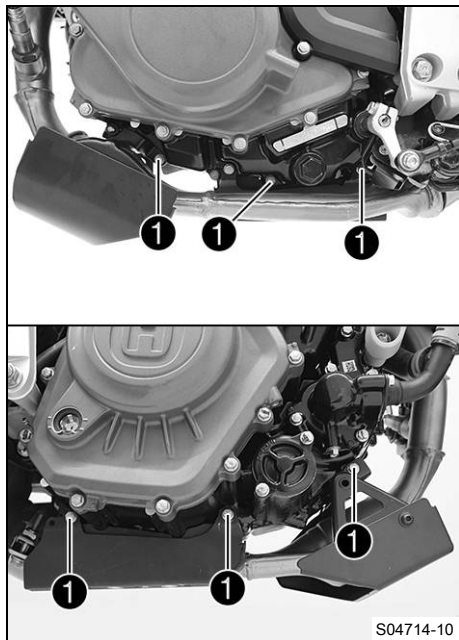
12 サービス作業シャーシ



- ケーブルをホルダーに固定します。



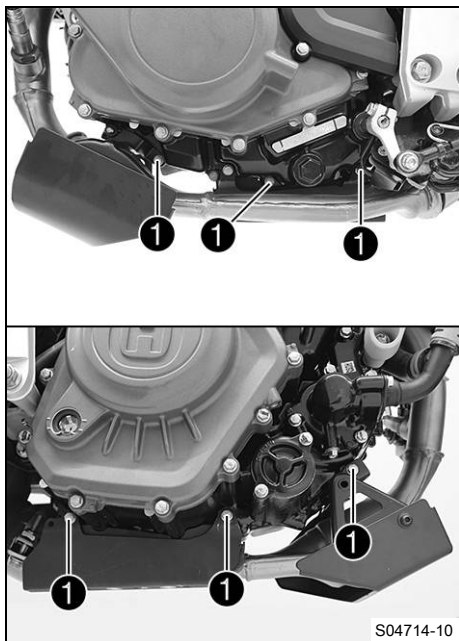
12.16 フロントスポイラーを取り外す



- スクリュー①を外します。
- フロントスポイラーを取り外します。

12 サービス作業シャーシ

12.17 フロントスポイラーを取り付ける

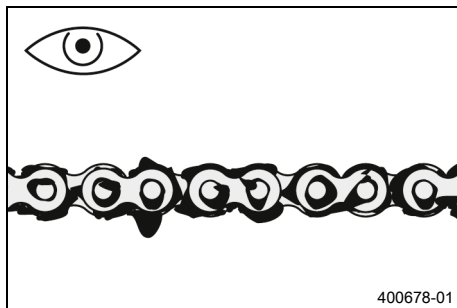


- フロントスポイラーの位置を調整し、スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

フロントスポイラー 用スクリュー	M6	7 Nm
---------------------	----	------

12.18 チェーンの汚れを点検する



- チェーンに大きな汚れが付着していないか点検します。
 - » チェーンがひどく汚れている:
 - チェーンを清掃します。(📖 頁 135)



12.19 チェーンを清掃する

**警告**

事故の危険性 潤滑剤がタイヤに付着すると、タイヤの粘着力が低下します。

- 潤滑剤を適切な洗浄剤を利用してタイヤから拭き取ってください。

**警告**

事故の危険性 オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。

12 サービス作業シャーシ



情報

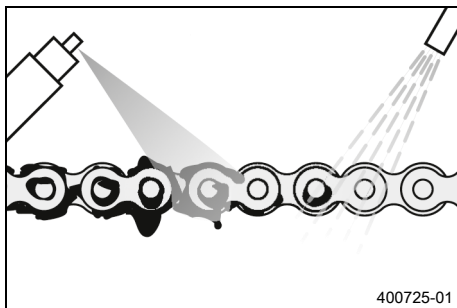
環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



参考

チェーンの寿命は手入れの仕方に大きく左右されます。



準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)

主な作業

- チェーンを定期的に清掃します。
- 大きな汚れは弱い水流で洗い落とします。
- 使用済みグリースの残りはチェーン洗浄剤で落とします。

チェーン洗浄剤 (📖 頁 258)

- 乾かした後、チェーンスプレーを吹き付けます。

チェーンスプレー・ Street (📖 頁 258)

その後の作業

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)

12.20 チェーンの遊びを点検する

**警告**

事故の危険性 不適切なチェーンの遊びは部品を破損し、事故の原因となります。

チェーンが貼りすぎているとチェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット、そしてギアベアリングおよび後輪ベアリングが早期磨耗してしまいます。部品の中には過負荷により切れたり壊れたりするものもあります。

チェーンが緩すぎるとチェーンがフロントスプロケットまたはリアスプロケットから外れてしまいます。その結果、後輪ロック、またはエンジン破損の原因となります。

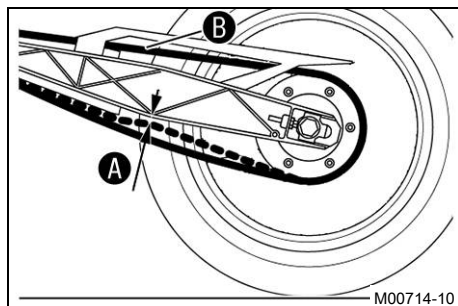
- チェーンの遊びを定期的に点検してください。
- チェーンの遊びを規定値に従って設定してください。

準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)

主な作業

- ギアをニュートラルに入れます。
- チェーンスライダーガードの後ろ辺りでチェーンをスイングアームの方向に押し上げ、チェーンの遊び **A** を確認します。





参考

その際、チェーン上部 **B** がピンと張っている事を確認して下さい。

チェーンは均等に擦り切れるとは限らないので、上記確認を何箇所か別の場所で繰り返し行って下さい。

チェーンの遊び	5 ... 7 mm
---------	------------

» チェーンの遊びが規定通りになっていない:

- チェーンの遊びを調節します。(📖 頁 138)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)

12.21 チェーンの遊びを調節する



警告

事故の危険性 不適切なチェーンの遊びは部品を破損し、事故の原因となります。

チェーンが貼りすぎているとチェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット、そしてギアベアリングおよび後輪ベアリングが早期磨耗してしまいます。部品の中には過負荷により切れたり壊れたりするものもあります。

チェーンが緩すぎるとチェーンがフロントスプロケットまたはリアスプロケットから外れてしまいます。その結果、後輪ロック、またはエンジン破損の原因となります。

- チェーンの遊びを定期的に点検してください。
- チェーンの遊びを規定値に従って設定してください。

準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)
- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 137)

主な作業

- ナット①を緩めます。
- ナット②を緩めます。
- 左右の調節スクリュー③を回し、チェーンの遊びを調節します。

規定

チェーンの遊び	5 ... 7 mm
左右の調節スクリュー③を回し、両側のチェーンアジャスター④のマーキングが目印Aに対して同じ位置にくるように調節します。これにより後輪の位置が正しく調整されます。	

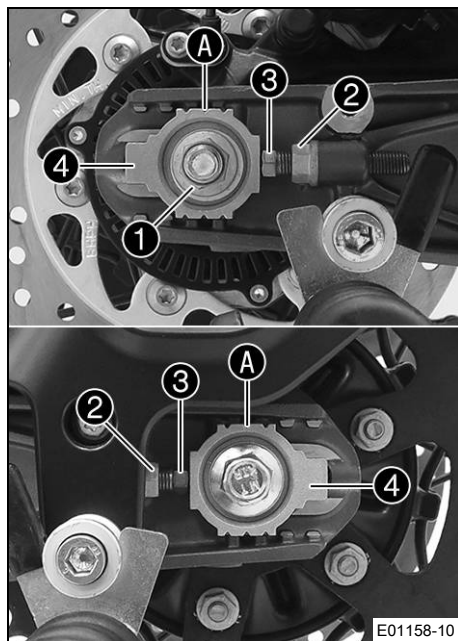


参考

その際、チェーン上部がピンと張っている事を確認して下さい。

チェーンは均等に擦り減るとは限らないので、チェーンの異なる箇所での調整を確認してください。

- ナット②をしっかりと締めます。
- チェーンアジャスター④が調節スクリュー③に接触している事を確認します。



E01158-10

12 サービス作業シャーシ

- ナット①をしっかりと締めます。

規定

後輪アクスルシャフト用ナット	M14x1.5	90 Nm
----------------	---------	-------

その後の作業

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)

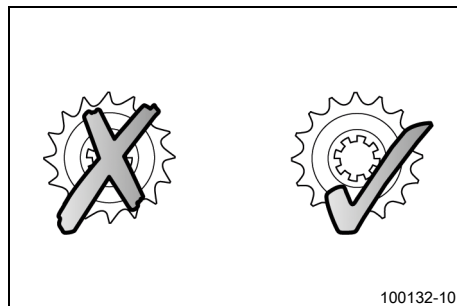
12.22 チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケットを点検する

準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)

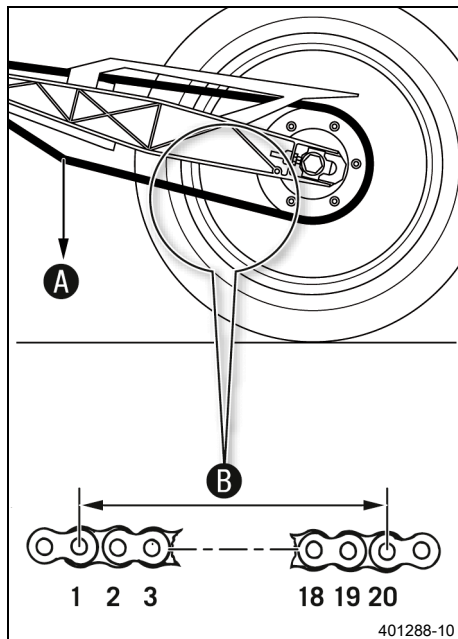
主な作業

- チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケットの磨耗を点検します。
 - » スプロケットまたはチェーンピニオンがスムーズに動く場合：
 - 駆動部品一式を交換します。🔧



参考

フロントスプロケット、リアスプロケット、チェーンは必ず一緒に交換して下さい。



- ギアをニュートラルに入れます。
- チェーン下部を以下に記載した重量 **A** で引っ張ります。

規定

チェーンの磨耗測定における重量	15 kg
-----------------	-------

- チェーン下部でローラー 20 個分の長さ **B** を測定します。



参考

チェーンは均等に擦り切れるとは限らないので、上記確認を何箇所か別の場所で繰り返し行って下さい。

チェーンが最も長い部分でのローラー 20 個分の長さ B の最大値	304.0 mm
--	----------

» 長さ **B** が規定値より大きい:

- 駆動部品一式を交換します。🔧

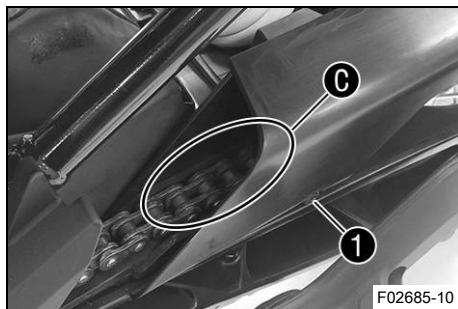


参考

新しいチェーンを取り付ける際は、同時にリアスプロケットとフロントスプロケットも交換して下さい。

新しいチェーンを磨耗が進んだ古いリアスプロケットまたはフロントスプロケットと一緒に使用すると、早く磨耗してしまいます。

12 サービス作業シャーシ



- チェーンスライダーガードの磨耗を点検します。
 - » 上から見てチェーンスライダーガードのⒸの範囲の穴①が見えている:
 - チェーンスライダーガードを交換します。🔧
- チェーンスライダーガードがきちんと固定されているか確認します。
 - » チェーンスライダーガードがガタついている:
 - チェーンスライダーガードのスクリューをしっかりと締めます。

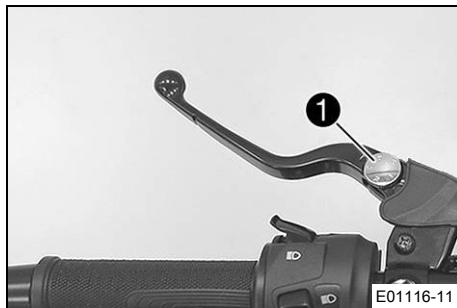
規定

チェーンスライダーガード用スクリュー	M6	9 Nm
--------------------	----	------

その後の作業

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)

12.23 クラッチレバーの基本位置を調整する



- クラッチレバーの基本位置を調節ダイヤル①で手の大きさに合わせて調整します。

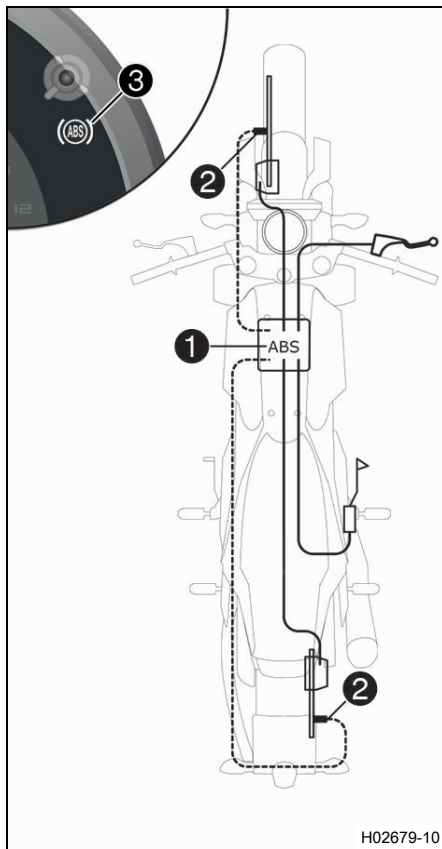


参考

クラッチレバーを前方に押して調節ダイヤルを回します。
調節作業は運転中に行わないで下さい。

13 ブレーキシステム

13.1 アンチロック・ブレーキシステム (ABS)



ABSモジュール①は油圧ユニット、ABS コントロールユニット、リターンポンプからなり、フューエルタンクの下に設置されています。前輪と後輪に各 1 つの車輪速度センサー②が取り付けられています。



警告

事故の危険性 車両を改造した場合、アンチロック・ブレーキシステムの機能に影響を及ぼします。

- 前輪にロックがかかっている場合、後輪はアンチロック・ブレーキシステムがオフの状態でのみ回転 (パーンアウト) させて下さい。
- サスペンションストロークに影響を及ぼすような改造を行わないで下さい。
- ブレーキシステムには Husqvarna モーターサイクル純正製品のスペアパーツのみをご使用下さい。
- Husqvarna モーターサイクルにより承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。
- タイヤの規定空気圧を遵守して下さい。
- サービス作業および修理は正しく行うことが必要です。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

ABSは、直進走行中に車輪がロックしてハンドルが効かなくなってしまうのを防ぐ安全システムです。



警告

事故の危険性 運転支援システムは物理的に可能な範囲内で転倒の確率を抑えるためのものです。

重い荷物の積載、道路舗装の変化、急勾配での発進、クラッチを切らないままのフルブレーキなど極限の走行状態では運転支援が行えない場合があります。

- 道路の状況、運転能力に応じた走行方法で運転しましょう。

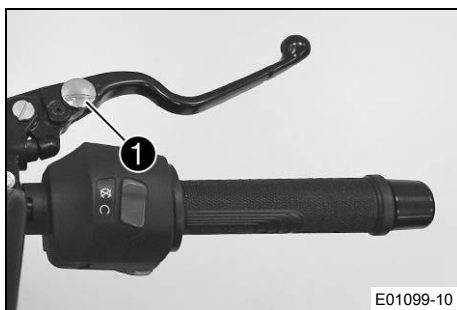
ABS は 2 つの独立したブレーキ回路で作動します (前輪ブレーキと後輪ブレーキ)。通常運転ではブレーキシステムは ABS が装備されていない従来型ブレーキとして機能します。車輪のいずれかがロックしている傾向を ABS コントロールユニットが検出すると、ブレーキ圧の調整により ABS が作動し始めます。調整プロセスによりブレーキペダルまたはブレーキレバーにわずかな振動が感じられます。

通常、イグニッションをオンにすると ABS 警告ランプ③が点灯し、発進すると消えます。発進後もランプが消えない場合や走行中に点灯した場合は、ABS でエラーが発生した事を示します。この場合には ABS は作動せず、ブレーキをかけた際に車輪がロックする恐れがあります。その際、ABS による調整は行われませんが、ブレーキシステム自体は通常通り機能します。

13 ブレーキシステム

ABS 警告ランプは、ウィリーや後輪の空転などの極端な走行状態で、前輪と後輪の回転数に大きな差異がある場合にも点灯する事があります。この場合、ABS はオフとなります。
ABS を再度オンにするには、車両を停止してイグニッションをオフにします。車両を再び作動すると、ABS も再びオンになります。ABS 警告ランプは発進後に消えます。

13.2 ブレーキレバーの基本位置を調整する



- ブレーキレバーの基本位置を調節ダイヤル①で手の大きさに合わせて調整します。



参考

ブレーキレバーを前方に押して調節ダイヤルを回します。
調節作業は運転中に行わないで下さい。

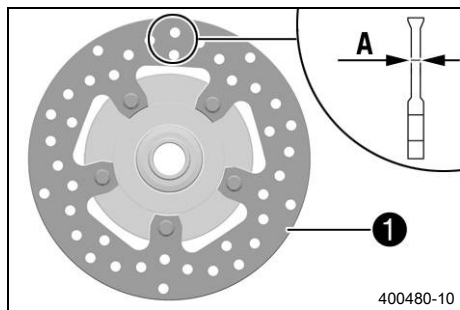
13.3 ブレーキディスクを点検する



警告

事故の危険性 磨耗したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキディスクは速やかに交換しなければなりません。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



- 前輪と後輪のブレーキディスクの何箇所かでディスクの厚み **A**を確認します。



参考

ブレーキディスクの厚みは、ブレーキパッドと接触する範囲 **①**が摩耗により減っていきます。

ブレーキディスク磨耗限界

前方	4.5 mm
後輪	3.6 mm

- » ブレーキディスクの厚みが規定値を下回っている:
 - 前輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。👉
 - 後輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。👉
- 前輪と後輪のブレーキディスクでひび、損傷、変形がないかを点検します。
 - » ブレーキディスクにひび、損傷、変形が見られる:
 - 前輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。👉

- 後輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。🔧

13.4 前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する



警告

事故の危険性 ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。ブレーキフルードのレベルがMINのマーキングを下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

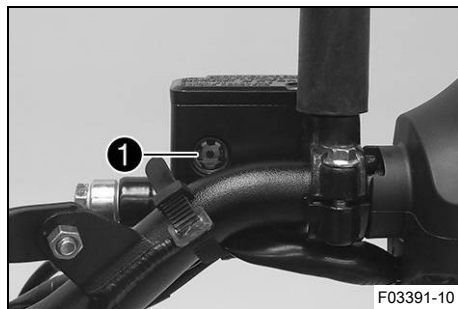
- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

事故の危険性 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



- ハンドルバーに取り付けられているブレーキフルードリザーバーを水平な状態にします。
- ブレーキフルードのレベルを点検窓①で確認します。
 - » ブレーキフルードのレベルが**MIN**のマーキングを下回っている：
 - 前輪ブレーキのブレーキフルードを補給します。↘
(📖 頁 149)



13.5 前輪ブレーキのブレーキフルードを補給する ↘



警告

事故の危険性 ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。ブレーキフルードのレベルが**MIN**のマーキングを下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

皮膚の炎症 ブレーキフルードに接触すると皮膚の炎症の原因となります。

- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- ブレーキフルードを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は多量の水で洗ってください。
- ブレーキフルードが目に入ってしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- ブレーキフルードが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。



警告

事故の危険性 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



情報

環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



参考

ブレーキフルード DOT 5 を絶対に使用しないで下さい！ シリコンオイルをベースにしており、紫色に着色してあります。ガスケットとブレーキホースはブレーキフルード DOT 5 での使用に適していません。塗装された部品にブレーキフルードがつかないように注意して下さい。塗装がはげます！
密閉された容器に保存された、きれいなブレーキフルードのみを使用して下さい！

準備作業

- 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 152)

主な作業

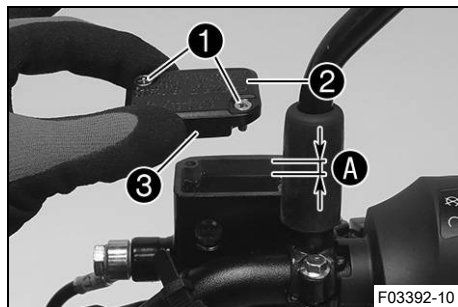
- ハンドルバーに取り付けられているブレーキフルードリザーバーを水平な状態にします。
- スクリュー①を外します。
- カバー②をダイヤフラム③と一緒に外します。
- ブレーキフルードをAの位置まで注ぎます。

規定

寸法 A	5 mm
------	------

ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1 (📖 頁 256)

- カバーとダイヤフラムの位置を調整します。スクリューを取り付け、しっかりと締めます。





参考

ブレーキフルードが溢れたりこぼれたりした場合は、すぐに水で洗い流して下さい。

13.6 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検する



警告

事故の危険性 磨耗したブレーキパッドはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキパッドは速やかに交換しなければなりません。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

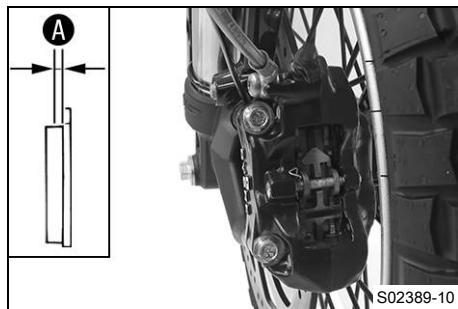


警告

事故の危険性 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

ブレーキパッドの交換が遅れると、ブレーキパッドサポートがブレーキディスクをこすります。その結果、ブレーキ性能が大幅に低下し、ブレーキディスクを破損してしまいます。

- ブレーキパッドを定期的に点検してください。



- ブレーキパッド厚み **A** の最小値を確認します。

厚み最小値 A	$\geq 1 \text{ mm}$
----------------	---------------------

» 厚みが最小値を下回っている:

- 前輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。🔧

- ブレーキパッドにひびや破損がないか点検します。

» ひびや破損がある:

- 前輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。🔧



13.7 後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する



警告

事故の危険性 ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼働しません。ブレーキフルードのレベルがMINのマーキングを下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

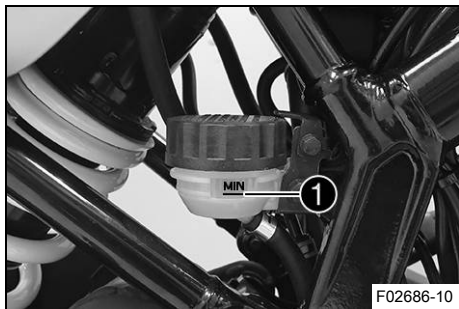


警告

事故の危険性 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

13 ブレーキシステム



- 車両を垂直に立てます。
- ブレーキフルードリザーバーでブレーキフルードのレベルを確認します。
 - » フルードのレベルが**MIN**のマーキング①に達している:
 - 後輪ブレーキのブレーキフルードを補給します。🔧
(📖 頁 154)

13.8 後輪ブレーキのブレーキフルードを補給する 🔧



警告

事故の危険性 ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。

ブレーキフルードのレベルが**MIN**のマーキングを下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

皮膚の炎症 ブレーキフルードに接触すると皮膚の炎症の原因となります。

- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- ブレーキフルードを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は多量の水で洗ってください。
- ブレーキフルードが目に入ってしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- ブレーキフルードが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。



警告

事故の危険性 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



情報

環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



参考

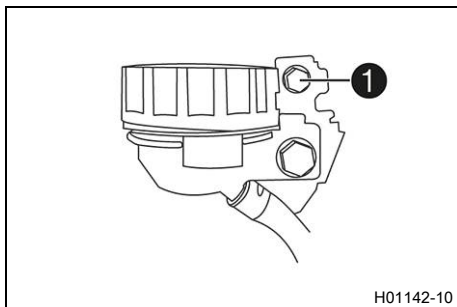
ブレーキフルード DOT 5 を絶対に使用しないで下さい！ シリコンオイルをベースにしており、紫色に着色してあります。ガスケットとブレーキホースはブレーキフルード DOT 5 での使用に適していません。塗装された部品にブレーキフルードがつかないように注意して下さい。塗装がはげます！密閉された容器に保存された、きれいなブレーキフルードのみを使用して下さい！

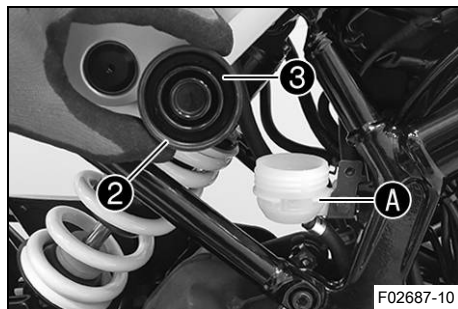
準備作業

- － 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 158)

主な作業

- － スクリュー①を外し、スクリューキャップのロックを取り外します。





- 車両を垂直に立てます。
- スクリューキャップ②をダイヤフラム③と共に外します。
- ブレーキフルードを①のマーキングの位置まで注ぎます。

ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1 (頁 256)

- スクリューキャップをダイヤフラムと一緒に取り付けます。



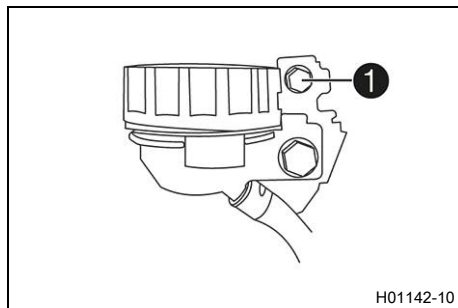
参考

ブレーキフルードが溢れたりこぼれたりした場合は、すぐに水で洗い流して下さい。

- スクリューキャップロックの位置を調整し、スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

スクリューキャップ ロック 調節タンク 後輪ブレーキ	M5	9 Nm
----------------------------------	----	------



13.9 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検する



警告

事故の危険性 磨耗したブレーキパッドはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキパッドは速やかに交換しなければなりません。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

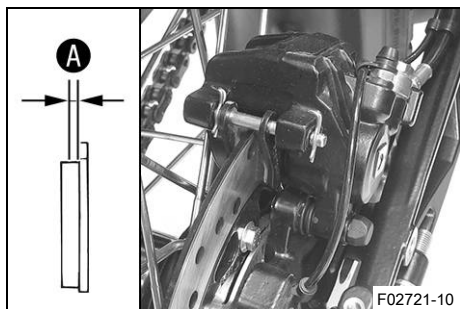


警告

事故の危険性 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

ブレーキパッドの交換が遅れると、ブレーキパッドサポートがブレーキディスクをこすります。その結果、ブレーキ性能が大幅に低下し、ブレーキディスクを破損してしまいます。

- ブレーキパッドを定期的に点検してください。



- ブレーキパッド厚み **A** の最小値を確認します。

厚み最小値 A	$\geq 1 \text{ mm}$
----------------	---------------------

» 厚みが最小値を下回っている:

- 後輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。🔧

- ブレーキパッドにひびや破損がないか点検します。

» ひびや破損がある:

- 後輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。🔧

13.10 ブレーキペダルの遊びを点検する

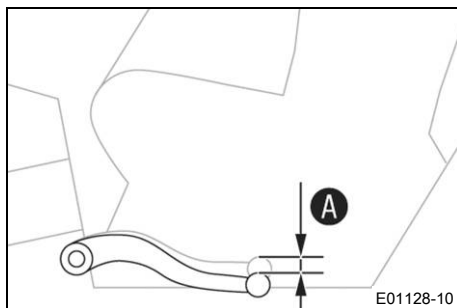


警告

事故の危険性 ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。

ブレーキペダルに遊びがないと、ブレーキシステム内で後輪ブレーキに圧力がかかります。

- ブレーキペダルの遊びを規定値に従って設定してください。



- ブレーキペダルを、ペダルが上がり切った状態とフットブレーキシリンダーのピストンに触れる間で何度か動かし、遊び **A** を確認します。

規定

ブレーキペダルの遊び	3 ... 5 mm
------------	------------

» 遊びが規定通りになっていない:

- ブレーキペダルの遊びを調節します。🔧 (📖 頁 160)

13 ブレーキシステム

13.11 ブレーキペダルの遊びを調節する ャ

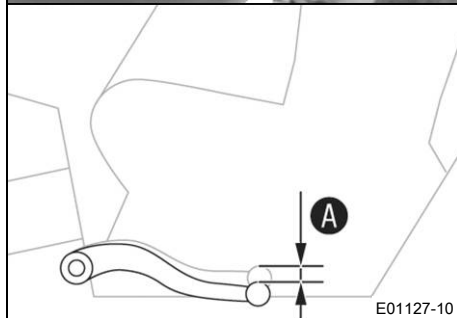
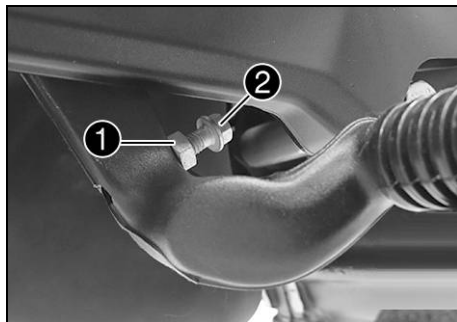


警告

事故の危険性 ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。

ブレーキペダルに遊びがないと、ブレーキシステム内で後輪ブレーキに圧力がかかります。

- ブレーキペダルの遊びを規定値に従って設定してください。



- ナット①を緩め、スクリュー②で遊びAを規定通りに調節します。

規定

ブレーキペダルの遊び	3 ... 5 mm
------------	------------



参考

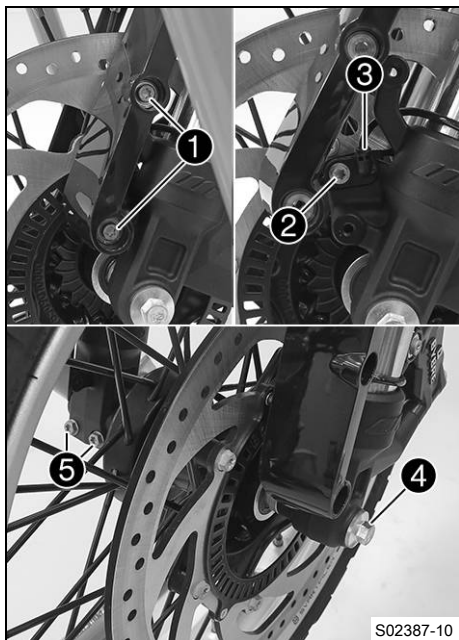
設定範囲には限界があります。

- スクリュー②を動かないように押さえ、ナット①をしっかり締めます。



14 車輪、タイヤ

14.1 前輪を取り外す



準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)
- フロントスタンドで車両を持ち上げます。(📖 頁 111)

主な作業

- スクリュー①をワッシャーと共に外し、フェンダーを横に向かって少し押します。
- スクリュー②を外し、車輪速度センサー③を穴から抜きます。
- スクリュー④を数回転分緩めます。
- スクリュー⑤を緩めます。
- スクリュー④を押し、アクスルシャフトをフォークレグの穴から押し出します。
- スクリュー④を外します。



警告

事故の危険性 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

- ブレーキディスクが損傷する事のないよう、ホイールの取り外しには注意して下さい。

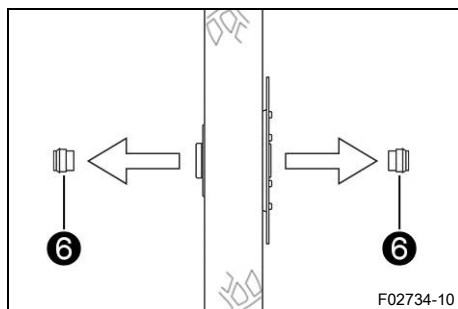
- 前輪を支え、アクスルシャフトを取り外します。前輪をフロントフォークから取り外します。



参考

前輪を取り外した状態でブレーキレバーを作動しないで下さい。

- スペーサー⑥を取り外します。



14.2 前輪を取り付ける

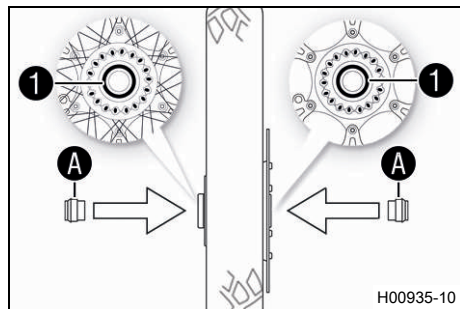


警告

事故の危険性 オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

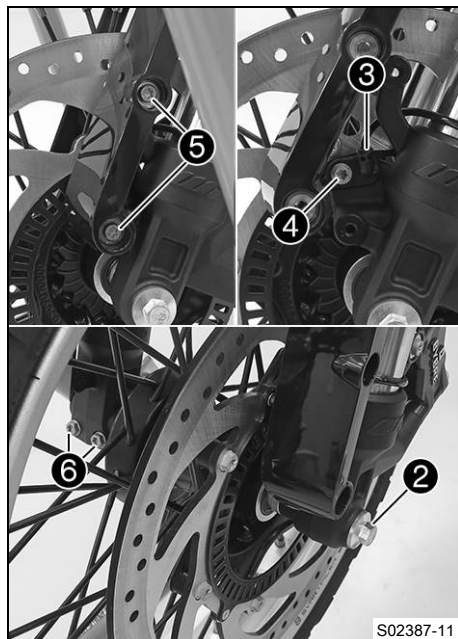
- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。

14 車輪、タイヤ



- ホイールベアリングに磨耗や損傷がないかを点検します。
 - » ホイールベアリングが磨耗または損傷している:
 - 前方ホイールベアリングを交換します。🔧
- シャフトのラジアルシールリング①とスペーサーの接触面Aを清掃し、グリスアップします。
- スペーサーを取り付けます。

耐久性グリス (📖 頁 259)



- アクスルシャフトとスクリュー②のねじ山を清掃します。
- アクスルシャフトを清掃し、軽くグリースアップします。

耐久性グリース (頁 259)

- 前輪の位置を調整し、アクスルシャフトを取り付けます。
✓ ブレーキパッドの位置が正しく調整されています。
- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

前方アクスルシャフト用スクリュー	M8	20 Nm
------------------	----	-------

- 車輪速度センサー③を穴に差し込み、位置を調整します。
- スクリュー④を取り付け、しっかりと締めます。

規定

車輪速度センサー用スクリュー	M6	7 Nm Loctite®243™
----------------	----	----------------------

- フェンダーを位置決めし、スクリュー⑤をワッシャーと共に取り付けて締め付けます。

規定

フォークレッグのアクスル用穴へのフェンダー取付け用スクリュー	M6	12 Nm
--------------------------------	----	-------

14 車輪、タイヤ

- ブレーキパッドがブレーキディスクに接触して抵抗が感じられるまで、ブレーキレバーを何度か作動します。
- フロントスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 112)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)
- 前輪のブレーキを作動し、フロントフォークのスプリングを何度か強く圧縮します。
 - ✓ フォークレグの位置が調整されます。
- スクリュー⑥をしっかりと締めます。

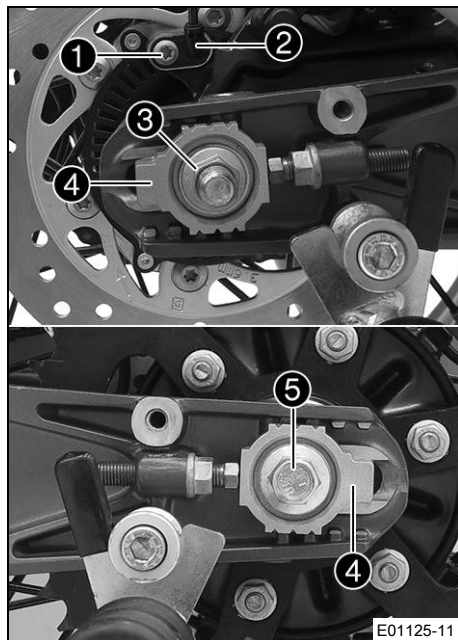
規定

フォークレグのアクスル通し穴用スクリュー	M8	15 Nm
----------------------	----	-------

14.3 後輪を取り外す

準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)



E01125-11

主な作業

- スクリュー①を外し、車輪速度センサー②を穴から抜きます。
- ナット③とワッシャーを外します。
- チェーンアジャスター④を取り外します。
- 後輪を支え、アクスルシャフト⑤をワッシャー、チェーンアジャスター④と一緒に取り外します。
- 後輪をできるだけ前に押し、チェーンをリアスプロケットから外します。



警告

事故の危険性 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

- ブレーキディスクが損傷する事のないよう、ホイールの取り外しには注意して下さい。

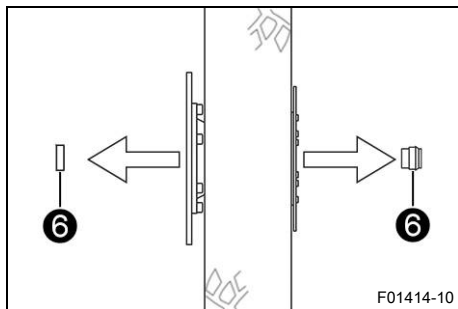
- 後輪を後ろに引き、スイングアームから取り外します。



参考

後輪を取り外した状態でブレーキペダルを作動しない下さい。

14 車輪、タイヤ



- スペースー⑥を取り外します。

14.4 後輪を取り付ける



警告

事故の危険性 オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。



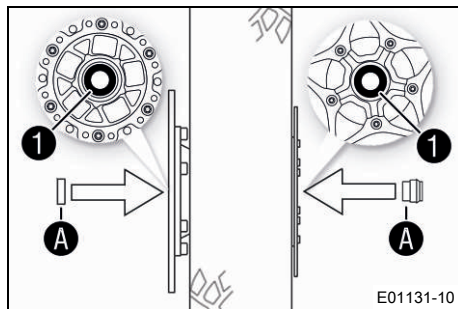
警告

事故の危険性 後輪取り付け直後には後輪ブレーキにはブレーキ性能がありません。

- 走行を開始する前にしっかりとした圧点を感じることができるようになるまでフットブレーキを何回か作動させてください。

主な作業

- 後輪のハブダンパーを点検します。🔧(📖 頁 171)



- ホイールベアリングに磨耗や損傷がないかを点検します。
 - » ホイールベアリングが磨耗または損傷している：
 - 後輪のホイールベアリングを交換します。🔧
- シャフトのラジアルシールリング①とスペーサーの接触面Aを清掃し、グリースアップします。

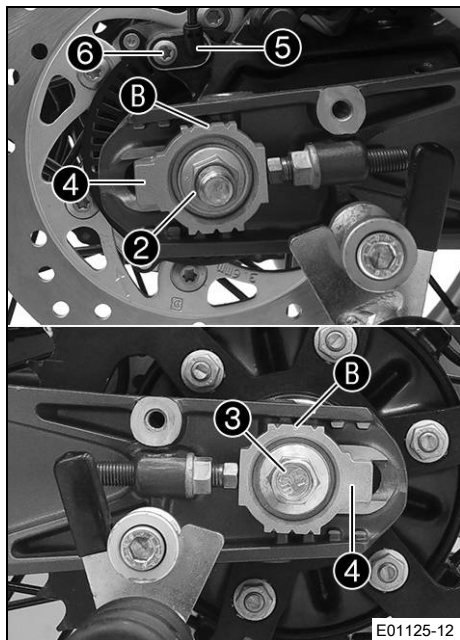
耐久性グリース (📖 頁 259)

- アクスルシャフトのアクスルナットのねじ山を清掃します。
- アクスルシャフトを清掃し、軽くグリースアップします。

耐久性グリース (📖 頁 259)

- ブレーキキャリパーとスイングアームのかみ合わせ部を清掃します。
- ハブダンパーとリアスプロケットサポートを後輪に取り付けます。
- 細いスペーサーをリアスプロケットの横に差し込みます。
- 幅の大きいスペーサーをブレーキディスク側に差し込みます。
- 後輪の位置を調整します。
- ✓ ブレーキパッドの位置が正しく調整されています。
- 後輪をできるだけ前に押し、チェーンをリアスプロケットにかけます。

14 車輪、タイヤ



- 後輪を後ろに引き、アクスルシャフト③をワッシャー、チェーンアジャスター④と一緒に取り付けます。

規定

左右のチェーンアジャスター④は同じポジションで取り付けして下さい。

- ナット②とワッシャーを取り付けます。
- チェーンアジャスターがスクリーに接触している事を確認します。
- チェーンの遊びを点検します。(頁 137)
- ナット②をしっかりと締めます。

規定

後輪の位置が正しく調整されるよう、左右のチェーンアジャスターに付けられたマーキングが目印Bに対して同じ位置にくるように取り付けて下さい。

後輪アクスルシャフト用ナット	M14x1.5	90 Nm
----------------	---------	-------

- 車輪速度センサー⑤を穴に差し込み、位置を調整します。
- スクリー⑥を取り付け、しっかりと締めます。

規定

車輪速度センサー用スクリー	M6	7 Nm Loctite®243™
---------------	----	----------------------

その後の作業

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)



14.5 後輪のハブダンパーを点検する 🛠️



参考

エンジンの力はリアスプロケットから 6 つのハブダンパーを通して後輪に伝えられます。車両の使用によりハブダンパーは摩耗していきます。ハブダンパーを適時に交換しないと、リアスプロケットサポートと後輪ハブを損傷してしまいます。

準備作業

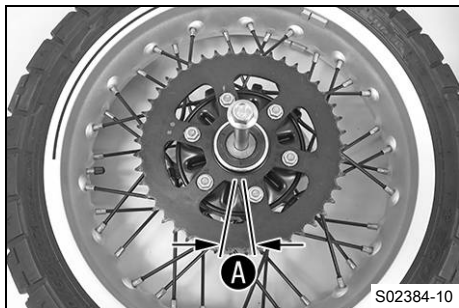
- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)
- 後輪を取り外します。🛠️ (📖 頁 166)

主な作業

- ベアリング ❶ を点検します。
 - » ベアリングが破損または磨耗している：
 - ベアリングを交換します。🛠️
- 後輪のハブダンパー ❷ に破損・摩耗が無いか点検します。
 - » 後輪のハブダンパーが摩耗または損傷している：
 - 後輪のハブダンパー全てを交換します。



14 車輪、タイヤ



- リアスプロケットを上にして後輪を作業台の上に置き、アクスルシャフトをハブに差し込みます。
- 遊び **A**を確認するため、後輪を押さえた状態でリアスプロケットを回してみます。

i 参考

遊びはリアスプロケットの外側で測定して下さい。

後輪のハブダンパーの遊び	≤ 5 mm
--------------	--------

- » 遊び **A** が記載された値より大きい:
- 後輪のハブダンパー全てを交換します。

その後の作業

- 後輪を取り付けます。🔧 (📖 頁 168)
- リアスタンドから車両を降ろします。 (📖 頁 109)

14.6 タイヤの状態を点検する



警告

事故の危険性 タイヤが走行中にパンクしてしまった場合、車両をコントロールすることができなくなります。

- 破損した、またはすり減ったタイヤが速やかに交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

**警告**

転倒の危険性 前輪と後輪のトレッドが異なると走行性能に影響を及ぼします。

異なるトレッドのタイヤを使用すると車両のコントロールが大幅に難しくなります。

- 前輪と後輪に同様のトレッドのタイヤが装着されていることを確認してください。

**警告**

事故の危険性 承認または推奨されていないタイヤならびに車輪を装着した場合、走行性能が損なわれます。

- Husqvarna モーターサイクルにより承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。

**警告**

事故の危険性 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。

新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。

- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。

慣らし走行期間

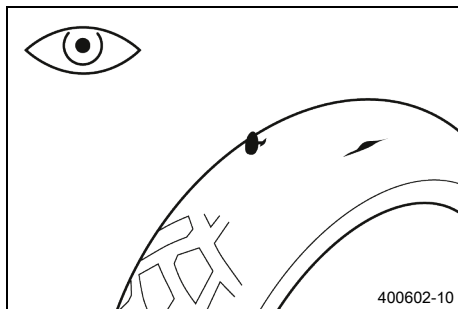
200 km

**参考**

タイヤの種類、状態、空気圧は車両の走行性能に影響を与えます。

タイヤがすり減っていると、路面が濡れている場合などは特に走行性能に悪影響を与えます。

14 車輪、タイヤ



- 前輪・後輪のタイヤに亀裂がないか、異物が刺さっていないか、その他損傷がないかを点検します。
 - » タイヤに亀裂や損傷がある、または異物が刺さっている:
 - タイヤを交換します。🔧
- 溝の深さを点検します。



参考

各国法律により定められている溝の深さ最小値を守ってください。

溝の深さ最小値	≥ 2 mm
---------	--------

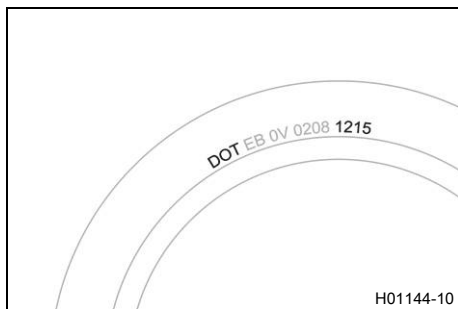
- » 溝の深さが最小値を下回っている:
 - タイヤを交換します。🔧
- タイヤの製造日を確認します。



参考

通常、タイヤの製造日はタイヤに記載されており、DOTコードの下4桁の数字で表されています。最初の2桁が製造週を、残りの2桁が製造年を示しています。Husqvarna Motorcycles では、実際の磨耗状態にかかわらず、遅くとも製造日から5年を経過したらタイヤ交換する事をお勧めしています。

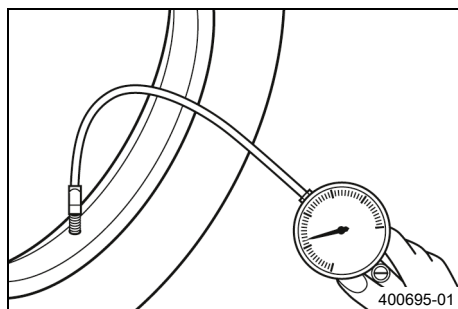
- » タイヤの製造日が5年以上前である:
 - タイヤを交換します。🔧



14.7 タイヤ空気圧を点検する

**参考**

タイヤの空気圧が低過ぎると異常な磨耗が発生し、タイヤが過熱します。
適正な空気圧により快適な走行が可能となり、タイヤの寿命も延びます。



- カバーキャップを外します。
- タイヤが冷えた状態で空気圧を点検します。

同乗者なしでのタイヤの空気圧

前方	2.0 bar
後輪	2.0 bar

同乗者あり / 最大積載量でのタイヤの空気圧

前輪	2.2 bar
後輪	2.2 bar

- » タイヤの空気圧が規定通りになっていない:
 - タイヤの空気圧を調節します。
- カバーキャップを取り付けます。



14.8 スポークの張りを点検する

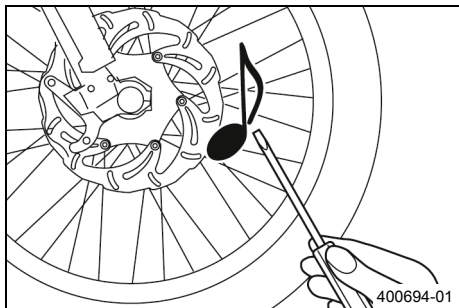


警告

事故の危険性 スポークの張りが不適切な場合、走行性能に影響を及ぼし、その結果として損害を招くことがあります。

スポークを張り過ぎた場合、過負荷によりスポークが折れます。スポークが緩すぎる場合、ホイールが横または縦方向に歪みやすくなります。その結果その他のスポークが緩んでしまいます。

- 特に新しい車両など、スポークの張りを定期的に点検してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



- ドライバーの刃先で各スポークを軽くたたきます。



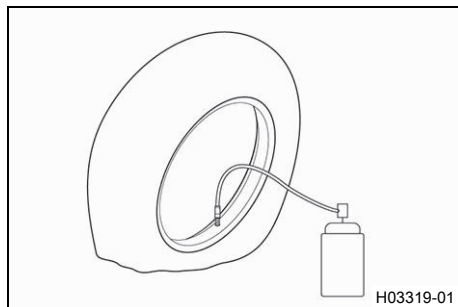
参考

スポークの長さや太さによって音の響きが違います。長さや太さが同じスポークで異なった響きがある場合は、張り状態が異なっています。

明るい響きがあれば良い状態です。

- » スポークの張りが均等でない:
 - スポークの張りを調節します。

14.9 パンク修理剤の使用法

**警告**

事故の危険性 パンク修理剤を誤って使用すると、タイヤの空気圧を低下させてしまいます。

パンク修理剤は全てのタイヤの損傷を修理できるものではありません。

- パンク修理剤メーカーからの注意事項や指示に従ってください。
- パンク修理剤で修繕を行った場合、低速度で注意深く走行してください。
- 修繕後は最寄の修理工場まで走行し、そこでタイヤを交換してください。それ以上の距離は走行しないで下さい。

パンク修理剤は緊急時のみに使用してください。
パンクした車両を修理剤を使って修理するよりも、できれば、
最寄の修理工場へ車両を輸送してください。

15.1 12V バッテリーを取り外す



警告

人体への危険 バッテリー液、バッテリーから発生する気体は重大な化学火傷を引き起こす恐れがあります。

- 12V バッテリーは子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスとの接触は避けてください。
- 12-V バッテリーを火花や炎に近づけないで下さい。
- 12-V バッテリーの充電は必ず換気の良い場所で行って下さい。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスが目にはいつてしまった場合、少なくとも 15 分間水で洗い落とし、速やかに受診してください。



注意

事故の危険性 12 V バッテリーがあがった状態、または 12 V バッテリー無しでは電子部品および安全関連装置を破損してしまいます。

12V バッテリーがあがっていたり、故障している場合、特にエンジン始動時に車両の電気系統の不具合が発生する可能性があります。

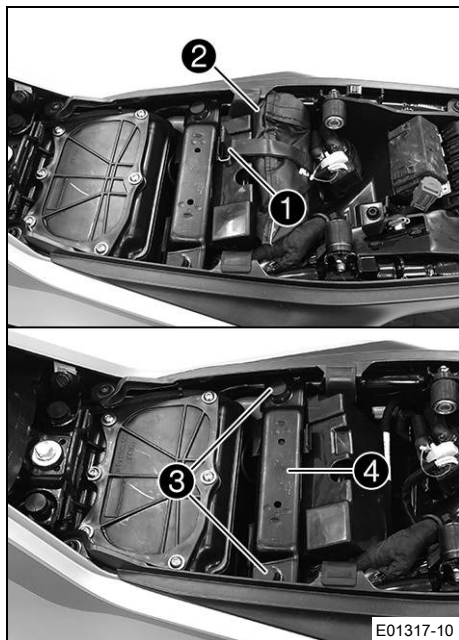
- 12 V バッテリーがあがった状態、もしくは 12 V バッテリー無しで車両を運転する事は絶対に避けて下さい。

準備作業

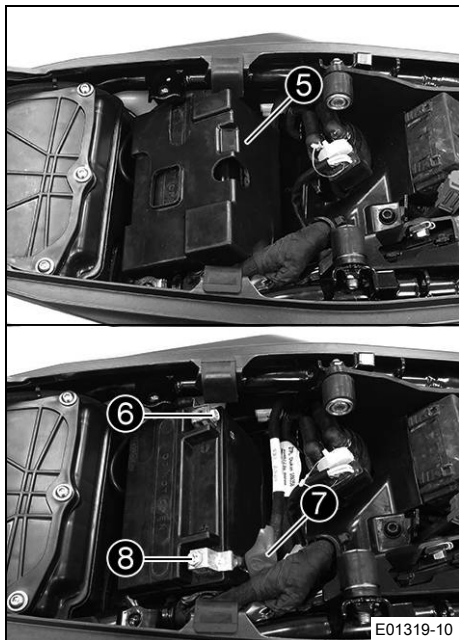
- シートを取り外します。(📖 頁 115)

主な作業

- ゴムバンド①を外し、車載工具②を取り出します。
- スクリュー③を外します。
- バッテリーサポートブラケット④を外します。

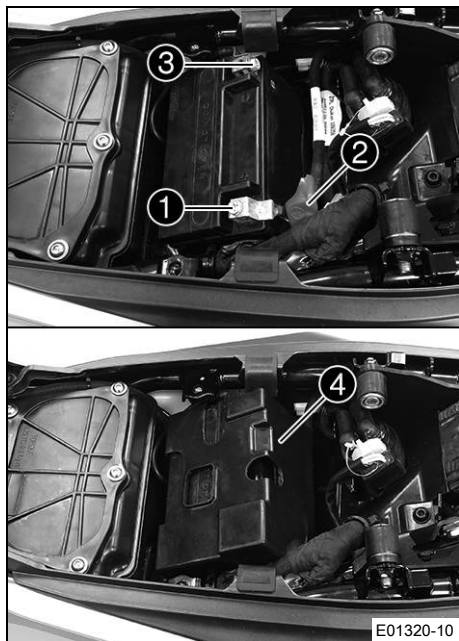


15 電装系



- 12V バッテリーからバッテリーカバー⑤を外します。
- 12V バッテリーからマイナスケーブル⑥を外します。
- プラス極のカバー⑦を後ろへずらします。
- 12V バッテリーからプラスケーブル⑧を外します。
- 12V バッテリーを上へ引いてバッテリーコンパートメントから外します。

15.2 12V バッテリーを取り付ける

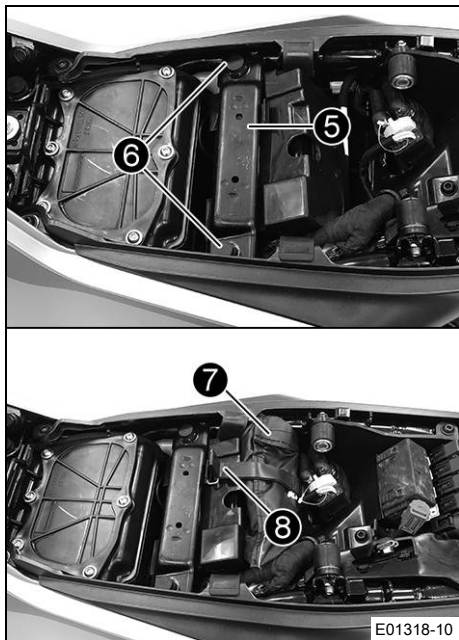


主な作業

- 12V バッテリーをバッテリーコンパートメントに配置します。

12V バッテリー (ETZ-9-BS) (📖 頁 244)

- プラスケーブル**①**の位置を調整し、スクリューを取り付け、しっかりと締めます。
- プラス極のカバー**②**の位置を調整します。
- マイナスケーブル**③**の位置を調整し、スクリューを取り付け、しっかりと締めます。
- バッテリーカバー**④**を 12V バッテリーに配置します。



- バッテリーサポートブラケット**⑤**の位置を調整し、スクリュー**⑥**を取り付け、しっかりと締めます。

規定

バッテリーサポートブラケット用スクリュー	M8	19 Nm
----------------------	----	-------

- 車載工具**⑦**を置き、ゴムバンド**⑧**を取り付けます。

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 116)
- 時刻を設定します。(📖 頁 70)

15.3 12V バッテリーを充電する



警告

人体への危険 バッテリー液、バッテリーから発生する気体は重大な化学火傷を引き起こす恐れがあります。

- 12V バッテリーは子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスとの接触は避けてください。
- 12-V バッテリーを火花や炎に近づけないで下さい。
- 12-V バッテリーの充電は必ず換気の良い場所で行って下さい。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスが目にはいつてしまった場合、少なくとも 15 分間水で洗い落とし、速やかに受診してください。



情報

環境汚染 12V バッテリーには環境に悪影響を与える物質が含まれています。

- 12V バッテリーは家庭用ゴミとして廃棄しないで下さい。
- 12V バッテリーを廃棄する場合、使用済みバッテリーの回収場所に持ち込んで下さい。



参考

12V バッテリーは使用しなくても毎日放電しています。

12V バッテリーの寿命は充電量と充電方法に大きく左右されます。

大きな電流により短時間で充電すると寿命に悪影響を与えます。

充電電流、充電電圧、充電時間が規定値を超えると、電解液が安全バルブから漏出します。これにより12V バッテリーの容量が減ってしまいます。

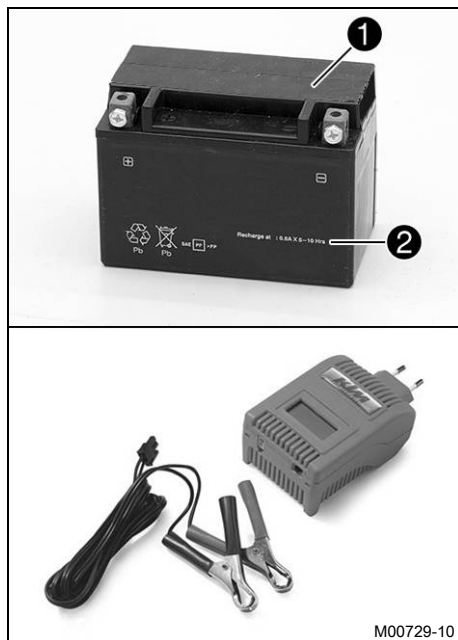
12V バッテリーが空になったら、直ちに充電して下さい。

放電し切った状態で長く放置すると過放電と硫酸化が起こり、12V バッテリー容量が失われ、バッテリーが破損します。

この 12V バッテリーはメンテナンスフリーです。電解液レベルの点検を行う必要はありません。

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 115)
- 車載電子部品を破損しないよう、12V バッテリーのマイナスケーブルを外します。



主な作業

- 充電器と 12V バッテリーを接続します。充電器のスイッチを入れます。

バッテリー充電器 (58429074000)

さらにこの充電器では静止電圧、12V バッテリーおよびジェネレーターの始動テストをすることができます。この装置では 12V バッテリーの過充電はできません。



参考

カバー①は絶対に取り外さないで下さい。
バッテリーケース②に記載された容量の最大 10 % で 12V バッテリーを充電します。

- 充電が終了したら充電器の電源を切り、12V バッテリーから外します。

規定

充電電流、充電電圧、充電時間が規定値を超えないよう注意して下さい。

車両を使用しないときは、 12V バッテリーを定期的に 充電して下さい	3 ヶ月
---	------

- マイナスケーブルの位置を調整し、スクリューを取り付けてしっかりと締めます。
- マイナス極のカバーの位置を調整します。

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 116)
- 時刻を設定します。(📖 頁 70)

15.4 メインヒューズを交換する



警告

火災の危険性 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。

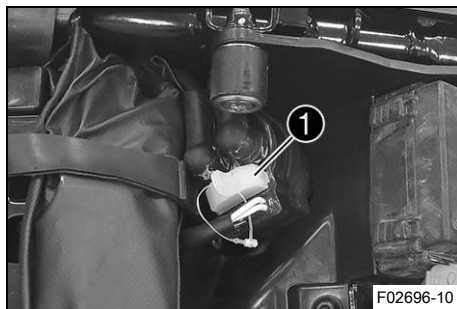


参考

メインヒューズが車両上の全ての電装系部品を保護しています。メインヒューズはシートの下に設置されています。

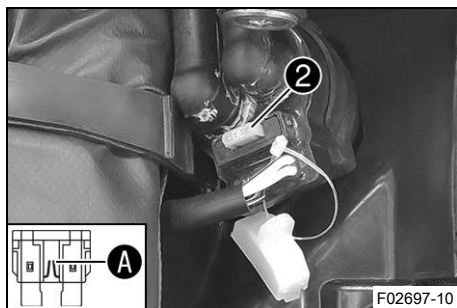
準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 115)



主な作業

- 保護キャップ①を外します。



- 損傷したメインヒューズ②を取り外します。



参考

ヒューズワイヤが壊れている場合 **A** はヒューズに欠陥があります。

ヒューズボックスにスペアヒューズが差し込んであります。

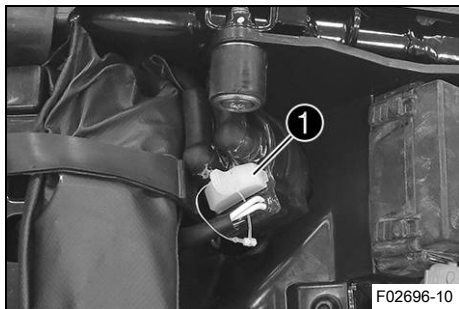
- 新しいメインヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088030) (📖 頁 244)



ヒント

新しいスペアヒューズをヒューズボックスに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。



- 保護キャップ①を取り付けます。

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 116)
- 時刻を設定します。(📖 頁 70)

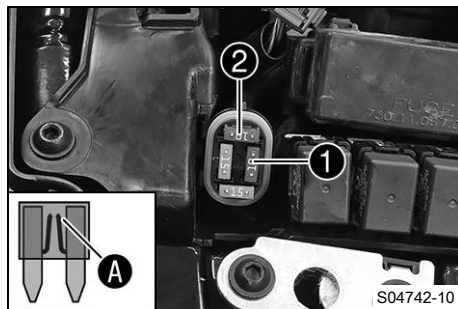
15.5 ABS のヒューズを交換する

i 参考

ABS 用ヒューズのうち 2 つは、ヒューズボックスの横にある保護キャップの下に設置されています。この 2 つのヒューズで ABS のリターンポンプと油圧ユニットを保護します。ABS コントロールユニットを保護している 3 つ目のヒューズは、ヒューズボックス内に設置されています。

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 115)



ABS 油圧ユニットのヒューズを交換する:

- － カバーキャップを外し、ヒューズ①を取り外します。



参考

ヒューズの損傷は溶接ワイヤーⒶが切断されているかで分かります。



警告

火災の危険性 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- － 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- － 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。

- － 対応する容量のスペアヒューズを取り付けます。

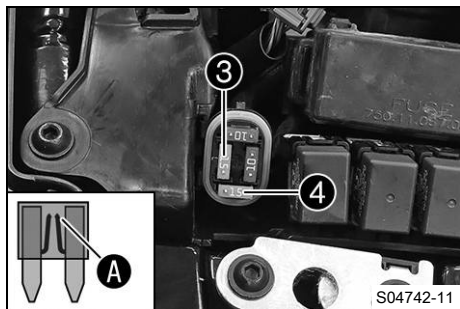
ヒューズ (75011088010) (📖 頁 244)



ヒント

新しいスペアヒューズ②をヒューズボックスに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。

- － カバーキャップを取り付けます。



ABS リターンポンプのヒューズを交換する:

- カバーキャップを外し、ヒューズ③を取り外します。



警告

火災の危険性 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。

- 対応する容量のスペアヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088015) (📖 頁 244)



ヒント

新しいスペアヒューズ④をヒューズボックスに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。

- カバーキャップを取り付けます。

その後の作業

- シートを取り付けます。 (📖 頁 116)

15.6 各電装系部品のヒューズを交換する



参考

各電装系部品のヒューズが設置されたヒューズボックスはシートの下に設置されています。

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 115)



主な作業

- ヒューズボックスのカバー①を開きます。
- 損傷したヒューズを取り外します。

規定

ヒューズ1 - 未使用
ヒューズ2 - 10 A - コンビネーションインスツルメント
ヒューズ3 - 10 A - メインリレー
ヒューズ4 - 15 A - イグニッションコイル、スターターリレー、ホーン、燃料ポンプ
ヒューズ5 - 15 A - 冷却ファン
ヒューズ6 - 15 A - ブレーキライト、ヘッドライトのハイビームとロービーム、ポジションライト、テールライト、ナンバープレートライト
ヒューズ7 - 10 A - ABS コントロールユニット、コンビネーションインスツルメント、診断プラグ
ヒューズ8 - 10 A - エマージェンシーOFF
ヒューズ9 - 10 A - アクセサリー用の継続プラス極 (ACC1、前方)
ヒューズ10 - 10 A - アクセサリー用イグニッション電源プラス極 (ACC2 前方、ACC2 後方)
ヒューズSPARE - 10 A/15 A/30 A - スペアヒューズ

**参考**

ヒューズワイヤが壊れている場合 **A** はヒューズに欠陥があります。

**警告**

火災の危険性 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。

- 対応する容量のスペアヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088010) (📖 頁 244)
ヒューズ (75011088015) (📖 頁 244)
ヒューズ (75011088030) (📖 頁 244)

**ヒント**

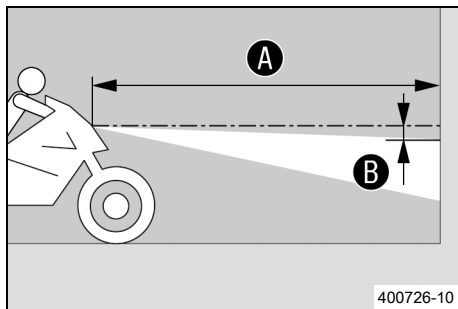
新しいスペアヒューズをヒューズボックスに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。

- 電装系部品の機能を点検します。
- ヒューズボックスのカバー **①** を閉じます。

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 116)

15.7 ヘッドライトの設定を点検する



- 明るい壁が前にある水平な地面の上に車両を立て、ヘッドライトの中心の高さで壁に印を付けます。
- その印の下、**B**の距離にもう1つ印を付けます。

規定

距離 B	5 cm
-------------	------

- 壁から **A**の距離に車両を垂直に立て、ロービームを点灯します。

規定

距離 A	5 m
-------------	-----

- ここでライダーが (必要に応じて荷物および同乗者と一緒に) 車両に乗ります。
- ヘッドライトの設定を点検します。

走行準備の整った車両に運転者が (必要に応じて荷物および同乗者と一緒に) 乗った状態で、明暗の境界が下側のマーキングとぴったり一致する事を確認して下さい。

» 明暗の境界が規定通りになっていない:

- ヘッドライトの照明距離を調節します。(📖 頁 195)

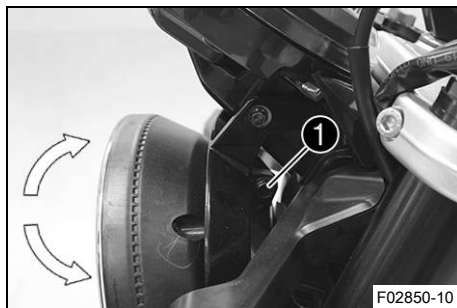
15.8 ヘッドライトの照明距離を調節する

準備作業

- ヘッドライトの設定を点検します。(📖 頁 194)

主な作業

- スクリュー①を緩めます。
- ヘッドライトの照明距離を設定するためにはヘッドライトを上か下に向けます。



参考

ヘッドライトを上に向けると照明距離が伸びます。
ヘッドライトを下に向けると照明距離が短くなります。
積載物があると、ヘッドライト照明距離の再調節が必要となる事があります。

- ②のマーキングに合わせてヘッドライトを調整します。

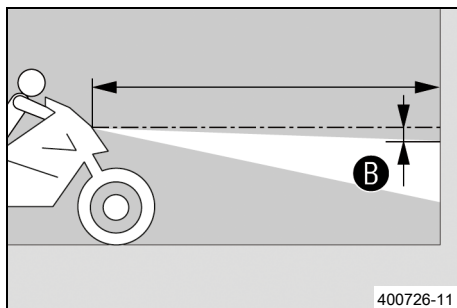
規定

走行準備の整った車両に運転者が(必要に応じて荷物および同乗者と一緒に乗った状態で、明暗の境界が下側の印②とぴったり一致する事を確認して下さい。

- スクリュー①をしっかりと締めます。

規定

照明距離調整用スクリュー	M6	7 Nm
--------------	----	------

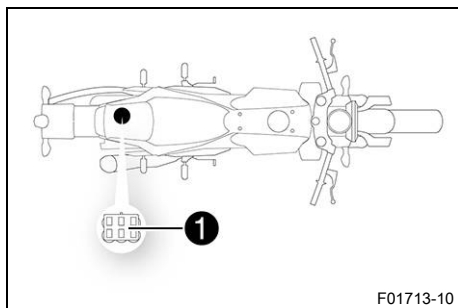




参考

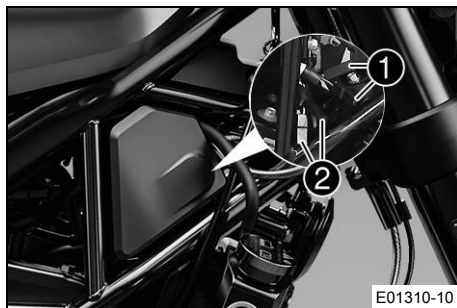
スクリュー①はヘッドライトも固定します。スクリューが常にしっかりと締まっている事を確認します。

15.9 診断プラグ



診断プラグ①はフロントシートの下に設置されています。

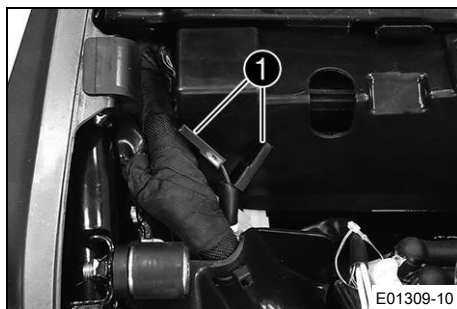
15.10 ACC1 および ACC2 前方



取り付け位置

- － 前方の電源 ACC1 ①と ACC2 ②は ABS モジュールのカバーの下にあります。

15.11 ACC2 後方

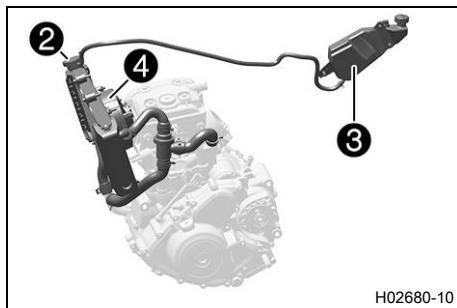
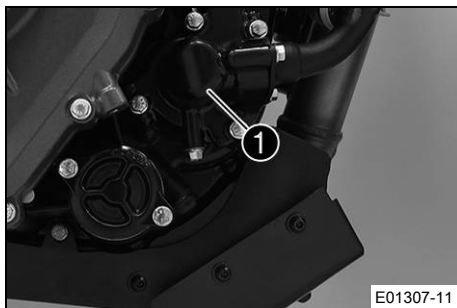


取り付け位置

- － 後方の電源 ACC2 ①はリアシートの下にあります。

16 冷却システム

16.1 冷却システム



エンジン内のウォーターポンプ①により、クーラントが強制循環します。

熱により発生した冷却システム内の圧力は、ラジエーターキャップ②にあるバルブにより調整されます。熱膨張により余分となったクーラントが調節タンク③に流れ込みます。流れ込んだクーラントは、温度が下がるとまた冷却システムに吸い込まれます。これにより、クーラントが記載された温度まで上昇しても不具合を起こす事はありません。

110 °C

冷却は走行風と、高温になるとオンになる冷却ファン④によって行われます。

速度が遅いほど冷却効果は低くなります。同様に、ラジエーターのフィンが汚れていると冷却効果が低くなります。

i 参考

冷却システムが過熱すると、エンジンの最高回転数が制限されます。

16.2 不凍液とクーラントのレベルを点検する



警告

火傷の危険性 クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

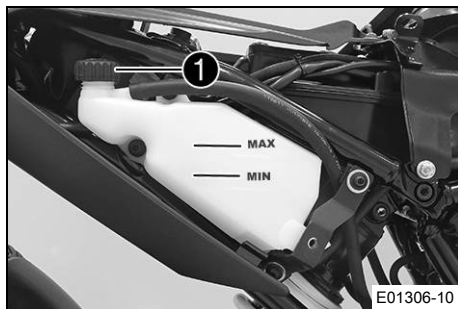
- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

条件

エンジンが冷えている。

準備作業

- キャリアを取り外します。(📖 頁 117)



- シートを取り外します。(📖 頁 115)
- 右のサイドカバーを取り外します。🔧(📖 頁 121)

主な作業

- 車両を水平な地面の上で垂直に立てます。
- 調節タンクのキャップ①を外します。
- クーラントの不凍効果を点検します。

-25 ... -45 °C

- » クーラントの不凍効果が規定通りになっていない:
 - クーラントの不凍効果を調整します。
- 調節タンクのクーラントのレベルを点検します。

クーラントのレベルが**MIN**と**MAX**の間にある事を確認して下さい。

- » クーラントのレベルが規定通りになっていない:
 - クーラントのレベルを調整します。

クーラント (📖 頁 255)

- 調節タンクのキャップを取り付けます。



- ラジエーターキャップ②を外します。
- クーラントの不凍効果を点検します。

-25 ... -45 °C

- » クーラントの不凍効果が規定通りになっていない:
 - クーラントの不凍効果を調整します。
- ラジエーター内のクーラントのレベルを確認します。

ラジエーターがクーラントで満たされている事を確認して下さい。

- » クーラントのレベルが規定通りになっていない:
 - クーラントのレベルを調節し、クーラントが減少した原因を突き止めます。

クーラント (📖 頁 255)

- » 以下に示した規定値以上のクーラントを追加する必要があった:
 - > 0.20 L
 - 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをします。👉 (📖 頁 206)
- ラジエーターキャップを取り付けます。

その後の作業

- 右のサイドカバーを取り付けます。👉 (📖 頁 122)
- シートを取り付けます。 (📖 頁 116)
- キャリアを取り付けます。 (📖 頁 117)



16.3 クーラントのレベルを点検する



警告

火傷の危険性 クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

条件

エンジンが冷えている。



- 車両を水平な地面の上で垂直に立てます。
- 調節タンク①に入っているクーラントのレベルを確認します。

クーラントのレベルが**MIN**と**MAX**の間にある事を確認して下さい。

- » クーラントのレベルが規定通りになっていない:
 - クーラントのレベルを調整します。

クーラント (📖 頁 255)



- ラジエーターキャップ②を取り外し、ラジエーター内のクーラントのレベルを点検します。

ラジエーターがクーラントで満たされている事を確認して下さい。

- » クーラントのレベルが規定通りになっていない:
 - クーラントのレベルを調節し、クーラントが減少した原因を突き止めます。
- » 以下に示した規定値以上のクーラントを追加する必要があった:
 - > 0.20 L
 - 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをします。🔧 (📖 頁 206)

- ラジエーターキャップを取り付けます。



16.4 クーラントを排出する



警告

火傷の危険性 クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



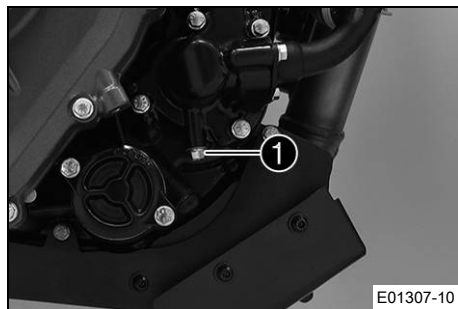
警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

条件

エンジンが冷えている。



- 車両を垂直に立てます。
- 適切な容器をエンジンの下に置きます。
- スクリュー①をシールリングと一緒に外します。
- ラジエーターキャップを外します。
- クーラントが完全に流れ出るまで待ちます。
- スクリュー①を新しいシールリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

ウォーターポンプ排水口用スクリューブ ラグ	M6	10 Nm
--------------------------	----	-------



16.5 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをする 🛠



警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

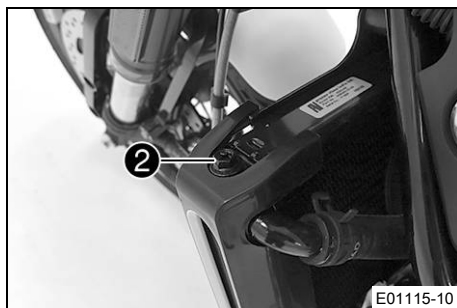
準備作業

- キャリアを取り外します。(📖 頁 117)
- シートを取り外します。(📖 頁 115)
- 右のサイドカバーを取り外します。🛠(📖 頁 121)



主な作業

- ラジエーターキャップ①を外します。



- エアブリーダー②を緩めます。

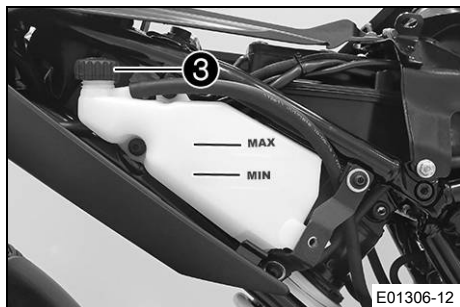
規定

3 回転

- 車両を少し右に傾けます。
- クーラントがエアブリーダーから気泡のない状態で出てくるまでクーラントを注入し、その後すぐにエアブリーダーを取り付け、しっかりと締めます。

クーラント (📖 頁 255)

- ラジエーターをクーラントで満たします。ラジエーターキャップを取り付けます。
- 車両をサイドスタンドで立てます。



E01306-12



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、暖気運転します。
- エンジンを停止して冷めるのを待ちます。
- エンジンが冷めたらラジエーター内のクーラントのレベルを再度点検し、必要に応じてクーラントを補給します。
- 調節タンクのカバー③を外し、クーラントをMAXのマーキングまで注入します。
- 調節タンクのキャップを取り付けます。

その後の作業

- 右のサイドカバーを取り付けます。(📖 頁 122)
- シートを取り付けます。(📖 頁 116)
- キャリアを取り付けます。(📖 頁 117)

16.6 クーラントを交換する



警告

火傷の危険性 クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

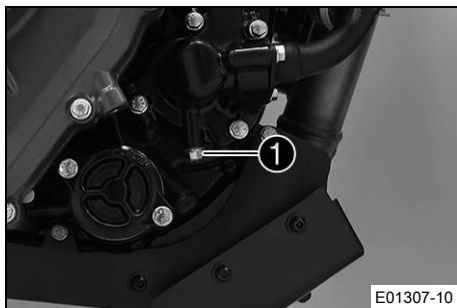
条件

エンジンが冷えている。

準備作業

- キャリアを取り外します。(📖 頁 117)

16 冷却システム



- シートを取り外します。(📖 頁 115)
- 右のサイドカバーを取り外します。🔧(📖 頁 121)

主な作業

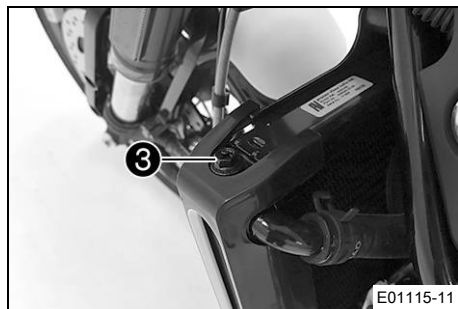
- 車両を垂直に立てます。
- 適切な容器をエンジンの下に置きます。
- スクリュー①をシールリングと一緒に外します。



- ラジエーターキャップ②を外します。
- クーラントが完全に流れ出るまで待ちます。
- スクリュー①を新しいシールリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

ウォーターポンプ排水口用スクリューラグ	M6	10 Nm
---------------------	----	-------



- エアブリーダー③を緩めます。

規定

3 回転

- 車両を少し右に傾けます。
- クーラントがエアブリーダーから気泡のない状態で出てくるまでクーラントを注入し、その後すぐにエアブリーダーを取り付け、しっかりと締めます。

クーラント (E 頁 255)

- ラジエーターをクーラントで満たします。
- ラジエーターキャップを取り付けます。
- 車両をサイドスタンドで立てます。



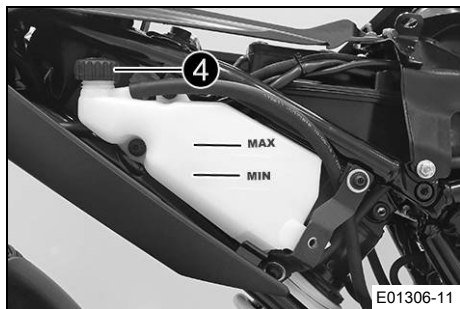
危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼動する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼動状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、暖気運転します。

16 冷却システム



- エンジンを停止して冷めるのを待ちます。
- エンジンが冷めたらラジエーター内のクーラントのレベルを再度点検し、必要に応じてクーラントを補給します。
- 調節タンク④のカバーを外し、クーラントをMAXのマーキングまで注入します。
- 調節タンクのキャップを取り付けます。

その後の作業

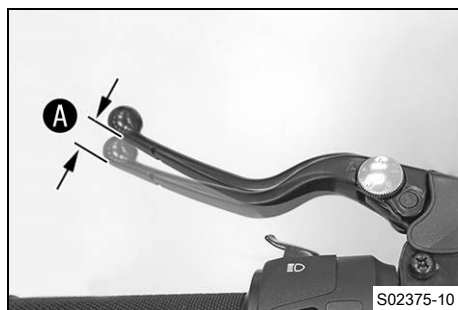
- 右のサイドカバーを取り付けます。(📖 頁 122)
- シートを取り付けます。(📖 頁 116)
- キャリアを取り付けます。(📖 頁 117)

17.1 クラッチレバーの遊びを点検する

注意

クラッチの損傷 クラッチレバーに遊びがないとクラッチが滑り出します。

- 車両運転前に必ずクラッチレバーの遊びを点検してください。
- 必要に応じクラッチレバーの遊びを規定に従って調整してください。



- クラッチレバーがスムーズに動くか確認します。
- ハンドルバーを直進の状態にします。
- クラッチレバーを抵抗が感じられるまで引き、クラッチレバーの遊び **A** を確認します。

クラッチレバーの遊び A	1 ... 3 mm
---------------------	------------

- » クラッチレバーの遊びが規定通りになっていない:
 - クラッチレバーの遊びを調節します。🔧 (📖 頁 214)
- ハンドルバーをハンドル限界全体にわたり左右に動かします。

クラッチレバーの遊びは一定でなければなりません。

- » クラッチレバーの遊びが一定でない:
 - クラッチワイヤー取り回しを点検します。

17 エンジンを調整する

17.2 クラッチレバーの遊びを調節する



- ハンドルバーを直進の状態にします。
- ワイヤブーツ①を後ろへずらしします。
- カウンターナット②を緩めます。
- クラッチワイヤーの遊びAを調節スクリュー③で調節します。

規定

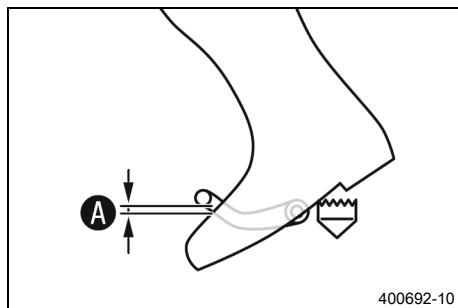
クラッチレバーの遊びA	1 ... 3 mm
-------------	------------

- カウンターナット②をしっかりと締めます。
- ワイヤブーツ①の位置を調整します。

17.3 シフトレバーの基本位置を点検する

参考

走行中、シフトレバーが基本位置にある状態でブーツに触れることがないように調節して下さい。シフトレバーが常時ブーツに接触していると、トランスミッションに過剰な負荷がかかります。



- ライディングポジションで車両に乗り、ブーツの上端とシフトレバーの距離 **A** を確認します。

シフトレバーからブーツ上端までの距離	10 ... 20 mm
--------------------	--------------

» 距離が規定通りになっていない:

- シフトレバーの基本位置を調整します。(📖 頁 215)

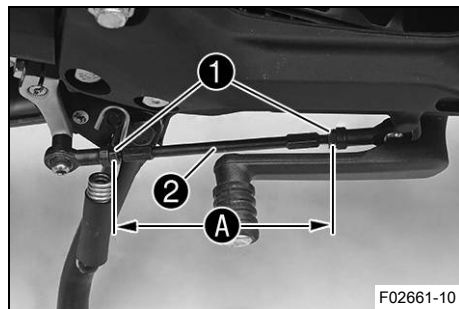


17.4 シフトレバーの基本位置を調整する

参考

シフトレバーの調節範囲には限界があります。

17 エンジンを調整する



- ナット①を緩めます。
- シフトロッド②を回転してシフトレバーを調整します。

規定

シフトロッドの調節範囲 A	112 ... 123 mm
両端が同じになるように調節します。	
シフトロッドが支持部に最低 5 回転分、ねじ込まれている状態にしてください。	

- ナット①をしっかりと締めます。

規定

シフトロッド用ナット	M6	6 Nm
シフトロッド用ナット	M6LH	6 Nm

ベアリングシート内で自由に動けるよう、ナットを締め付けた状態でシフトロッドのベアリングが中心から均等に調整されている事を確認して下さい。

- シフトレバーが機能するか、自由に動けるかを確認します。

18.1 エンジンオイルのレベルを点検する

条件

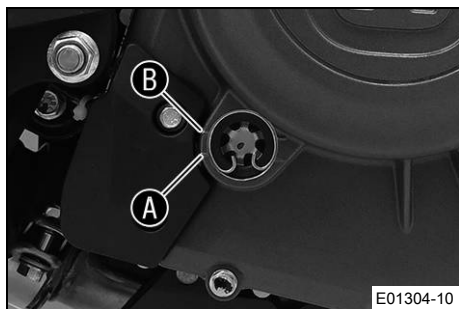
エンジンが作動温度に達している。

準備作業

- 車両を水平な地面の上で垂直に立てます。

主な作業

- エンジンオイルのレベルを点検します。



参考

エンジンを停止した後、1分待ってから点検します。

エンジンオイルのレベルが **A** と **B** の間にあるように調整します。

- » エンジンオイルのレベルが **A** のマーキングを下回っている:
 - エンジンオイルを補給します。(📖 頁 222)
- » エンジンオイルのレベルが **B** のマーキングを上回っている:
 - エンジンオイルのレベルを調整します。



18 エンジンで行うサービス作業

18.2 エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃する



警告

火傷の危険性 エンジンオイル並びにミッションオイルは運転中非常に熱くなっています。

- 適切な保護服、保護手袋を着用して下さい。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



情報

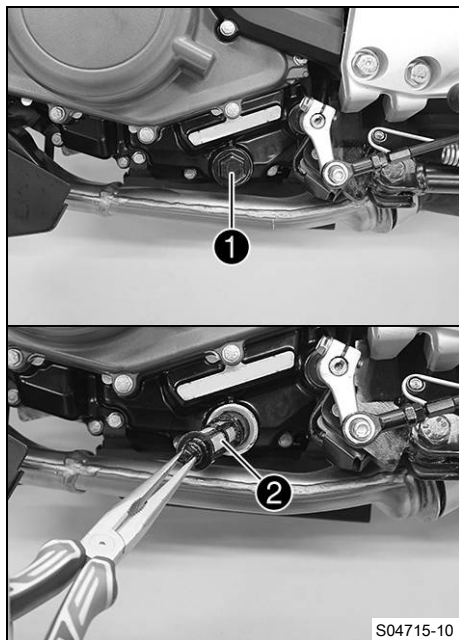
環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



参考

エンジンオイルをエンジン暖機状態で排出します。



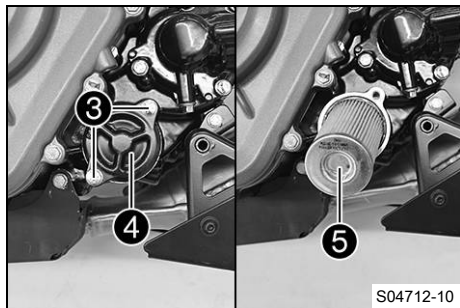
主な作業

- エンジンの下に適切な容器を用意しておきます。
- オイルドレインボルト ① を O リングと一緒に外します。
- オイルスクリーン ② を O リングと一緒に外します。
- エンジンオイルが完全に流れ出るまで待ちます。
- オイルドレインボルトとオイルスクリーンを念入りに清掃します。
- オイルスクリーン ② の位置を調整し、オイルドレインボルト ① を O リングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

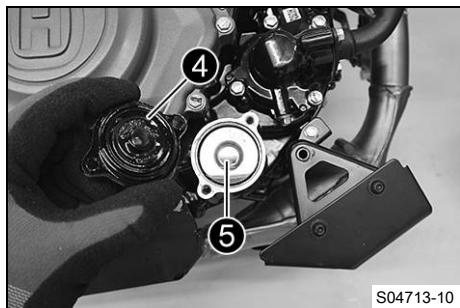
規定

オイルドレインボルト	M24x1.5	15 Nm
------------	---------	-------

18 エンジンで行うサービス作業



- スクリュー③を外します。オイルフィルターカバー④を
Oリングと一緒に取り外します。
- オイルフィルター⑤をフィルターケースから取り出します。
- エンジンオイルが完全に流れ出るまで待ちます。
- 部品とシール面を念入りに清掃します。



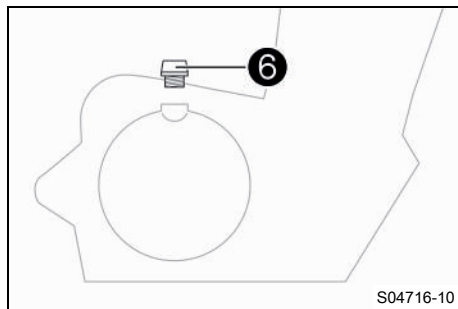
- 新しいオイルフィルター⑤を取り付けます。
- オイルフィルターカバーのOリングにオイルを差します。
オイルフィルターカバー④を取り付けます。
- スクリュー③を取り付け、しっかりと締めます。

規定

オイルフィルターカ バー用スクリュー	M6	10 Nm
-----------------------	----	-------

i 参考

エンジンオイルが少な過ぎる場合やエンジンオイルの
質が悪いと、エンジンの摩耗を早める事になります。



- オイルフィラースクリュー⑥を O リングと一緒に取り外し、エンジンオイルを注入します。

エンジンオイル	1.5 L	エンジンオイル (SAE 15W/50) (頁 255)
---------	-------	----------------------------------

- オイルフィラースクリューを O リングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、漏れがないか確認します。

その後の作業

- エンジンオイルのレベルを点検します。(頁 217)



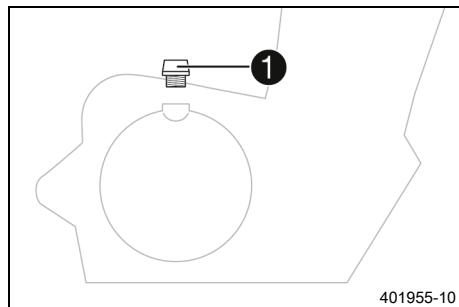
18 エンジンで行うサービス作業

18.3 エンジンオイルを補給する



参考

エンジンオイルが少な過ぎる場合やエンジンオイルの質が悪いと、エンジンの摩耗を早める事になります。



主な作業

- オイルフィラースクリュー①を O リングと一緒に取り外し、エンジンオイルを注入します。

エンジンオイル (SAE 15W/50) (📖 頁 255)



参考

エンジンオイルの性能を最大限に引き出す上で、異なったエンジンオイルを混ぜて使用する事は望ましくありません。

Husqvarna Motorcycles では、必要に応じてエンジンオイルを交換する事をお勧めしています。

- オイルフィラースクリューを O リングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼動する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼動状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、漏れがないか確認します。

その後の作業

- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 217)



19.1 洗車をする

情報

部品の損傷 高圧洗浄機の誤った使用により部品が破損することがあります。

高圧により水分が電気部品、プラグ、ケーブル、ベアリングに侵入します。

圧力が高すぎるとエラーや部品破損の原因となります。

- 水流が直接電気部品、プラグ、ケーブル、ベアリングにあたらないように注意してください。
- 高圧洗浄機のジェットと部品間の最低間隔を維持してください。

最低間隔

60 cm



情報

環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

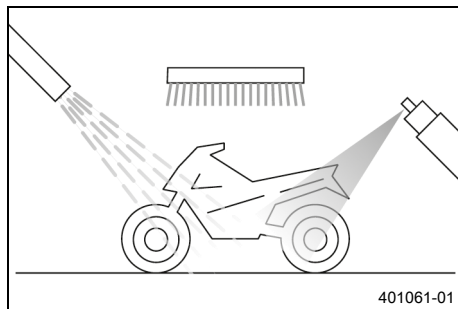
- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



参考

バイクはその価値、そして外観を長い間維持できるように定期的に清掃して下さい。

洗車中は車両に直射日光が当たらないよう注意して下さい。



- 水が入らないように排気装置をふさぎます。
- 大きな汚れはあらかじめ弱い水流で落としておきます。
- 汚れがひどい箇所には市販のモーターサイクル洗剤を吹きつけ、ブラシで汚れを落とします。

モーターサイクル用洗剤 (📖 頁 258)



参考

洗車には市販のモーターサイクル洗剤を入れた温水と柔らかいスポンジを使用して下さい。

乾燥した車両に直接バイク洗剤を付けることは絶対にせず、必ず事前に車両を水ですすいで下さい。

バイクを凍結防止用の塩が撒かれた道路で走行した場合、冷水で清掃して下さい。温水の使用は塩の作用を促進します。

- 弱い水流で念入りにすすいだ後、車両をよく乾燥させます。
- 排気装置をふさいでいる栓を外します。



警告

事故の危険性 水分や汚れはブレーキシステムに影響を及ぼします。

- ブレーキパッドとブレーキディスクを乾燥させ汚れを落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。

- 洗車後、エンジンが作動温度に達するまで短い距離を走行します。



参考

熱によりエンジンやブレーキシステムの手の届かない場所にある水分も蒸発します。

-
- ハンドルまわりのワイヤーブーツをずらし、ここに入り込んだ水分も蒸発させます。
 - 車両の温度が下がったら全てのスライド部とベアリング部をグリースアップします。
 - チェーンを清掃します。(📖 頁 135)
 - 塗装されていない金属製部品 (ブレーキディスクと排気装置を除く)には、腐食防止剤を塗布します。

ラッカー塗装、金属、ゴム用手入れ剤 (📖 頁 259)

- ラッカー塗装されている全部品に刺激の少ないラッカー専用の手入れ剤を塗布します。

Perfect Finish およびラッカー塗装用光沢剤 (📖 頁 258)



参考

部品の品質が著しく損なわれるため、納車状態で光沢のないプラスチック部品は磨かないで下さい。

- プラスチック部品およびパウダーコーティングされている部品は全て刺激の少ない洗浄・手入れ剤で手入れをします。

ラッカー塗装 (光沢、非光沢)、金属、プラスチック専用洗浄剤 (図 頁 259)

- イグニッション / ハンドルロックに潤滑油を差します。

汎用オイルスプレー (図 頁 259)



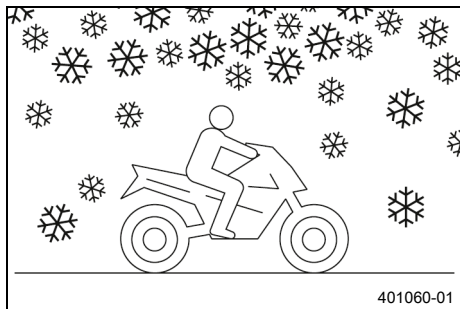
19.2 冬季運転における点検・メンテナンス作業



参考

冬季にも車両を使用する場合は、凍結防止のため路上に散布された塩の存在を考慮に入れなければなりません。刺激が強い塩に対する予防対策を講じておく必要があります。
バイクを凍結防止用の塩が撒かれた道路で走行した場合、冷水で清掃して下さい。温水の使用は塩の作用を促進します。

19 清掃、手入れ



- 洗車をします。(📖 頁 224)
- ブレーキを清掃します。

参考

凍結防止用の塩が撒かれた道路を走行する**毎に**、バイク、そして特にブレーキキャリパーとブレーキパッド (冷えており、取り付けられている状態) を冷たい水で入念に洗浄し、よく乾かしてください。

-
- エンジンやスイングアームをはじめ、塗装されていない部品や亜鉛メッキ加工された部品 (ブレーキディスクを除く) には全てワックス系腐食防止剤を塗布します。

参考

ブレーキディスクには腐食防止剤が付かないよう注意して下さい。ブレーキ性能が大幅に低下します。

-
- チェーンを清掃します。(📖 頁 135)

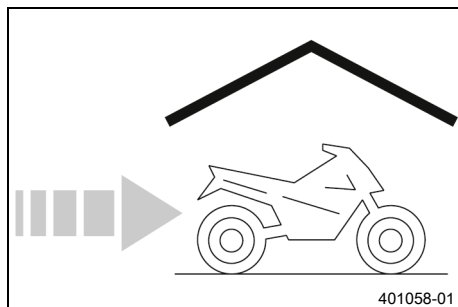
20.1 保管



参考

車両を長期にわたって使用しない場合は、以下に挙げた処置をご自身または正規ディーラーで行って下さい。

車両の保管前に全ての部品が機能するか、摩耗していないかを点検します。サービス作業、修理、改造が必要な場合は、ディーラーのサービスセンターが空いている保管時期に行う事をお勧めします。シーズン開始の混雑時を避ける事ができます。



- シーズンオフで使用を停止する前の最後の給油時に、燃料添加剤を加えます。

燃料添加剤 (📖 頁 259)

- 燃料を給油します。(📖 頁 94)
- 洗車をします。(📖 頁 224)
- エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。🔧 (📖 頁 218)
- 不凍液とクーラントのレベルを点検します。(📖 頁 199)
- タイヤ空気圧を点検します。(📖 頁 175)
- 12V バッテリーを取り外します。🔧 (📖 頁 178)
- 12V バッテリーを充電します。🔧 (📖 頁 183)

規定

12V バッテリーの保管温度 (直射日光を避ける)	0 ... 35 °C
------------------------------	-------------

- 車両は乾燥した、急激な温度変化のない場所で保管して下さい。



参考

Husqvarna Motorcycles では車両を持ち上げて保管する事をお勧めしています。

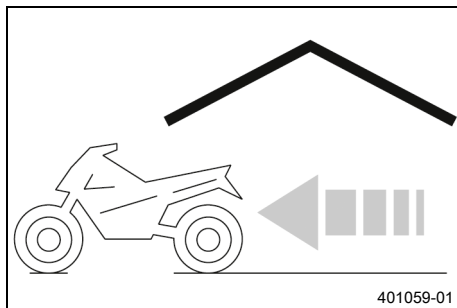
-
- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 107)
 - フロントスタンドで車両を持ち上げます。(📖 頁 111)
 - 通気性の良い防水シートかカバーで車両を覆います。



参考

空気を通さないカバーは湿気が逃げず、腐食の原因となりますので絶対に使用しないで下さい。
保管中にエンジンを短時間のみ作動すると、車両に非常に悪い影響を与えます。エンジンが十分に暖まらないため、燃焼の際に生じた水蒸気が結露し、バルブや排気装置のさびの原因となります。

20.2 保管後、運転操作の前に



- フロントスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 112)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 109)
- 12V バッテリーを取り付けます。🔌(📖 頁 181)
- 時刻を設定します。(📖 頁 70)
- 運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業を実施します。(📖 頁 79)
- 試験走行を行います。



21 トラブルシューティング

不具合	考えられる原因	対応
スタートキーを作動してもエンジンが回転しない	操作ミス	- エンジン始動の作業ステップに従って下さい。(📖 頁 80)
	12V バッテリーが放電される	- 12V バッテリーを充電します。🔌 (📖 頁 183)
	メインヒューズ、あるいはヒューズ3、4または7が飛んでいる	- メインヒューズを交換します。 (📖 頁 186) - 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 191)
	正しくアース接続されていない	- アース接続を点検します。
クラッチレバーを握らないとエンジンが回転しない	ギアが入っている	- ギアをニュートラルに入れます。
	ギアが入っており、サイドスタンドが出ている	- ギアをニュートラルに入れます。
エンジンが回転しているのにかからない	操作ミス	- エンジン始動の作業ステップに従って下さい。(📖 頁 80)
	電子フューエルインジェクションの不具合	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧
エンジンの出力が低過ぎる	エアフィルターがひどく汚れている	- エアフィルターを交換します。
	燃料フィルターがひどく汚れている	- 燃圧を点検します。🔧

不具合	考えられる原因	対応
エンジンの出力が低過ぎる	電子フューエルインジェクションの不具合	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧
エンジンが異常に熱くなる	冷却システムのクーラントが少な過ぎる	- 冷却システムに漏れがないか点検します。 - クーラントのレベルを点検します。(📖 頁 202)
	ラジエーターのフィンがひどく汚れている	- ラジエーターのフィンを清掃します。
	冷却システム内に気泡が発生している	- クーラントを排出します。🔧 (📖 頁 204) - 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをします。🔧 (📖 頁 206)
	サーモスタットが故障している	- サーモスタットを点検します。🔧
	ヒューズ5が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 191)
	冷却ファン装置が故障している	- 冷却ファン装置を点検します。🔧
不具合インジケータランプが黄色に点灯	電子フューエルインジェクションの不具合	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧
走行中にエンジンが停止する	燃料不足	- 燃料を給油します。(📖 頁 94)

21 トラブルシューティング

不具合	考えられる原因	対応
走行中にエンジンが停止する	メインヒューズ、あるいはヒューズ3、4または7が飛んでいる	- メインヒューズを交換します。(📖 頁 186) - 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 191)
ABS 警告ランプが点灯している	ヒューズが飛んでいる	- ABS のヒューズを交換します。(📖 頁 188)
	前輪と後輪の回転数に大きな差がある	- 停車してイグニッションを停止し、再スタートします。
	ABS の不具合	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧
オイルの消費が多い	エンジンのエア抜きホースが折れ曲がっている	- エア抜きホースを折れないように配置し、必要に応じて交換します。
	エンジンオイルのレベルが高過ぎる	- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 217)
	エンジンオイルの濃度 (粘度) が低過ぎる	- エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。🔧 (📖 頁 218)
ヘッドライトとポジションライトが機能しない	ヒューズ6が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 191)
ターンシグナル、ブレーキライト、ホーンが機能しない	ヒューズ4、6のいずれかが飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 191)

不具合	考えられる原因	対応
時計が表示されない、または正しく表示されない	ヒューズ2、7のいずれかが飛んでいる	各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 191)
12V バッテリーが放電される	車両を停止した際、イグニッションをオフにしなかった	12V バッテリーを充電します。🔌 (📖 頁 183)
	12V バッテリーがジェネレーターで充電されない	- 充電電圧を点検します。🔌 - スタンバイ電流を点検します。🔌
コンビネーションインストルメントの画面に何も表示されない	ヒューズ2、7のいずれかが飛んでいる	各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 191)
コンビネーションインストルメントの速度表示が機能しない	速度表示のワイヤーハーネスが損傷している、またはコネクタが酸化している	ワイヤーハーネスとコネクタを点検します。

22.1 エンジン

構造	単気筒、4 ストローク、水冷エンジン
排気量	125 cm ³
ストローク	47.2 mm
ボア	58 mm
圧縮比	12.8:1
駆動方式	4 バルブ DOHC、カムレバーによる制御、チェーンによる駆動
吸気バルブ直径	22.5 mm
排気バルブ直径	19 mm
吸気バルブ遊び (冷えた状態)	0.10 ... 0.15 mm
排気バルブ遊び (冷えた状態)	0.15 ... 0.20 mm
クランクシャフトベアリング	ボールベアリング x 2
コンロッドベアリング	スライドベアリング
ピストン	軽合金、鋳造
ピストンリング	コンプレッションリング x 1、テーパーフェースリング x 1、オイルリング x 1
エンジン潤滑方式	トロコイドポンプ 1 台による圧送式潤滑
一次減速比	22:72
クラッチ	湿式クラッチ、機械式作動
ギア	6 速ギア常時噛合式

変速比	
1 速	12:34
2 速	15:31
3 速	18:28
4 速	21:26
5 速	22:23
6 速	24:22
フューエルマネージメント	電子フューエルインジェクション
イグニッション	非接触制御電子イグニッション、デジタルイグニッションコントローラー
ジェネレーター	12 V, 230 W
スパークプラグ	BOSCHVR5NEU
スパークプラグ電極間のクリアランス	1 mm
冷却システム	水冷式、ウォーターポンプによるクーラントの常時循環
アイドリング回転数	1,500 ± 50 rpm
エンジンスタート装置	セルフスターターモーター

22.2 締付けトルク、エンジン

エンジンエア抜きプレート用スクリュー	M5	7 Nm	Loctite®243™
--------------------	----	------	--------------

オイルジェット	M5	6 Nm	Loctite®243™
固定ブラケット用スクリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
固定子ケーブル固定ブラケット用 スクリュー	M5	8 Nm	Loctite®243™
固定子用スクリュー	M5	8 Nm	Loctite®243™
ウォーターポンプカバー用スクリュー	M6	12 Nm	
ウォーターポンプホイール用ナット	M6	10 Nm	Loctite®243™
ウォーターポンプ排水口用スクリュープラグ	M6	10 Nm	
エンジンケース用スクリュー	M6x40	12 Nm	
エンジンケース用スクリュー	M6x60	12 Nm	Loctite®243™
オイルフィルターカバー用スクリュー	M6	10 Nm	
オイルポンプ用スクリュー	M6	12 Nm	Loctite®243™
カムシャフトベアリングブラケット用スクリュー	M6	10 Nm	

クラッチカバーのラジアルシー ルリング固定ブラケット用スク リュー	M6	12 Nm Loctite®243™
クラッチカバー用スクリュー	M6	12 Nm
クラッチワイヤー固定ブラケット 用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
ジェネレーターカバー用スク リュー	M6	12 Nm
シフトロック用スクリュー	M6	12 Nm Loctite®243™
シリンダーヘッド用スクリュー	M6	12 Nm
セルフスターターモーター用スク リュー	M6	12 Nm
タイミングチェーンテンショナー レール用スクリュー	M6	12 Nm Loctite®243™
タイミングチェーンテンショナー 用スクリュー	M6	12 Nm
チェーン脱落防止用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
バルブカバー用スクリュー	M6	12 Nm
フリーホイールギア固定ブラケッ ト用スクリュー	M6	12 Nm Loctite®243™

フロントスプロケット用スクリュー	M6	12 Nm
ベアリングロック用スクリュー	M6	12 Nm Loctite®243™
ロックレバー用スクリュー	M6	12 Nm Loctite®243™
コンロッドベアリング用ナット	M7	24 Nm
カムシャフトのギア用スクリュー	M8	32 Nm Loctite®243™
シフトのリターンスプリング用スクリュー	M8	20 Nm Loctite®243™
バランサーシャフト - ギア用スクリュー	M8	40 Nm Loctite®243™
排気管フランジ用スタッドボルト	M8	22 Nm
排気管フランジ用ナット	M8	8 Nm
クーラント - 温度センサー	M10	14 Nm
シリンダーヘッド用スクリュー	M10	1 レベル 25 Nm 2 レベル 50 Nm ねじ山にはオイルを差し、ヘッド接触面はグリースアップ
ローター用スクリュー	M10	70 Nm Loctite®243™

油圧スイッチ	M10	14 Nm
カムレバー用スクリュープラグ	M10x1	10 Nm
スパークプラグ	M12	15 Nm
インナークラッチハブ用ナット	M14LH	60 Nm Loctite®243™
第一ギア / タイミングチェーンギア用ナット	M14	55 Nm Loctite®243™
オイルドレインボルト	M24x1.5	15 Nm

22.3 容量

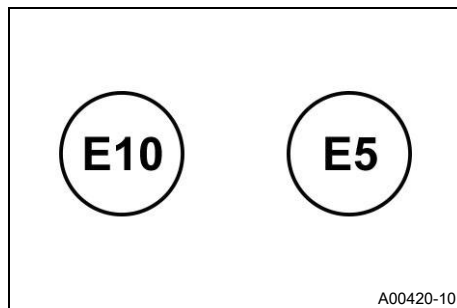
22.3.1 エンジンオイル

エンジンオイル	1.5 L	エンジンオイル (SAE 15W/50) (📖 頁 255)
---------	-------	-----------------------------------

22.3.2 クーラント

クーラント	1 L	クーラント (📖 頁 255)
-------	-----	-----------------

22.3.3 燃料



EU ガソリンスタンドのマーキングに注意して下さい。

フューエルタンク総容量 (約)	9.5 L	無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95) (📖 頁 257)
予備燃料 (約)	1.5 L	

22.4 シャーシ

フレーム	鋼管スペースフレーム、パウダーコーティング
フロントフォーク	WP Suspension
ショックアブソーバー	WP Suspension
ブレーキシステム	
前方	4 ピストンブレーキキャリパー付きディスクブレーキ

後輪	ディスクブレーキ、シングルピストンブレーキキャリア、フローティングマウント
サスペンションストローク	
前輪	142 mm
後輪	142 mm
ブレーキディスク直径	
前方	320 mm
後輪	230 mm
ブレーキディスク磨耗限界	
前方	4.5 mm
後輪	3.6 mm
同乗者なしでのタイヤの空気圧	
前方	2.0 bar
後輪	2.0 bar
同乗者あり / 最大積載量でのタイヤの空気圧	
前輪	2.2 bar
後輪	2.2 bar
二次減速比	14:45
チェーン	5/8 x 1/4" (520) X リング
ステアリングヘッド角度	65°
ホイールベース	1,357 ± 15.5 mm

シート高 (負荷がない状態)	835 mm
最低地上高 (負荷がない状態)	145 mm
燃料を除いた重量 (約)	152 kg
前方許容最大軸重	135 kg
最大許容軸重 (後輪)	230 kg
最大許容総重量	355 kg

22.5 電装系

12V バッテリー	ETZ-9-BS	バッテリー電圧: 12 V 定格容量: 8 Ah メンテナンスフリー
ヒューズ	75011088010	10 A
ヒューズ	75011088015	15 A
ヒューズ	75011088025	25 A
ヒューズ	75011088030	30 A

ヘッドライト	LED
ポジションライト	LED
コンビネーションインスツルメントの照明及びインジケータランプ	LED
ターンシグナル	LED
ブレーキライト / テールライト	LED

ナンバープレートライト	LED
-------------	-----

22.6 タイヤ



参考

この車両ではチューブレスタイヤにチューブを使用しなければなりません。

フロントタイヤ	リアタイヤ
110/70 R 17 M/C 54H M+S TL Pirelli SCORPION RALLY STR	150/60 R 17 M/C 66H M+S TL Pirelli SCORPION RALLY STR
ここに示されるタイヤは標準装備が予定されているタイヤの一例です。下記アドレスのサービスで詳細をご確認下さい: www.husqvarna-motorcycles.com	

22.7 フロントフォーク

フロントフォークタイプナンバー	93301000033	
フロントフォーク	WP Suspension	
フロントフォーク長	744 mm	
フロントフォークオイル	450 ml	フロントフォークオイル (SAE 4) (48601166S1) (📖 頁 257)

22.8 ショックアブソーバー

ショックアブソーバータイプナンバー	01.58.3T.15
ショックアブソーバー	WP Suspension
スプリングプリロード	
標準	2 クリック
空車サグ	15 mm
ライディングサグ	45 ... 50 mm
取り付け時の全長	300 mm

22.9 締付けトルク、シャーシ

コンビネーションインスツルメント用スクリュー	EJOT PT® K50x12	1.6 Nm
チェーンガード用スクリュー	EJOT DELTA PT® K40x12	1.5 Nm
ナンバープレートライト用スクリュー	4.2x13	1.5 Nm
ヘッドライトマスク用スクリュー	EJOT PT® K50x12	1.6 Nm
排気管クランプ	-	21 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	M4	4 Nm
シャーシ用その他のナット	M4	4 Nm

車輪速度センサー付きスクリュー	M4	2 Nm Loctite®243™
後方サイドカバー用スクリュー	M4.2x13	1.5 Nm
コンビネーションインスツルメントのヘッドライト固定用スクリュー	M5	2 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	M5	5 Nm
シャーシ用その他のナット	M5	5 Nm
スポークニップル	M5	4 Nm
スロットルグリップ用スクリュー	M5	1.5 Nm
チェーンガード用ナット	M5	7 Nm
テールライト用スクリュー	M5	5 Nm
ナンバープレートブラケットホイールカバー用スクリュー	M5	5 Nm
バッテリーコンパートメント用スクリュー	M5	4 Nm
フェンダー用スクリュー	M5x12	5 Nm
フェンダー用スクリュー	M5x20	2 Nm
フューエルタンクカバー用スクリュー	M5	5 Nm
ブレーキワイヤーリード用スクリュー	M5	7 Nm

フロントスポイラー用スクリュー	M5	4.5 Nm Loctite®243™
ライトスイッチ用スクリュー	M5	1.5 Nm
ABS モジュール固定ブラケットの ナット留め	M6	7 Nm
ABS モジュール用スクリュー	M6	7 Nm
アッパートリプルクランプのヘッド ライト固定用スクリュー	M6x35	10 Nm
エンジンシフトレバー用スクリュー	M6	11 Nm
キャリア用スクリュー	M6x45	10 Nm
コントロールユニットホルダー用 スクリュー	M6	7 Nm
シート取り付け用スクリュー	M6	12 Nm
シフトロッド用スクリュー	M6	9 Nm Loctite®243™
シフトロッド用ナット	M6	6 Nm
シフトロッド用ナット	M6LH	6 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	M6	10 Nm
シャーシ用その他のナット	M6	10 Nm
スブラッシュガード用スクリュー	M6	9 Nm

チェーンスライダーガード用スクリュー	M6	9 Nm	
トラスフレームカバー用スクリュー	M6x12	7 Nm	
トラスフレームカバー用スクリュー	M6x14	4.5 Nm	
ナンバープレートブラケットのホイールカバーホルダー用スクリュー	M6	9 Nm	Loctite®243™
ナンバープレートホルダー用スクリュー	M6x16	9 Nm	
ナンバープレートホルダー用スクリュー	M6x25	7 Nm	Loctite®243™
ハンドルクロスバー用スクリュー	M6	7 Nm	Loctite®243™
フォークレグのアクスル用穴へのフェンダー取付け用スクリュー	M6	12 Nm	
フットブレーキシリンダー用スクリュー	M6	7 Nm	Loctite®243™
ブレーキペダル調節用ナット	M6	7 Nm	
ブレーキワイヤーホルダー用スクリュー	M6	7 Nm	Loctite®243™

フロントスプロケットカバー用スクリュー	M6	11 Nm
フロントスポイラー用スクリュー	M6	7 Nm
ヘッドライト用スクリュー	M6	7 Nm
ラジエーター用ナット	M6	5 Nm
ロアトリプルランプへのヘッドライト固定用スクリュー	M6x20	10 Nm
後輪ブレーキのブレーキフルードリザーバー用スクリュー	M6	6 Nm Loctite®243™
車輪速度センサー用スクリュー	M6	7 Nm Loctite®243™
照明距離調整用スクリュー	M6	7 Nm
前方サイドカバー用スクリュー	M6x15	3.8 Nm
燃料ポンプ用スクリュー	M6	9 Nm
冷却ファン用ナット	M6	3 Nm Loctite®243™
ナンバープレートブラケットのスペーサー	M6x1	7 Nm
アッパートリプルランプ用スクリュー	M8	15 Nm
エンジンマウント用スクリュー	M8	25 Nm Loctite®243™

サイドグリップ用スクリュー	M8	21 Nm	Loctite®243™
サブフレーム用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
シャーシ用その他のスクリュー	M8	25 Nm	
シャーシ用その他のナット	M8	25 Nm	
ナンバープレートブラケットの ケーブルガイドホルダー用スクリュー	M8	19 Nm	
ナンバープレートブラケットの ホイールカバーホルダー用スクリュー	M8	19 Nm	Loctite®243™
ナンバープレートホルダー用スクリュー	M8x18	19 Nm	Loctite®243™
ナンバープレートホルダー用スクリュー	M8x35	19 Nm	Loctite®243™
バッテリーサポートブラケット用 スクリュー	M8	19 Nm	
ハンドルパークランプ用スクリュー	M8	20 Nm	Loctite®243™
フォークレグのアクスル通し穴 用スクリュー	M8	15 Nm	

フューエルタンクブリッジ用スク リュー	M8	18 Nm
フューエルタンク固定用スク リュー	M8x12	19 Nm
フューエルタンク固定用スク リュー	M8x45	25 Nm Loctite®243™
メインサイレンサー用スクリュー	M8	21 Nm
リアスプロケット用ナット	M8	38 Nm Loctite®243™
口アトリプルクランプ用スク リュー	M8	12 Nm
後輪ブレーキディスク用スク リュー	M8	25 Nm Loctite®243™
前方アクスルシャフト用スク リュー	M8	20 Nm
前方ブレーキディスク用スク リュー	M8	20 Nm Loctite®243™
前方ブレーキキャリパー用スク リュー	M8x1	30 Nm Loctite®243™
エンジンマウント用スクリュー	M10	50 Nm Loctite®243™
サイドスタンド取付けアーム用 ナット	M10	38 Nm

シフトレバー用スクリュー	M10	30 Nm	Loctite®243™
シャーシ用その他のスクリュー	M10	45 Nm	
シャーシ用その他のナット	M10	45 Nm	
ナンバープレートホルダー用スクリュー	M10x30	30 Nm	Loctite®243™
ハンドルアダプター用スクリュー	M10	21 Nm	
フットレストサポート用スクリュー	M10	50 Nm	
ブレーキペダル用スクリュー	M10	30 Nm	Loctite®243™
ブレーキホース用バンジョーボルト	M10	24 Nm	
ショックアブソーバー用下部スクリュー	M10x1.25	51 Nm	Loctite®243™
ショックアブソーバー用上部スクリュー	M10x1.25	51 Nm	Loctite®243™
ターニングナル用ナット	M10x1.25	11 Nm	
スイングアームピボット用ナット	M14x1.5	100 Nm	
後輪アクスルシャフト用ナット	M14x1.5	90 Nm	
ステアリングヘッド用上部スクリュー	M16	55 Nm	Loctite®243™
ラムダセンサー	M18	50 Nm	

22 仕様一覧

ステアリングヘッド用ナット	M30x1	レベル 1 50 Nm 2 レベル (時計と反対周りで緩める) 2 回転 3 レベル 5 Nm
---------------	-------	--

エンジンオイル (SAE 15W/50)

規格 / 分類

- JASO T903 MA2 (📖 頁 260)
- SAE (📖 頁 260) (SAE 15W/50)

規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照)を満たし、使用環境に応じた品質のエンジンオイルのみを使用して下さい。

一部化学合成エンジンオイル

推奨製品

MOTOREX®

- Formula 4T

クーラント

規定

- アルミニウム製エンジン用腐食防止剤が混合され珪酸を含有しない高品質のクーラントのみを使用して下さい。低品質で不適切な不凍液は腐食、沈着、発泡の原因となります。
- 腐食防止や潤滑特性などはクーラントによってのみ可能なものですので、純水は使用しないで下さい。
- 指定された規格 (タンク記載を参照)に適合し、これに応じた特性を有するクーラントのみを使用して下さい。

耐凍結効果有効期間	-25 °C
-----------	--------

必要となる耐凍結効果得るために配合割合を調整しなければなりません。クーラントを薄める必要がある場合は蒸留水を使用して下さい。

事前調査されているクーラントの使用が推奨されています。

耐凍結効果、薄め方、他のクーラントとの混和性 (互換性) に関してはクーラントメーカーの指示に従って下さい。

推奨製品

MOTOREX®

- COOLANT M3.0

ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1

規格 / 分類

- DOT

規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するブレーキフルードのみを使用して下さい。

推奨製品

Castrol

- REACT PERFORMANCE DOT 4

MOTOREX®

- Brake Fluid DOT 5.1

フロントフォークオイル (SAE 4) (48601166S1)

規格 / 分類

- SAE (📖 頁 260) (SAE 4)

規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照)を満たし、使用環境に応じた品質のオイルのみを使用して下さい。

無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95)

規格 / 分類

- DIN EN 228 (ROZ 95)

規定

- 指定内容に該当するまたは同等の無鉛プレミアムガソリンのみを使用して下さい。
- 最大 10%のエタノールを含む混合ガソリン (E10)を使用しても問題ありません。



参考

メタノール燃料 (M15、M85、M100 など)および 10%以上のエタノールを混合した燃料 (E15、E25、E85、E100 など)は**使用しない**で下さい。

Perfect Finish およびラッカー塗装用光沢剤

推奨製品

MOTOREX®

– Moto Shine

チェーンスプレー・ Street

規定

推奨製品

MOTOREX®

– Chainlube Road Strong

チェーン洗浄剤

推奨製品

MOTOREX®

– Chain Clean

モーターサイクル用洗浄剤

推奨製品

MOTOREX®

– Moto Clean

ラッカー塗装 (光沢、非光沢)、金属、プラスチック専用洗浄剤

推奨製品

MOTOREX®

- Quick Cleaner

ラッカー塗装、金属、ゴム用手入れ剤

推奨製品

MOTOREX®

- Moto Protect

耐久性グリース

推奨製品

MOTOREX®

- Bike Grease 2000

燃料添加剤

推奨製品

MOTOREX®

- Fuel Stabilizer

汎用オイルスプレー

推奨製品

MOTOREX®

- Joker 440 Synthetic

JASO T903 MA2

多岐にわたる技術開発を受け、モーターサイクル専用の規格、**JASO T903 MA2**が生まれました。以前はモーターサイクル専用の仕様がなく、モーターサイクルには乗用車用のエンジンオイルが使われていました。乗用車ではエンジンのサービス頻度を下げる事が重要である一方、モーターサイクルエンジンでは何よりも高回転数で高い出力を引き出す事が要求されます。モーターサイクルでは、ギアやクラッチにエンジンと同じオイルが使用される事が珍しくありません。**JASO T903 MA2**規格はこれら特殊な事象を考慮に入れた内容となっています。

SAE

SAE 粘度は米国の自動車技術者協会 (Society of Automotive Engineers)によって定められたもので、オイルをその粘度によってクラス分けするものです。粘度はオイルの一特性に過ぎず、その品質を表すものではありません。

ABS	アンチロック・ブレーキシステム	直進走行中に車輪がロックしてハンドルが効かなくなってしまうのを防ぐ安全システム
OBD(オン ボード・ダイ アグノーシス)	オンボード診断	車両の電気系統の数値を監視する車両システム

27 表示マーク索引

27.1 黄色とオレンジ色のマーク

黄色とオレンジ色のマークはできるだけ早く対処すべきエラー状態を示します。運転支援システムが作動している場合も同様に黄色またはオレンジ色のマークが表示されます。

	不具合インジケータランプが黄色に点灯- OBD(オンボード・ ダイアグノーシス)が車両の電気系統で不具合を検出しました。交通規制に従った方法で速やかに停車し、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。
	ABS 警告ランプが黄色に点灯- ABSの状態メッセージまたはエラーメッセージ。

27.2 緑と青のマーク

緑と青のマークは情報を表示しています。

	ターンシグナルインジケータランプがターンシグナルのリズムで緑に点滅- ターンシグナルが作動しています。
	ニュートラルインジケータランプが緑に点灯- ギアがニュートラルに入っています。
	ハイビームインジケータランプが青く点灯- ハイビームが点灯しています。

1

12V バッテリー

充電する	183
取り付ける	181
取り外す	178

A

ABS	144
-----	-----

ABS のヒューズ

交換する	188
------	-----

ABS モード

調整する	67
------	----

ACC1

前方	197
----	-----

ACC2

後方	197
前方	197

あ

アンチロック・ブレーキシステム	144
-----------------	-----

い

イグニッション	32
インジケータランプ	49

う

運転操作の前に

運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業	79
初めて運転操作を行う際の注意	74
保管後	231

え

エマージェンシーOFFスイッチ	31
-----------------	----

エンジン

慣らし運転をする	76
----------	----

エンジンオイル

交換する	218
補給する	222

エンジンオイルのレベル

点検する	217
------	-----

エンジン始動	80
--------	----

エンジンナンバー	25
----------	----

お

オイルスクリーン

清掃する	218
------	-----

オイルフィルター

交換する	218
------	-----

オーナーズマニュアル	16
------------	----

か

各部の名称

左前方	20
右後方	22

カスタマーサービス	19
-----------	----

環境	16
----	----

き

キーナンバー	25
--------	----

キャリア	37
------	----

取り付ける	117
取り外す	117

給油する

燃料	94
----	----

く

クーラント

交換する	209
排出する	204

クーラントのレベル

点検する	199, 202
------	----------

クラッチレバー	27
---------	----

基本位置を調整する	143
-----------	-----

クラッチレバーの遊び

調節する	214
点検する	213

け

ケミカル類	18
-------	----

こ

交換部品	18
------	----

交換部品、Husqvarna Motorcycles 技術アクセサリ	18
------------------------------------	----

後輪

取り付ける	168
取り外す	166

後輪のハブダンパー

点検する	171
------	-----

誤使用	11
-----	----

コンビネーションインスツルメント	42-73
------------------	-------

Average Speed Trip1	63
Avg F.C. Trip 1	64
Avg F.C. Trip 2	67
Fuel Range	60
Service	61
Time Trip 1	62
Time Trip 2	65

インジケーターランプ	49
各部の名称	42
起動とテスト	43
機能ボタン	57
クーラント温度の表示	55
警告	44
シフトランプ	51
ディスプレイ	53
燃料レベル表示	54
ABS表示	58

さ

サービス	19
サービスプラン	97-100
サイドカバー、左	
取り付ける	119
取り外す	118
サイドカバー、右	
取り付ける	122
取り外す	121
サイドグリップ	38
サイドスタンド	41
作業上の決まり	15

し

シート

取り外す	115
を取り付ける	116

シートロック	37
--------	----

時刻

設定する	70
------	----

シフト回転数RPM1

調節する	71
------	----

シフト操作	83
-------	----

シフトレバー	39
--------	----

基本位置を調整する	215
-----------	-----

基本位置を点検する	215
-----------	-----

車載工具	38
------	----

写真	19
----	----

車両

清掃する	224
------	-----

フロントスタンドから降ろす	112
---------------	-----

フロントスタンドで持ち上げる	111
----------------	-----

リアスタンドから降ろす	109
-------------	-----

リアスタンドで持ち上げる	107
--------------	-----

車両識別番号	24
--------	----

車両に荷物を積む	76	スポークの張り	
仕様一覧		点検する	176
エンジン	236	スロットルグリップ	28
締付けトルク、シャーシ	246	せ	
締付けトルク、エンジン	237	前輪	
シャーシ	242	取り付ける	163
ショックアブソーバー	246	取り外す	162
タイヤ	245	そ	
電装系	244	走行	83
フロントフォーク	245	た	
容量	241	ターンシグナルスイッチ	29
使用環境	11	タイプラベル	24
使用時の安全性	13	タイヤ空気圧	
使用目的	11	点検する	175
ショックアブソーバー		タイヤの状態	
スプリングプリロードを調節する	101	点検する	172
ショックアブソーバータイプナンバー	26	単位	
診断プラグ	196	調節する	68
す		ち	
スイッチ		チェーン	
左ハンドルバー	28	清掃する	135
右ハンドルバー	31		
スタートキー	32		

点検する	140
汚れを点検する	135
チェーンの遊び	
設定する	138
点検する	137
駐車	91
て	
停止	91
と	
冬季運転	
点検・メンテナンス作業	227
同乗者用フットレスト	39
トラブルシューティング	232-235
な	
ナンバープレートブラケット	
取り付ける	127
取り外す	124
に	
荷物	76
は	
パッシングライトスイッチ	28

パンク修理剤	
使用法	177
ハンドル操作	
ロックする	33
ロックを解除する	34
ハンドルバーの位置	102
調整する	103
ハンドルロック	32
ひ	
ヒューズ	
各電装系部品を交換する	191
ふ	
フィルターキャップ	
閉じる	36
外す	34
フォークレッグ	
ダストシールを清掃する	114
不凍液	
点検する	199
ブレーキ	88
ブレーキディスク	
点検する	147

ブレーキパッド	
(後輪ブレーキ)点検する	158
(前輪ブレーキ)点検する	152
ブレーキフルード	
(後輪ブレーキ)補給する	154
(前輪ブレーキ)補給する	149
ブレーキフルードのレベル	
(後輪ブレーキ)点検する	153
(前輪ブレーキ)点検する	148
ブレーキペダル	40
遊びを調節する	160
遊びを点検する	159
ブレーキレバー	27
基本位置を調整する	146
ブレーキをかける	88
フロントスプロケット	
点検する	140
フロントスポイラー	
取り付ける	134
取り外す	133
フロントフォークタイプナンバー	26

へ

ヘッドライト

照明距離を調節する	195
-----------	-----

ヘッドライトの設定

点検する	194
------	-----

ほ

法定保証	18
ホーンスイッチ	30
保管	229
保護服	15

め

メインヒューズ

交換する	186
------	-----

メーカー保証	18
---------------	----

ゆ

油脂類	18
輸送	93

よ

容量

エンジンオイル	221, 241
クーラント	241

燃料 96, 242

6

ライディング

発進 82

ライトスイッチ 29

リ

リアスプロケット

点検する 140

れ

冷却システム 198

クーラントを注入してエア抜きをする 206



3402478ja

2021 年 01 月



Husqvarna Motorcycles GmbH
Stallhofnerstraße 3 | 5230 Mattighofen | オーストリア
www.husqvarna-motorcycles.com



写真: Mitterbauer/KISKA,
Husqvarna Motorcycles GmbH